

# 東近江市農業振興施設整備工事

## (建築工事)

図面リスト					
建築図(意匠図)			建築図(構造図)		
図番	図面名称	縮尺	図番	図面名称	縮尺
意 - 01	建築工事特記仕様書(1)	-	構 - 01	構造特記仕様書	-
意 - 02	建築工事特記仕様書(2)	-	構 - 02	鉄筋コンクリート構造配筋標準図-1	-
意 - 03	建築工事特記仕様書(3)	-	構 - 03	鉄筋コンクリート構造配筋標準図-2	-
意 - 04	工事区分表	-	構 - 04	鉄骨工作標準図-1	-
意 - 05	建物の経過表、求積図、面積図	1/600・200	構 - 05	鉄骨工作標準図-2	-
意 - 06	現況図	1/500	構 - 06	柱脚工法標準図	-
意 - 07	付近見取図、建物配置図	1/2500・500	構 - 07	地盤改良特記仕様書	-
意 - 08	材料表、仕上表	-	構 - 08	地質調査資料	-
意 - 09	現況平面図、平面図	1/100	構 - 09	基礎伏図・構造仕様	1/100
意 - 10	中2階平面図、屋根伏図	1/100	構 - 10	基礎リスト	1/30
意 - 11	天井伏図	1/100	構 - 11	梁伏図	1/100
意 - 12	立面図	1/100	構 - 12	軸組図-1	1/100
意 - 13	断面図、改修前・後既設西面立面図	1/100	構 - 13	軸組図-2	1/100
意 - 14	矩計図(1)	1/20	構 - 14	部材・柱脚リスト	1/30・20
意 - 15	矩計図(2)	1/20	構 - 15	継手・仕口リスト	1/20
意 - 16	改修前既設屋外階段詳細図	1/30	構 - 16	架構詳細図	1/30
意 - 17	改修後既設屋外階段詳細図	1/30			
意 - 18	平面詳細図、展開図	1/50			
意 - 19	建具特記仕様書、建具表(1)	1/50			
意 - 20	建具表(2)	1/50			
意 - 21	SD-101・102詳細図(1)	1/30			
意 - 22	SD-103・104詳細図(1)	1/30			
意 - 23	SD-101・102詳細図(2), SD-103・104詳細図(2)	1/30, 5			
意 - 24	部分詳細図(1)	1/20・10・5			
意 - 25	部分詳細図(2)	1/20			

発注者 東近江市

設計者 株式会社 創作舎

# 建築工事特記仕様書

工事概要	工事名稱	東近江市農業振興施設整備工事 (建築工事)										
	工事場所	東近江市木辺町2533番地										
	用途規制	第1種低層 第2種低層 第1種中高層 第2種中高層 第1種住居 第2種住居 準住居 非居住 商業 業務 準工業 工業 専用 [指定なし]										
	その他の規制	風致地区 自然公園 市街化区域 [市街化調整区域] 法22条指定区域 指定なし										
	工事期間・限	契約工期による。										
	NO	名 称	工種	構 造	床面積 (m <sup>2</sup> )	延面積 (m <sup>2</sup> )	備 考					
	1	農業振興施設	新築	鉄骨造	610.99m <sup>2</sup>	610.99m <sup>2</sup>						
	概要説明											
	八日市公設市場西側の駐車場に、鉄骨造平屋建ての農業振興施設を整備する工事である。											
	別途工事											
プレハブ冷蔵庫設備工事、電気・機械設備工事												
1. 地図及び特記仕様書に記載されていない事項は、全て国土交通省大臣官房官舖部監修「公共建築工事標準仕様書(建築工事編)(最新版)」(以下「様式」という。)、「公共建築工事標準仕様書(建築工事編)(改修版)」(以下「改修様式」という。)及び「建築物機材工事共通仕様書(最新版)」(以下「機材共通仕様書(最新版)」)による。国土交通省大臣官房官舖部監修「建築工事監理指針(最新版)」及び「改修工事監理指針」を参考とする。												
2. 特記仕様												
(1) 様式番号に○印のついたものを適用する。 (2) 特記事項は○印のついたものを適用する。 ○印のない場合は※印のあるものを適用する。 印と○印のある場合はともに適用する。 (3) 特記事項に記載の( ) 内番号は、様式の当該項目、当該表、当該図を示す。												
3. 施工に際し、施工手順書である建築工事施工チェックシート(最新版)に従い、提出のこと。												
章 項目 特記事項												
① 施工基準												
・本工事は、工事請負契約書及び同款式を遵守し、本特記仕様書を含む図面、様式により完全に施工する。 ・本工事の優先部位は、公共建築工事標準仕様書(1.1.1)に示す以下の順の順とする。												
② 通用基準等												
・工事写真の撮り方(建築工事写真撮影指針、同解説(国土交通省大臣官房官舖部監修・最新版) ・建築工事監理指針、改修工事監理指針(国土交通省大臣官房官舖部監修課監修・最新版) ・東近江市 都市整備部 施設建築課 工事管理マニュアル(最新版)												
③ 官公署その他への提出												
本工事における、官公署の各検査、完了に係る消防等全ての法的検査は、受注者にて行うものとする。また、その費用(手数料とも)は、一切受注者の負担とする。												
④ 工事実績情報の登録(CORINS)												
受注者は、工事請負金50万円以上の工事について、工事実績情報サービス(CORINS)入力システムに基づき、「工事カルテ」を作成し、監督職員の確認を受けた後、次に示す期間内に、㈱日本建築情報総合センター(JACIC)に提出するとともに、セキュア登録の「登録内容確認書」の写しを監督職員に提出すること。ただし、期間には、土曜日、日曜日、国民の祝日に於ける法律に定める国民の日、年末年始を除く。												
(1) 工事受注時 契約締結日 10日以内 (2) 工事内容の変更時 変更約款締結後 10日以内 (3) 工事完成時 工事完成後 10日以内												
なお、変更時と完成時の間が10日に満たない場合は、変更時の提出を省略できるものとする。												
⑤ 別契約の関連工事												
受注者は、別契約の関連工事の実施に際しては、定期的に協議を行い、工事施工上の調整を図ること。また、工事区分の取り合いについて図示あるも、施工時に必要に応じ協議を行い、連絡を密にすること。												
⑥ 現場代理人等												
1. 原則として、現場代理人は、他の工事と重複して從事することはできない。ただし、工事準備等を含め、工事現場が不稼動である期間は、現場の運営を行なう場合、急ぎ時対応を速めに取れる体制を確保すること。 2. 現場代理人は、監督職員に受注者の直接的な使用関係の確認できるもの(健康保険証の写し等)を「現場代理人等届」に添付しなければならない。また、変更が生じた場合は、速やかに「現場代理人等変更届」を提出し、同様の確認を受けなければならない。 3. 主任(監理)技術者はも同様の確認を受けなければならない。 4. 現場代理人と主任技術者は監理技術者とを異ねることができる。 5. 主任技術者は監理技術者の責任を負担しない期間												
(1) 請款契約の締結後、現場施工に着手するまでの期間(現場工務所の設置、資機材の搬入又は設工事等を開始するまでの期間)については、主任技術者又は監理技術者の工事現場への責任を負担しない。 (2) 工事請負契約書(以下「契約書」という)の規定に基づき完了した旨の報告を受け、完了確認した翌日から契約期間満了までの期間については、主任技術者又は監理技術者の工事現場への責任を負担しない。												
⑦ 技術管理												
受注者は、建設業法に定める専任の技術者の任命を行い、現場に派遣し技術管理に当たらせること。また、建設工事公衆災害防止対策要領に遵守すること。												
⑧ 電気保安技術者												
工事現場に置く電気保安技術者は、電気事業法に基づく電気主任技術者の職務を補佐し、電気工作物の保安の業務を行うものとする。												
⑨ 条件明示項目												
1. 部分的な設計変更、一部の追加工事等に関して、請負金に増減が生じた場合、受注者は、施工に先立ち工事費の増減を精算し、内附明細書を提出し、監督職員の確認を経ること。 2. 材料及び工事の変更により、建築基準法第3条第1項「計画の変更に係る確認」の申請(法第18条第2項においての適用を含む。)又は「従来の工事の届け出の生じた場合(申請手数料も含めて、受注者の負担にて遅延なくこれを行うこと。受注者は、工事の内容に応じた火災保険、建設工事組立保険等を工事目的物に付すとともに、第三者等への損害についても補償する保険に加入すること。)												
3. 建設業退職金共済制度に加入し、その掛金収納書の写しを監督職員へ提出すること。また、「建設業退職金共済制度適用事業主工事現場」の構造を現場監査に掲示すること。												
4. 不当介入の防止												
東近江市が発注する建設工事における、危険暴力による不当介入の排除について(「不当介入に関する通報制度」の徹底について) 1. 受注者は、暴力団員等(暴力団の構成員、暴力団関係者、その他市発注工事等に対して不当介入をしようとする全ての者をいう。)による不当介入(「不当介入に関する通報制度」の徹底について) 2. 受注者は、暴力団員(暴力団の構成員)が建設工事に係る業務を実行する場合、断固としてこれを認めるとともに、不当介入があった時点で、速やかに監督官に報告をすること。 3. 別添監査図、配置図に示された設計計画を参考に、受注者に構造、施工方法について十分検討の上、事前に協議を行い、関係法令に従い安全堅実に施工すること。 4. 委託等については、事前に協議を行なう一定の場所を指定し、火元責任者を記すこと。 5. 受注者は、現場の運営に際しては、工事請負契約書を遵守すること。 6. 建設機械は、国土交通省規定の低騒音型建設機械(標準見やすい箇所に表示すること。)を使用すること。 7. 総括安全衛生管理義務者												
労働安全衛生法第30条第2項の総括安全衛生管理義務者を指名すること。												
8. 発生材の処理等												
※ 構外搬出適切処理 - 指定 ( )												
9. 産業廃棄物の処理												
1. 本工事に使用する特定建設資材及び排出する特定建設資材廃棄物については、「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律(資源リサイクル法)及び建設副産物適正処理推進要綱を遵守し、建設副産物の発生抑制又は再利用の促進に努めること。また、再生資源利用(促進)計画書及び同実施所を成し、速やかに報告のこと。 2. 「資源の有効利用の促進に関する法律」(リサイクル法)及び建設副産物適正処理推進要綱を遵守し、建設副産物の発生抑制又は再利用の促進に努めること。また、再生資源利用(促進)計画書及び同実施所を成し、速やかに報告のこと。 3. 受注者は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」を遵守し、同法第12条のによるニフニフステレコにより確に実施すること。 4. 施工計画書には、契約者の写し、施工者の写し、提出先までのルート図、運搬車のナンバープレート一覧を添付すること。												
◆ 備考◆												
1回目 R.7.10.10 5回目 ◆ 計事務所◆												
製図 2回目 6回目 ◆ 発注者◆												
製図 3回目 7回目 ◆ 工事名稱◆												
4回目 8回目 ◆ 国面名◆												
株式会社 創作舎 ◆ 設計事務所◆												
東近江市 ◆ 施工箇所◆												
TEL 0748-42-5611 ◆ 施工箇所◆												
FAX 0748-42-0808 ◆ 施工箇所◆												
TEL 0748-24-1234 ◆ 施工箇所◆												
FAX 0748-24-0752 ◆ 施工箇所◆												
◆ 設計事務所◆												
◆ 発注者◆												
◆ 工事名稱◆												
◆ 国面名◆												
◆ 細尺◆												
◆ 備考◆												
◆ 設計事務所◆												
◆ 発注者◆												
◆ 工事名稱◆												
◆ 国面名◆												
◆ 細尺◆												
◆ 備考◆												

1回目 R.7.10.10	5回目	◆ 計事務所◆	◆ 発注者◆	◆ 工事名稱◆	◆ 国面名◆	◆ 細尺◆	◆ 備考◆
製図 2回目	6回目	株式会社 創作舎	東近江市	TEL 0748-24-1234	東近江市農業振興施設整備工事(建築工事)	建設工事特記仕様書(1)	建設工事特記仕様書による
3回目	7回目						※構造特記仕様書による
4回目	8回目						※構造物製作認定工場の認定グレード
							(7.1.3)
							(S・H・M・R・J) 以上で監督職員の承認する工場
							※適用する・適用しない
							(7.1.3), (7.1.4)
							材質・SS400・SSC400・STK400・STK400・BCR295・BCP235(7.2.1)
							規格・SM490・SN400A・SN400B・SN490C
							種類・J1シグマ高力ポルト(建築基準法認定品)
							J1シグマ高力ポルト(建築基準法認定品)
							構造用アンカーボルト・材質(ABR400)
							アカーボルト及びナットねじの種類の規格、ねじの等級の規格、仕上げの程度
							仕様による。
							アカーボルト・バイアス
							ボルトの種類
							羽子板ボルト・両ねじボルト・アイボルト
							(7.2.7)
							※CAD加工図
							・超音波探査試験(検査は、第三者検査会社によるものとし、監督職員の承認を受ける。)
							(7.6.11)
							AOOL ※ 4.0% 2.5%
							検査基準 第6水準 第( )水準 図示による。
							・放電線試験
							(1フレーム当たり8箇所用)。
							10 デッキフレートの溶接
							・鋼肉溶接
							合成スラブとして使用するデッキフレートの溶接
							※焼き抜き溶接
							塗料の種類 ※ 屋内 (JIS K 5674) 屋外 (JIS K )
							塗装回数 1回、現場・回数
							ただし、無鉛塗料を使用する場合は、監督職員と協議すること。
							種別 別別工法 材料及び工法 施工箇所
							・耐火材吹付け 半乾式
							・湿式
							・耐火材巻付け 同上
							・ラス張りモルタル塗り 構造1章2節による 特定の耐火性を有するもの
							13 アンカーボルト等の設置
							種別 A種 B種 C種
							※ あく施エボンの使用は、原則として認めない。
							14 柱底均しモルタル
							種別 A種 B種
							(表7.10.1)
							15 アンカーボルト等の設置
							種別 A種 B種 C種
							(表7.10.2)
							8 コンクリートプロトロップ
							種別 A種 B種 C種
							厚さ (mm) 100 120 150
							耐力 壁構造による (差交部、暗渠口部)は様式による 別図による。
							5 鋼杭
							種別 A種 B種 C種
							厚さ (mm) 160 180 200
							耐力 壁構造による (差交部、暗渠口部)は様式による 別図による。
							6 場所打ちコンクリート杭
							種別 A種 B種 C種
							厚さ (mm) 150 180 200
							耐力 壁構造による (差交部、暗渠口部)は様式による 別図による。
							7 アンカーボルト
							種別 A種 B種 C種
							厚さ (mm) 100 120 150
							耐力 壁構造による (差交部、暗渠口部)は様式による 別図による。
							8 鋼管
							種別 A種 B種 C種
							厚さ (mm) 100 120 150
				</td			

10 石 工 事	(10.2.1) (表10.2.1)									
	施工箇所	石材の種類・品質	寸法	产地	仕上の種類	備考				
	品 質	床用・1等・2等	その他・1等・2等	(10.2.1) (表10.2.1) (表10.2.2)						
	2 テラソブロック	種石の種類・大きさ	大理石の類・花こう岩の類	(表10.2.2)						
		床表仕上の種類	木表・水磨き・粗磨き	(10.2.1)						
	3 テラztタイル	種 類	大理石の類・花こう岩の類	(10.2.1)						
	4 取付け金物	ロッキング乾式工法用金物	スライド材・ロッキング方式	(10.2.2)						
	5 壁の石張り工法	石材の厚み	mm	(10.3.2) (10.3.3) (10.5.2) (10.5.3)						
	6 床及び階段の石張り	目地材の裏面処理	※ 目地モルタル・目地シーリング	石材の厚み	mm	(10.6.2から3)				
		床石張りの裏面処理	※ 行わない・行う							
11 タ イ ル 工 事	施工箇所	形状・寸法	生地	耐凍害性	滑り抵抗性・難燃	備考				
	1 材料	(11.2.1) (11.2.2) (11.3.2)								
	2 貼り付け用材料	既製組合モルタル(外壁・床)	(11.2.3) (表11.2.3)							
		内装壁接着剤	JIS A 5548 F☆☆☆☆ 40 VOC 基準適合	(11.3.3) (表11.3.2)						
	3 あと張り工法	壁タイル張りの工法	既製組合モルタル・改良積み上げ張り・内装壁タイル接着剤張り	(11.4.1) (表11.4.1)						
		内装タイル	※ 壁タイル接着剤張り・改良積み上げ張り・改良庄着張り又は長期性能保証が付与される施工	外装壁タイル接着剤張り	(11.4.2) (表11.4.2)					
	4 型枠先付け工法	内装タイル外のユニットタイル	マスク張り・モザイクタイル張り・外装壁タイル接着剤張り	(11.4.3) (表11.4.3)						
		型枠先付けの種類	通用タイプ	型枠型先付け用のせき板	(11.4.4) (表11.4.4)					
		※ タイリット法	・ 小口タイル	※ 標仕6.9.3 [材料(1)(2)又は金属製タイル先付け用バネル						
		・ 目地法	・ 二丁掛けタイル							
12 木 工 事	施工箇所	部材名称	樹種	品質・等級	寸法・形状	備考				
	1 木材の使用について	間伐材を含め地内市販を利用することを推奨、協商を行うこと。								
	2 木材の断面寸法	表示寸法で板材、造作材は仕上がり寸法、構造材はひき立て寸法とする。	(12.1.3)							
	3 表面仕上げ	A種	B種	(12.1.4)						
	4 木材	木材の含水率	※ A種	B種	(表12.2.1)					
		造作材の等級	※ A種	B種	(表12.2.2)					
	5 集成材	構成用集成材・構成用単板積材・造作用集成材・化粧化粧用集成材・造作用単板積層集成材	(12.4.1) (12.5.1) (12.7.1)							
	6 防腐・防蟻処理	木材保存剤は、人体への安全性及び環境への影響に配慮した表面処理用木材保存剤とする。	(12.3.1)							
	7 防虫処理	※ 行う 通用範囲: 内容:	(12.3.2)							
	8 床張り	合板 厚さ(mm)・5.5・12・15	接着の程度	※ 1種	表面の品質	※ 2等	(12.6.1)			
13 屋 根 及 び と い 工 事	施工箇所	樹種及び施工所:	・ バーティカルボード 厚さ(mm)※ 15	・ 接着の程度	※ 13Pタイプ又は13Mタイプ					
	9 巾木	材種:								
	1 性能	耐風圧力	N/m2	積雪荷重	N/m2	(13.2.3) (13.3.3)				
	2 長尺金属板葺	屋根葺き形式	・ 横葺	・ 瓦葺	・ 平葺	(13.2.1)				
		材種	・ フッ素樹脂塗装ガルバリウム鋼板							
			・ 溶融アルミニウムメキ材板及び鋼網							
			・ 溶融アルミニウム5%アルミニウム合金メキ鋼板及び鋼網							
			・ 溶融アルミニウム5%アルミニウム-亜鉛合金メキ鋼板及び鋼網							
			・ ポルト化ビニル被覆金属板							
			・ 冷間圧延アルミニウム鋼板及び鋼網							
14 金 属 工 事	施工箇所	部材の種類	・ 耐風圧性	・ 気密性	・ 水密性	・ 伸の見込み寸法				
	1 あと施工アンカー	施工方法	・ 接着系	※ 有機系	・ 接着剤	(14.1.3)				
		・ 金属接着系	※ 本体打込式							
		試験等	性能確認試験	※ 行う	・ 行わない					
		施工確認	※ 行う	・ 行わない						
		既設インサート及びアカーボルトを	※ 使用しない	・ 使用する						
		種類	・ アルミニウムタイ	(SUS 304)						
		表面仕上げ	※ HL仕上げ	N. O. 2B	鏡面仕上げ	(14.2.2) (表14.2.1)				
	2 ステンレスの種類	種別	表面処理	施工箇所						
	3 アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理	※ 1種	無色							
15 左 官 工 事	施工箇所	種 別	表 面 处 理	施工 箇 所						
	4 鉄鋼の亜鉛メッキ	表面処理	・ A種	・ B種	・ C種	(14.2.2) (表14.2.2)				
	5 軽量鉄骨天井下地	種類	・ D種	・ E種	・ F種	(14.2.3)				
	6 軽量鉄骨壁下地	表面処理	・ A種	電解着色	(色)	(14.2.4) (表14.2.1)				
	7 金属成型張り	種 別	表 面 处 理	施工 箇 所						
	8 アルミニウム製笠木	表面処理	・ A種	電解着色	(色)	(14.2.5)				
	9 手すり及びタラップ	形状	材種	表面処理	施工箇所	備考	(14.2.6)			
	10 エキパンション	材質	※ ステンレス製既製品	・ アルミ既製品			(14.2.7)			
	11 天井裏り	内装タイル	※ 表面張り	・ 塗装ビニル製	(14.2.8)		(14.2.8)			
	12 天井裏り	内装タイル	※ 表面張り	・ 塗装ビニル製	(14.2.9)					
16 建 具 工 事	施工箇所	種類	材種	表面処理	施工箇所	備考	(15.4.2)			
	1 床コンクリート直均し仕上	床面の仕上り								
	2 セルフレベリング材	種類	・ せっこう系	・ セメント系	(15.5.1)					
	3 仕上塗材仕上げ	室内に使用する仕上塗材は、下塗材・主材及び上塗材ともF☆☆☆☆等のものとする。	(15.6.1)							
	4 エキパンション	材質	※ ステンレス製既製品	・ アルミ既製品			(15.6.2)			
	5 天井裏り	内装タイル	※ 表面張り	・ 塗装ビニル製	(15.6.3)					
	6 天井裏り	内装タイル	※ 表面張り	・ 塗装ビニル製	(15.6.4)					
	7 木製	内装タイル	※ 表面張り	・ 塗装ビニル製	(15.6.5)					
	8 木製	内装タイル	※ 表面張り	・ 塗装ビニル製	(15.6.6)					
	9 木製	内装タイル	※ 表面張り	・ 塗装ビニル製	(15.6.7)					
17 力 及 び ト 及 び の 他 工 事	施工箇所	種類	材種	表面処理	施工箇所	備考	(17.1.1)			
	1 あと施工アンカー	施工方法	・ 接着系	※ 有機系	・ 接着剤	(14.1.3)				
		・ 金属接着系	※ 本体打込式							
		試験等	性能確認試験	※ 行う	・ 行わない					
		施工確認	※ 行う	・ 行わない						
		既設インサート及びアカーボルトを	※ 使用しない	・ 使用する						
		種類	・ アルミニウムタイ	(SUS 304)			(14.2.2)			
		表面仕上げ	※ HL仕上げ	N. O. 2B	鏡面仕上げ	(14.2.3)				
	2 ステンレスの種類	種別	表 面 处 理	施工 箇 所			(14.2.4)			
	3 アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理	※ 1種	無色				(14.2.5)			
18 塗 装 工 事	施工箇所	種類	材種	表面処理	施工 箇 所	備考	(18.1.1)			
	1 素地ごしらえ	施工方法	・ A種	透明塗料の場合はB種	・ B種	(18.1.2)				
	2 素地ごしらえ	木部	・ 木部	・ 鉄部(鉄骨工事は除く)	・ 鉄部	(18.1.3)				
	3 手すり及びタラップ	表面処理	※ A種	・ B種	・ C種	(18.1.4)				
	4 鉄鋼の亜鉛メッキ	固定金具の間隔・固定方法等	・ A種	・ B種	・ C種	(18.1.5)				
	5 軽量鉄骨壁下地	形 状	材種							

植 栽 工 事	1 植栽基盤整備工法	種別	※ A種・B種・C種・D種	(23.2.2)、(表23.2.2)
	2 植込み用土	材質	※ 富士土・現場発生の良土	(23.2.3)
	3 支柱	材質	※ 加压式防腐処理丸木・竹	(23.3.2)
	4 植樹樹木の処置	形状	・鳥居型・ハッピ型・布掛型・三脚型・四脚型・ワイヤ掛け型・地下埋設型	
	5 芝張り	※ 引越しの日から1年・引渡しの日から年	(23.3.4)、(23.3.6)、(23.4.7)	
	6 樹種銘板	種別	※ こうらひ芝・野芝	(23.4.2)
	7 芝方式	樹種ごとに、2割以上設置すること。	材質・寸法	※ 図示による。
	8 屋上緑化	ボット苗	6 cm	・土壤改良
	9 人工芝	材質	ナイロン(クリンブリ)	バイル長: mm 施工:
施工場所:				

24 ユ ニ バ イ ル イ ン 工 事	1 視覚障害者用床タイル	屋内用材質	・塗化ビニル・レジンコンクリート・タイル	
	2 織	寸法	※ 300 (mm) × 300 (mm)	厚さ(mm):
	3 手摺	屋外用材質	・レジンコンクリート・タイル	・溶融式
	4 補助手摺	寸法	※ 300 (mm) × 300 (mm)	厚さ(mm):
	5 点字標示	種類	・VU樹脂インク点字加工	・透明塗ビシート又はダイノックシート
	6 総合案内板	参考型番	・	図示による。
	7 実内標識	材質	・	施工場所
	8 建具取手	参考型番	・	レバーハンドルを原則とする。
	9 点字紙	材質	・アルミ製・ステンレス製	・真鍮製・ナイロン製
施工場所:				

25 解 体 工 事	1 一般共通事項	・本工事は、工事請負契約及び約款を遵守し、本特記仕様書、図面により完全に施工すること。		
	2 保険等	・受注者は、工事の内容に応じた建設工事保険等を付すものとする。		
	3 近隣住民説明	・受注者は、工事の内容に応じた建設工事保険等を付すものとする。		
	4 事前調査	・着工に先立ち、監督職員と協議の上、地元自治会、近隣住民等に対して「工事のお知らせ」等を配布し、周知するとともに、工事説明に出席すること。		
	5 施工数量調査	・施工計画書に基づき作成する。		
	6 近隣対応について	・施工計画書に基づき作成する。		
	7 仮設工事等	・受注者は、工事の内容に応じた建設工事保険等を付すものとする。		
	8 公告・安全対策	・受注者は、工事着手日及び完了日に、図示部分の近隣住民・工作物の総合的な調査を実施し、工事に起因する損傷等の有無を確認し、記録すること。		
	9 取り壇しの記録	・万へ、損傷等が発生した場合は、受注者の責任において現状に復旧すること。また、受注者自ら必要と思われる図示以外の近隣住民工作物についても同様とする。		
施工場所:				

10 関係法令の遵守	・施工場所に、周辺住民に工事進捗状況を周知する。
11 緊急時の対策	・受注者は、工事着手日及び完了日に、近隣住民に工事着手日、撤入ルートは、監督職員に事前報告をし、近隣への告知等の対応を行うこと。
12 騒音振動の防止	・近隣住民に対する工事騒音、臭気が発生する工事(工事着手日、撤入ルート)は、監督職員に事前報告をし、近隣への告知等の対応を行うこと。
13 その他の注意事項	・近隣住民に対する工事騒音、臭気が発生する工事(工事着手日、撤入ルート)は、監督職員に事前報告をし、近隣への告知等の対応を行うこと。
	・近隣住民に対する工事騒音、臭気が発生する工事(工事着手日、撤入ルート)は、監督職員に事前報告をし、近隣への告知等の対応を行うこと。

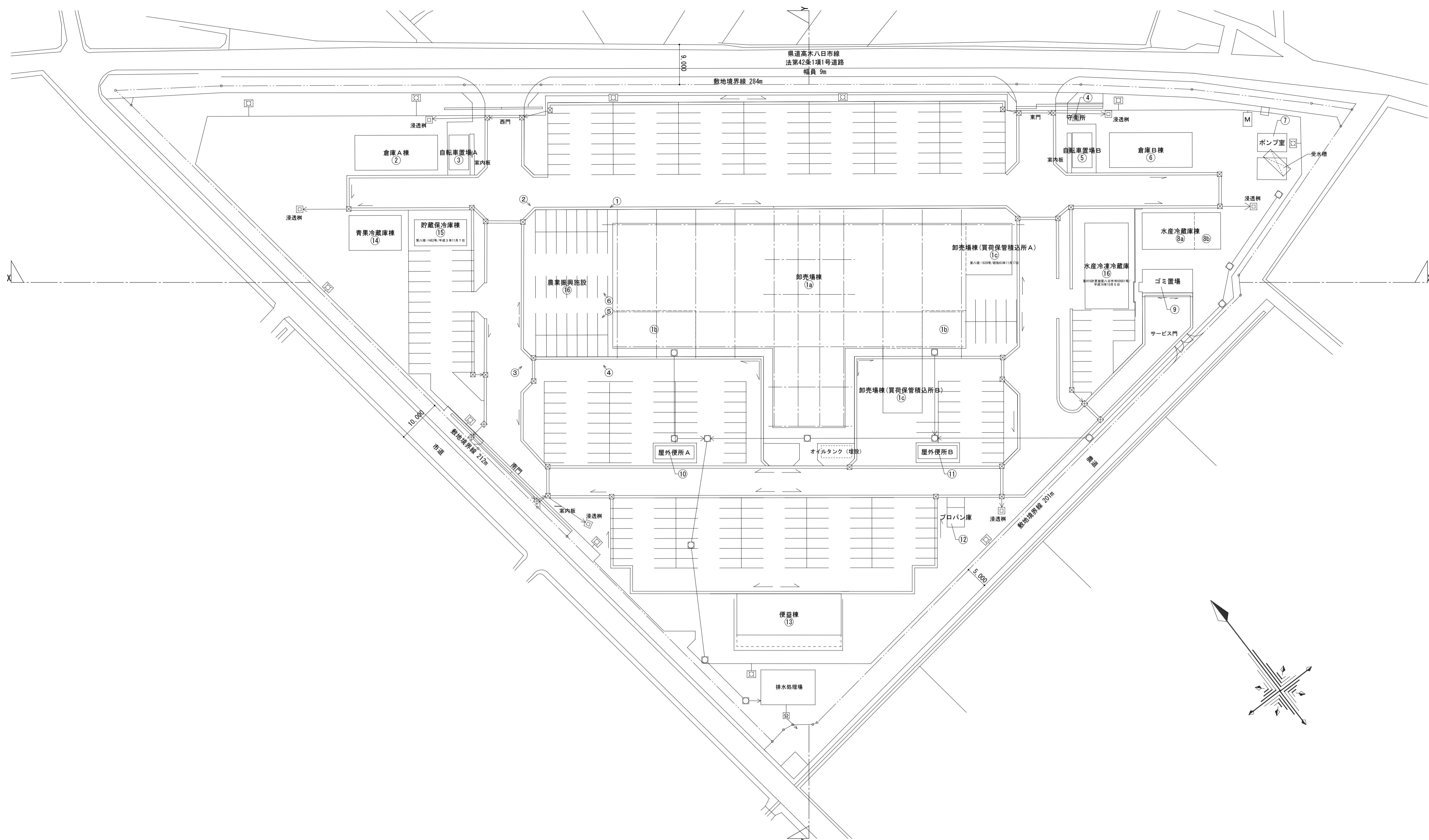
26 ア ス ペ ス ト 解 体 工 事	1 工事仕様	・本特記仕様書によるほか、厚生労働省労働基準局安全衛生部化学物質対策課及び環境省・大気環境局大気環境課がとりまとめた「建築物等の解体等に係る石綿ばく露防止及び石綿飛散防止対策徹底マニュアル」及び東近江市の「石綿含有建材等の除却等を伴う解体工事の手引き」による。		
	2 事前調査	※ 事前調査は建築物調査委員の資格を有すること。		
	3 分析調査	・本工事の除却等作業に伴い、石綿含有建材の有無を確認するため分析調査を行うこと。		
	4 事前説明	・「解体工事に係る事前調査説明書」により事前調査について説明を行うこと。		
	5 システムによる報告	・石綿前調査結果報告シートにより事前調査結果を事務及び労働基準監督署に報告すること。		
	6 届出	・東近江環境事務所と協議の上、「特定粉じん排出等作業実施届出書」(2部)を作成し、監督職員に提出すること。		
	7 立会	・「特定粉じん排出等作業実施届出書」を作成し、提出すること。		
	8 石綿粉じん濃度測定	・不隔離空間全体からの石綿漏えい確認のための石綿濃度の測定を行うこと。		
	9 管理責任者	・測定時期		
	10 石綿含有吹付け材	・測定場所		
測定点数				
備考				
11 石綿含有保温材等				
12 石綿含有成形板等				
13 石綿含有仕上材				
14 報告書				

27 建 設 廃 棄 物 の 処 理	① 再生資源化等	<4.4.1(b)>		
	建設廃棄物の種類	中間処理施設又は再生資源化施設の名称等	所在地	備考
	コンクリート			
	コンクリート及び鉄からなる建築資材			
	アスファルト、コンクリート			
	木材			
	金属類			
	小型二次電池			
<4.4.1(c)>				
建設廃棄物の種類	再生資源化の有無	再生資源化施設の名称等	所在地	
後光ラブ及びHDランプ	・あり・なし			
硬質塩化ビニル管及び継手	・あり・なし			
ガラス	・あり・なし			
<4.4.1(f)>				
現場利用する再生資源化された建設廃棄物				
種類	利用する所在地等	備考		
鉄筋コンクリートを現地で破砕し、再生クラッシュラン(RC-40)として利用する場合は、標準仕様書(表22.3.3)、再生クラッシュランによることとし、すり利原料を50%以下にすること。				
2 産業廃棄物	広域認定制度の活用			
種類	所在地	備考		
<4.4.2>				
3 最終処分	(安定型)			
建設廃棄物の種類	受入施設の名称等	所在地	備考	
(管理型)	建設廃棄物の種類	受入施設の名称等	所在地	
<4.4.4>				
1 から3の処理、処分は、設計計算上の条件明示であり、処理施設を指定するものではない。				
なお、上記によらない場合は、監督職員と協議すること。また処理、処分に先立ち処分場等の受入の可否を確認すること。				
<4.5.1>				
4 処分に注意を要する建設廃棄物	種類	処理施設名称	所在地	
<4.5.2>				
5 廃棄物の処理	種類	受入施設の名称等	所在地	
<4.5.3>				
6 廃棄物の処理	種類	受入施設の名称等	所在地	
<4.5.4>				
7 廃棄物の処理	種類	受入施設の名称等	所在地	
<4.5.5>				
8 廃棄物の処理	種類	受入施設の名称等	所在地	
<4.5.6>				
9 廃棄物の処理	種類	受入施設の名称等	所在地	
<4.5.7>				
10 廃棄物の処理	種類	受入施設の名称等	所在地	
<4.5.8>				
11 廃棄物の処理	種類	受入施設の名称等	所在地	
<4.5.9>				
12 廃棄物の処理	種類	受入施設の名称等	所在地	

工事区分表							以下の項目は○印部分を区分して施工する。ただし、図面その他に特記のあるものは、それに従う。						
工事項目	建築	電気	機械	別途	備考	工事項目	建築	電気	機械	別途	備考		
① 車体貫通スリーブ及び箱入れ、穴埋め補修	○	○	○			5 6 電動ブライド・電動バトン・電動スクリーン用配線工事（1次・2次）及びリモコン取付け		○					
② 設備用車体貫通の補強筋及び開口部補強筋	○					5 7 造り付け家具、備品の製作・設置	○						
3 地下消火栓、蓄熱槽等の船体内外防水仕上、マンホール、タラップ、連通管						5 8 カーテン、カーテンボックス	○						
4 点検口の製作取付け（床、壁、天井）	○					5 9 サイン	○						
5 吹出口、吸込口、照明器具、スピーカー等の埋込器具取付けのための穴開け、補強	○					6 0 コーナーカバー	○						
6 建物外壁に取付く給排気ガラリの製作取付け	○				（フィルター：機械）	6 1 ブール	○						
7 建具ガラリの製作取付け	○					6 2 ブールの給水・排水	○	○					
8 防火区画、防火上主要間仕切り貫通部処理	○	○				6 3 床暖房の給湯器用のコンセント取付け	○						
9 その他設備機器用基礎及び仕上げ	○					6 4 床暖房の二次側配管、配線、リモコン用配管、配線		○					
10 設備機器用既製品基礎・鉄骨架台基礎	○	○				6 5 F F 式暖房器具の一次配管、配線	○						
11 設備機器取付けに伴うアンカーボルト取付け及び穴埋め補修	○	○				6 6 F F 式暖房器具の二次配管、配線		○					
12 受水槽及びポンプ室付受水槽						6 7 ガス漏れ警報器の配管、配線、取付け	○						
13 高架水槽	○				補充水槽	6 8 自家発電機の取付け		○					
14 L P G バルクタンク等ベーバーライザー		○				6 9 自家発電への配管、入線	○						
15 各種水槽の電極棒及び配管、配線工事	○	○				7 0 シャワーユニットの一次側給水配管、給湯配管		○					
16 全上電極座及び電極棒の調整		○				7 1 シャワーユニットの給水配管、給湯配管の接続	○						
17 消火水槽	○					7 2 シャワーユニットの一次側配管、配線	○						
18 グリース阻集器（補強工事とも）	○					7 3 シャワーユニットの二次側配管、配線	○						
19 既製品流し、ガス台、吊り戸棚、水切り棚	○					7 4 全上機器の取付け	○						
20 IHコンロ	○					7 5 しゅん工引渡しまでの工事用、調整用電気、水道、ガス等の基本料金、使用料	○	○	○				
21 電気温水機	○					7 6 諸官庁等の検査、その他必要な検査の申請手続	○	○	○	計画通知に係る手続は、監理者によるものとする。			
22 既製品流しの排水金物	○					7 7 機械設備機器の一次側、二次側の配線、接続	○						
23 造り付流しの排水金物	○					7 8 発電機の設置、試運転、調整		○					
24 洗面器、便所に取付の既製品防触鏡	○					7 9 発電機の一次側、二次側の配線、接続	○						
25 洗面器、便所に取付の大型製作防触鏡	○					8 0 本工事に伴う各設備の引込負担金			○				
26 洗面化粧台及び鏡	○					8 1 E V 工事における各階出入の孔あけ工事	○						
27 便器、手洗い廻りの手摺		○			下地補強は建築工事	8 2 E V 工事における各階乗場出入周囲のモルタル詰め又はロックウール詰め工事	○						
28 小便器自動洗浄用の側電源配管、配線工事	○					8 3 E V 工事における乗場据付け後の出口廻りの壁・床及び建築物修繕仕上げ工事	○						
29 フードの製作取付け		○				8 4 E V 工事における屋上・開放廊下等直接外気と接する乗場における雨水よけ工事	○						
30 防火戸、防煙、防火シャッターの一次側配管、配線	○					8 5 E V 工事におけるピット内防水及び埋め戻し工事	○						
31 防火戸、防煙、防火シャッターの二次側配管、配線、開放装置、調整	○					8 6 E V 工事における受電箱までの動力電源・照明電源・接地線の引込み及びつなぎ込み工事	○						
32 全上用の煙感知器運動装置、制御盤	○					8 7 E V 工事におけるインターホン・非常ベル、その他 E V に必要な配管配線設備	○	○					
33 昇降機	○					8 8 E V 工事におけるピット点検用コンセント設備工事	○						
34 昇降機の出入口三方栓カゴ内インターホン取付け及び二次側配管配線、制御盤	○					8 9 E V 工事における昇降路頂部の煙感知器設置工事（昇降路頂部から点検が可能）	○						
35 昇降機の一次側配管、配線工事	○					9 0 設備機器・器具・配管・配線・ダクト用における吊りボルト及びインサート	○	○					
36 防犯用配管工事	○					9 1 テレビ・エアコン等のリサイクル料			○				
37 全上入線（電源送り）及び機器取付													
38 フラッグポール	○												
39 雨水排水の会所桟、排水管	○												
40 ルーフドレン及び豎壁配管工事	○												
41 汚水、雑排水の会所桟、排水管	○												
42 消火器・消火器収納ボックス	○												
43 電話機器	○												
44 C A T V	○												
45 テレビ共聴受信	○												
46 エアコン用スリーブ	○												
47 空調リモコンの配管、配線工事（集中管理リモコンとも）及び試運転調整	○												
48 空調機電源供給工事（室内機・室外機）	○				冷媒配管に共巻き								
49 空調機室内機から室外機間渡り配線工事	○												
50 換気扇及び換気扇取付栓	○												
51 天井扇、ダクト、ガラリ、ベントキャップ	○												
52 天井扇、換気扇、サイクル扇のスイッチ取付工事	○												
53 湯沸器本体及び壁取付け用部材	○												
54 給湯リモコン用配管、配線工事及びリモコン取付け	○												
55 電動ブライド・電動バトン・電動スクリーン取付け工事	○												

設備用の開口補強数量表																																	
1 設備用車体貫通強筋及び開口補強筋																																	
(1) 梁貫通強筋（貫通孔 D / 3 以下、梁巾 = 400 以下の場合、D は梁せい）																																	
<table border="1"> <thead> <tr> <th>貫通内径（φ）</th> <th>数量</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>							貫通内径（φ）	数量	備考																								
貫通内径（φ）	数量	備考																															
※貫通内径 100 未満の時は補強を必要としない。 ( H : 貫通内径 mm )																																	
2 壁開口補強筋																																	
<table border="1"> <thead> <tr> <th>開口面積 (m<sup>2</sup>)</th> <th>数量</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>							開口面積 (m <sup>2</sup> )	数量	備考																								
開口面積 (m <sup>2</sup> )	数量	備考																															
※壁筋を切断しない場合は補強を必要としない。 ( A : 開口面積 m <sup>2</sup> )																																	
2 設備用下地材開口補強																																	
(1) 壁開口補強 軽量鉄骨壁下地、木輪等																																	
<table border="1"> <thead> <tr> <th>開口寸法</th> <th>数量</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>							開口寸法	数量	備考																								
開口寸法	数量	備考																															
(2) 天井開口補強																																	
<table border="1"> <thead> <tr> <th>開口寸法</th> <th>数量</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>450×450</td><td>1箇所</td><td>天井点検口</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>							開口寸法	数量	備考	450×450	1箇所	天井点検口																					
開口寸法	数量	備考																															
450×450	1箇所	天井点検口																															
特記事項 1 設備用の開口補強																																	

建物の経過表			-																										
昭和56年度建物概要					昭和57年度建物概要					昭和63年度建物概要					平成3年度建物概要					平成16年度建物概要					令和7年度建物概要				
棟	名称	構造規模	建築面積	延べ床面積	備考	棟	名称	構造規模	建築面積	延べ床面積	備考	棟	名称	構造規模	建築面積	延べ床面積	備考	棟	名称	構造規模	建築面積	延べ床面積	備考	棟	名称	構造規模	建築面積	延べ床面積	備考
既設建物	① 卸売場	RC+S-3F+PHF	3,991.56			①a 卸売場	RC+S-3F+PHF	4,214.99				①a 卸売場	RC+S-3F+PHF	4,214.99				①a 卸売場	RC+S-3F+PHF	4,214.99				①a 卸売場	RC+S-3F+PHF	4,214.99			
	② 倉庫A	S-1F	160.74			①b 卸売場	RC+S-3F+PHF	223.43				② 倉庫A	S-1F	160.74				①b 卸売場	RC+S-3F+PHF	223.43				② 倉庫A	S-1F	160.74			
	③ 自転車置場A	S-1F	36.00			③a 自転車置場A	S-1F	36.00				③a 自転車置場A	S-1F	36.00				③a 自転車置場A	S-1F	36.00				③a 自転車置場A	S-1F	36.00			
	④ 守衛所	S-1F	5.07			④a 守衛所	S-1F	5.07				④a 守衛所	S-1F	5.07				④a 守衛所	S-1F	5.07				④a 守衛所	S-1F	5.07			
	⑤ 自転車置場B	S-1F	36.00			⑤a 自転車置場B	S-1F	36.00				⑤a 自転車置場B	S-1F	36.00				⑤a 自転車置場B	S-1F	36.00				⑤a 自転車置場B	S-1F	36.00			
	⑥ 倉庫B	S-1F	160.74			⑥a 倉庫B	S-1F	160.74				⑥a 倉庫B	S-1F	160.74				⑥a 倉庫B	S-1F	160.74				⑥a 倉庫B	S-1F	160.74			
	⑦ ポンプ室	S-1F	31.62			⑦a ポンプ室	S-1F	31.62				⑦a ポンプ室	S-1F	31.62				⑦a ポンプ室	S-1F	31.62				⑦a ポンプ室	S-1F	31.62			
	⑧ 水産冷蔵庫	S-1F	96.00			⑧a 水産冷蔵庫	S-1F	96.00				⑧a 水産冷蔵庫	S-1F	96.00				⑧a 水産冷蔵庫	S-1F	96.00				⑧a 水産冷蔵庫	S-1F	96.00			
	⑨ 水産冷蔵庫	S-1F	48.00			⑨a 水産冷蔵庫	S-1F	48.00				⑨a 水産冷蔵庫	S-1F	48.00				⑨a 水産冷蔵庫	S-1F	48.00				⑨a 水産冷蔵庫	S-1F	48.00			
	⑩ ゴミ置場	S-1F	63.57			⑩a ゴミ置場	S-1F	63.57				⑩a ゴミ置場	S-1F	63.57				⑩a ゴミ置場	S-1F	63.57				⑩a ゴミ置場	S-1F	63.57			
	⑪ 屋外便所A	RC-1F	26.76			⑪a 屋外便所A	RC-1F	26.76				⑪a 屋外便所A	RC-1F	26.76				⑪a 屋外便所A	RC-1F	26.76				⑪a 屋外便所A	RC-1F	26.76			
	⑫ 屋外便所B	RC-1F	26.76			⑫a 屋外便所B	RC-1F	26.76				⑫a 屋外便所B	RC-1F	26.76				⑫a 屋外便所B	RC-1F	26.76				⑫a 屋外便所B	RC-1F	26.76			
	⑬ 便益棟	S-1F	195.60			⑬a 便益棟	S-1F	195.60				⑬a 便益棟	S-1F	195.60				⑬a 便益棟	S-1F	195.60				⑬a 便益棟	S-1F	195.60			
	⑭ 青果冷蔵庫	S-1F	96.00			⑭a 青果冷蔵庫	S-1F	96.00				⑭a 青果冷蔵庫	S-1F	96.00				⑭a 青果冷蔵庫	S-1F	96.00				⑭a 青果冷蔵庫	S-1F	96.00			
既設建物合計		3,886.56	5,218.31		既設建物合計		3,886.56	5,218.31		既設建物合計		4,234.36	5,566.11		既設建物合計		4,234.36	5,638.11		既設建物合計		4,312.36	5,638.11		既設建物合計		4,504.93	5,830.68	
申請建物					申請建物					申請建物					申請建物					申請建物					申請建物				
①a 卸売場	RC+S-3F+PHF	3,991.56			①b 卸売場	RC+S-3F+PHF	223.43			② 倉庫A	S-1F	160.74			③a 自転車置場A	S-1F	36.00			④ 守衛所	S-1F	5.07			⑤a 自転車置場B	S-1F	36.00		
② 倉庫A	S-1F	160.74			②a 倉庫A	S-1F	160.74			③ 倉庫A	S-1F	36.00			④a 守衛所	S-1F	5.07			⑤a 自転車置場B	S-1F	36.00							
③a 自転車置場A	S-1F	36.00			③a a 自転車置場A	S-1F	36.00			④a a 守衛所	S-1F	5.07			⑤a a 自転車置場B	S-1F	36.00			⑥ 倉庫B	S-1F	160.74							
④ 守衛所	S-1F	5.07			④a a a 守衛所	S-1F	5.07			⑤a a a 自転車置場B	S-1F	36.00			⑥a 倉庫B	S-1F	160.74			⑦ ポンプ室	S-1F	31.62							
⑤a 自転車置場B	S-1F	36.00			⑤a a 自転車置場B	S-1F	36.00			⑥a a 倉庫B	S-1F	160.74			⑦a ポンプ室	S-1F	31.62			⑧a 水産冷蔵庫	S-1F	96.00							
⑥ 倉庫B	S-1F	160.74			⑥a a a 倉庫B	S-1F	160.74			⑦a a ポンプ室	S-1F	31.62			⑧a a 水産冷蔵庫	S-1F	96.00			⑨a 水産冷蔵庫	S-1F	96.00							
⑦ ポンプ室	S-1F	31.62			⑦a a a ポンプ室	S-1F	31.62			⑧a a a 水産冷蔵庫	S-1F	96.00			⑨a a 水産冷蔵庫	S-1F	96.00			⑩a ゴミ置場	S-1F	63.57							
⑧a 水産冷蔵庫	S-1F	96.00			⑧a a ゴミ置場	S-1F	63.57			⑨a a a ゴミ置場	S-1F	63.57			⑩a a ゴミ置場	S-1F	63.57			⑪a 屋外便所A	RC-1F	26.76							
⑨a ゴミ置場	S-1F	63.57			⑨a a ゴミ置場	S-1F	63.57			⑩a a a 屋外便所A	RC-1F	26.76			⑪a a a 屋外便所A	RC-1F	26.76			⑫a プロパン庫	S-1F	20.46							
⑩a 屋外便所B	RC-1F	26.76			⑩a a 屋外便所B	RC-1F	26.76			⑪a a a 屋外便所B	RC-1F	26.76			⑫a a プロパン庫	S-1F	20.46			⑬a 便益棟	S-1F	195.60							
⑪a プロパン庫	S-1F	20.46			⑪a a プロパン庫	S-1F	20.46			⑫a a a プロパン庫	S-1F	20.46			⑬a a 便益棟	S-1F	195.60			⑭a 青果冷蔵庫	S-1F	96.00							
⑫a 便益棟	S-1F	195.60			⑫a a 便益棟	S-1F	195.60			⑬a a a 便益棟	S-1F	195.60			⑭a a a 青果冷蔵庫	S-1F	96.00			既設建物合計		3,886.56	5,218.31						
申請建物合計		3,738.96	4,850.88		申請建物合計		3,886.56	5,218.31		申請建物合計		347.80	347.80		申請建物合計		78.00	72.00		申請建物合計		192.57	192.57		申請建物合計		525.79	581.23	
総合計		3,738.96	4,850.88		総合計		3,886.56	5,218.31		総合計		4,234.36	5,566.11		総合計		4,312.36	5,638.11		総合計		4,504.93	5,830.68		総合計		5,030.72	6,411.91	
敷地面積		24,064.00			敷地面積		24,064.00			敷地面積		24,064.00			敷地面積		24,064.00			敷地面積		24,064.00			敷地面積		24,064.00		
確認済証	第H15-115号/昭和56年12月4日				確認済証	第H15-57号/昭和57年7月24日				確認済証	第H16-1639号/昭和63年11月17日				確認済証	第H16-1482号/平成3年11月7日				確認済証	第H16-163号建築八日市市00008号/平成10年9月14日				確認済証				
検査済証					検査済証					検査済証					検査済証					検査済証	第H16-163号建築八日市市00001号/平成10年5月5日				検査済証				
求積図	A1:1/600 A3:1/1200				求積図	A1:1/600 A3:1/1200				求積図	A1:1/200 A3:1/400				求積図	A1:1/200 A3:1/400													

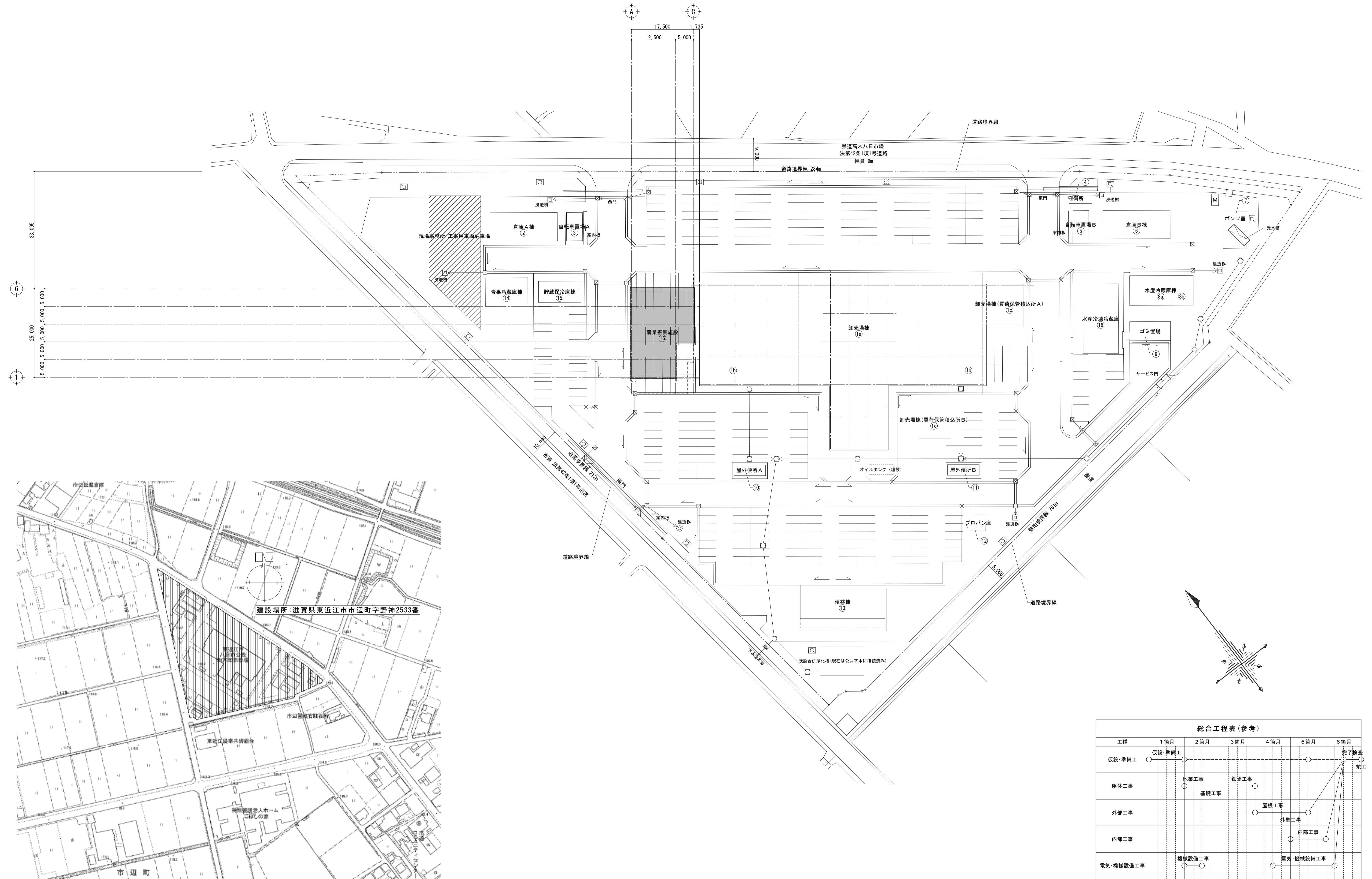


X-X断面図

既設建物を示す								
着工								
竣工								
施工								

株式会社 創作舎 作成 2025.10.10 名称 東近江市農業振興施設整備工事(建築工事) 図番 意-06

1級建築士登録 第248195号 小杉光史 証印 図名 現況図、縦横断面図



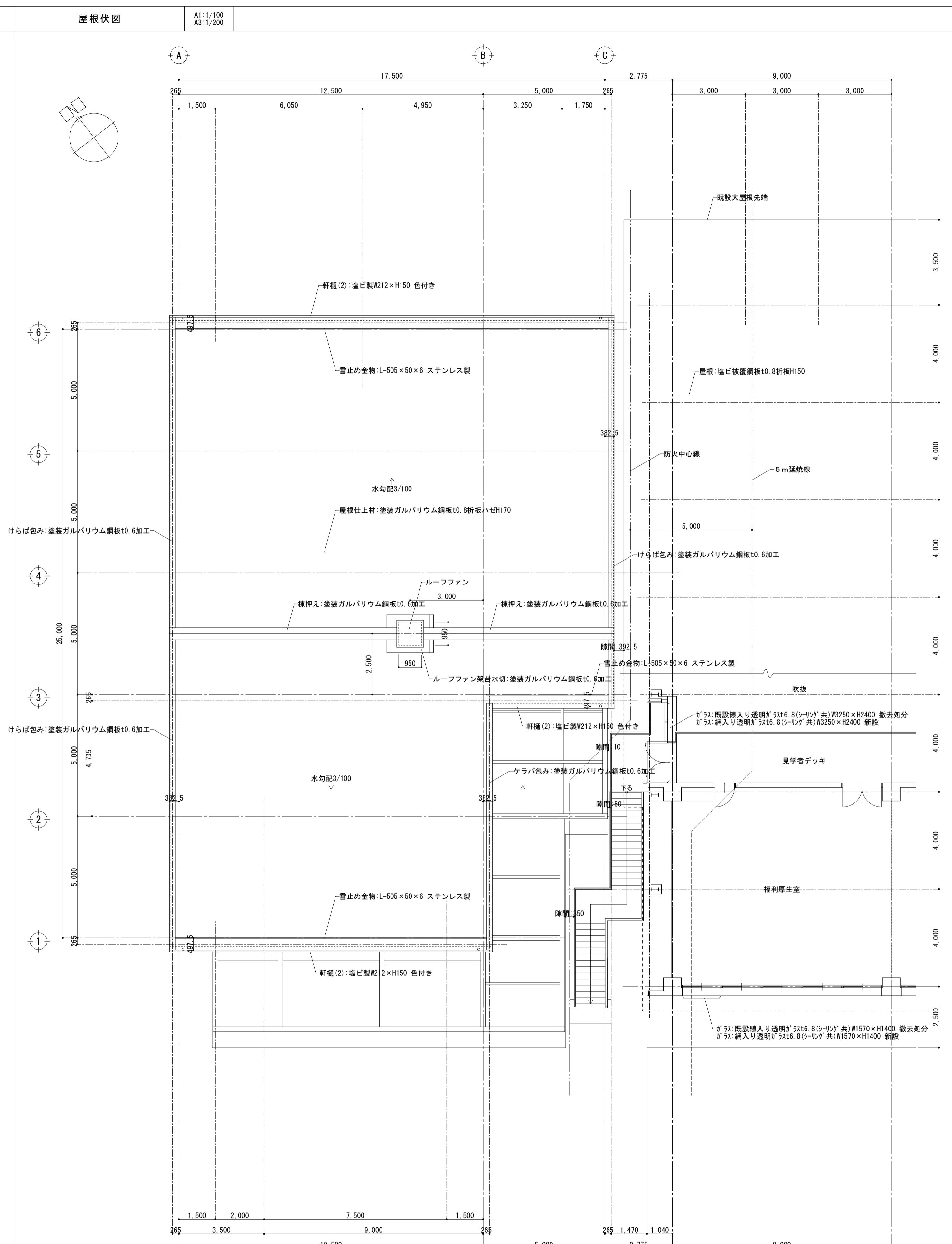
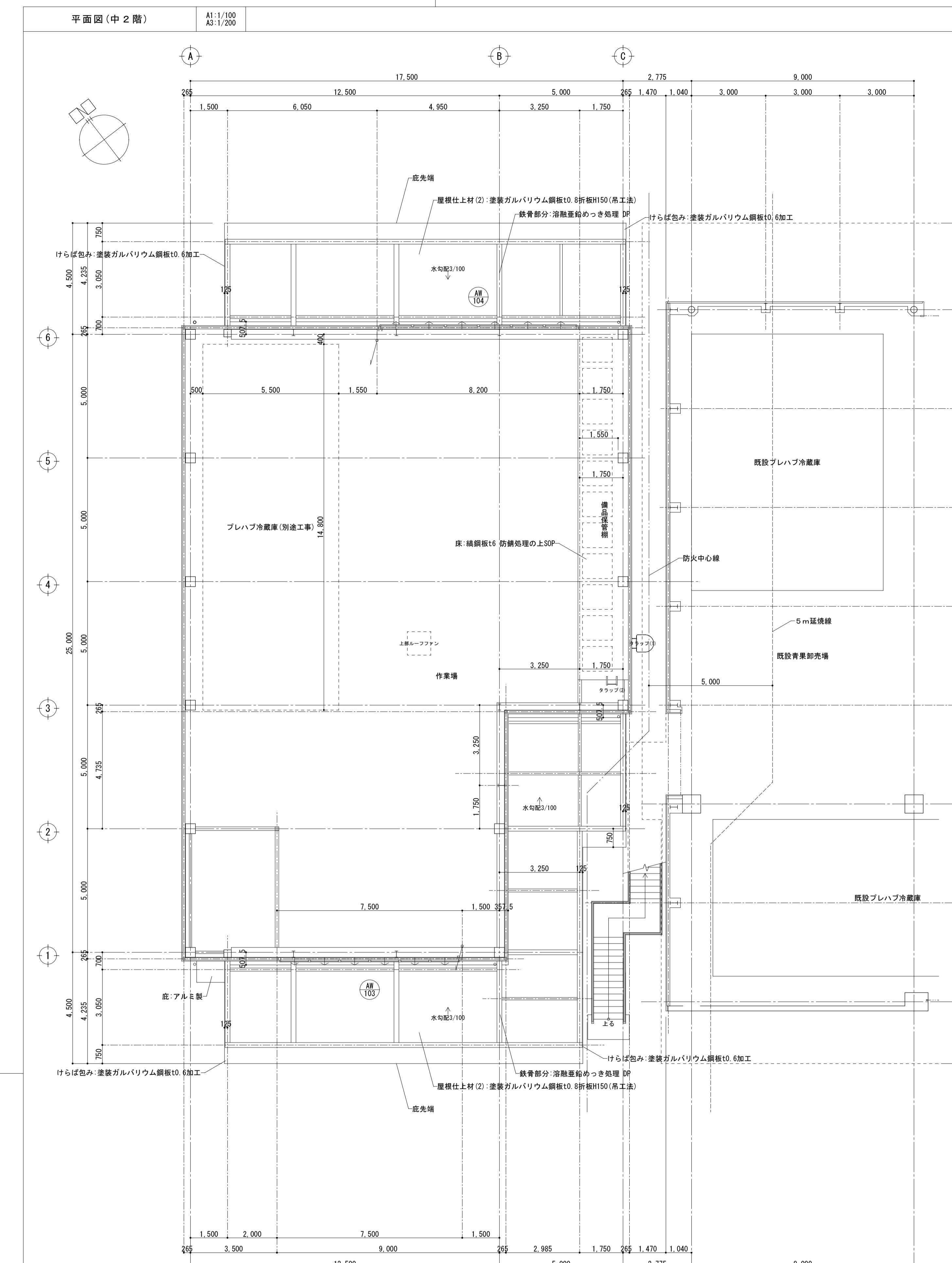
総合工程表(参考)						
工種	1箇月	2箇月	3箇月	4箇月	5箇月	6箇月
仮設・準備工	仮設・準備工					完了検
船体工事		地業工事	基礎工事	鉄骨工事		
外部工事					屋根工事	外壁工事
内部工事						内部工事
電気・機械設備工事		機械設備工事			電気・機械設備工事	

<input type="checkbox"/>	増築建物を示す				
<input type="checkbox"/>	既設建物を示す				

着工		名		図番	
竣工		株式会社	販売作業	205.11.0	東近江市農業振興施設整備工事(建築工事)
施工		印	名	意	07
		1級建築士登録 第248195号 小林光史	付近見取図、建物配置図		

外部仕上表											
区分	部位	仕上		区分	部位	仕上		区分	部位	仕上	
		屋根	屋根仕上材(1):塗装ガルバリウム鋼板t0.8折板ハゼH166 裏貼材:スーパーフェルトンII t5		軒	軒(1):塗ビ製W23×H175 色付き 堅縦:塗ビ製t100,養生管:SGP管125A H1000 DP	既設屋外階段		鉄骨製 DP(踊り場まで既設屋外階段を利用して改修)		
一般事項	●本表は本工事に用いる内外装仕上げを一括して表す。各一覧表・材料表に記載の符号等は、本表以外の設計図にも適用する。			既設屋外階段							
耐候性塗料	VE	塗化ビニル樹脂エナメル塗り	AC	アクリル樹脂ワニス塗り	軒	軒(1):塗ビ製W23×H175 色付き 堅縦:塗ビ製t100,養生管:SGP管125A H1000 DP					
耐候性塗料	AE	アクリル樹脂エナメル塗り	2-ASC	アクリルシリコン樹脂ワニス塗り	腰壁	腰壁	腰壁				
耐候性塗料	DP	耐候性塗料塗り	2-FUC	常温乾燥形ふっ素樹脂ワニス塗り	壁	GB-ST12.5 (H形ジョイナー使用) 通気シート 木横鋼線:15×45#606 (防腐防錆処理)	壁	既設屋外階段	既設屋外階段		
耐候性塗料	2-XE	2液形エポキシ樹脂エナメル塗り	2-ASE	アクリルシリコン樹脂エナメル塗り	開口部	外部壁上材:塗装ガルバリウム鋼板t0.4角波成型縫張り	開口部	既設屋外階段	既設屋外階段		
耐候性塗料	EP	合成樹脂エマルジョンペイント塗り	2-FUE	常温乾燥形ふっ素樹脂エナメル塗り	タラップ	アルミ製	タラップ	既設屋外階段	既設屋外階段		
耐候性塗料	EP-G	つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り	FE	フタル酸樹脂エナメル塗り							
耐候性塗料	EP-SI	低汚染エマルジョンペイント									
耐候性塗料	LC	クリヤラッカ塗り	U-BE	1液形ウレタン樹脂焼付塗装							
耐候性塗料	2-UC	2液形ポリウレタンワニス塗り	F-BE	ふっ素樹脂焼付塗装							
耐候性塗料	OS	オイルスティック塗り	A-BE	アクリル樹脂焼付塗装							
耐候性塗料	OC	オイルフィニッシュ仕上げ									
耐候性塗料	WP	コンクリート面撥水剤塗り									
共通事項											
仕上工事											
下地等											
防火材料一覧表											
区分	使用	材料の名称・規格	認定番号	区分	使用	材料の名称・規格	認定番号	位置	室名	床	壁
不燃材料	・	けい酸カルシウム板	NM-8576	不燃材料	・	紙製壁紙	NM-0223	作業場	床	床	壁
			NM-8578			繊維壁紙	NM-****		高さ	高さ	高さ
			NM-9029			無機質壁紙	NM-0849		(軸体)・(準軸体)	(軸体)・(準軸体)	(軸体)・(準軸体)
	○	化粧けい酸カルシウム板	NM-8577		・	(下地・法定不燃材料、金属 ・せっこうボードを除く。直張り)			(軸体)・(準軸体)	(軸体)・(準軸体)	(軸体)・(準軸体)
	○	せっこうボード 12.5,15mm	NM-8619		・	パルプ混入スラグ・セメント板	NM-0523		(下地)	(下地)	(下地)
	・	不燃化粧せっこうボード 9.5mm	NM-0441		○	不燃化粧板	NM-2183		(下地)	(下地)	(下地)
	・	普通硬質せっこうボード 9.5,12.5,15mm	NM-9645		・	せっこうボード 9.5mm	NM-9828		(下地)	(下地)	(下地)
	・	化粧せっこうボード 12.5mm	NM-8614		○	化粧せっこうボード 9.5mm	NM-9824		(下地)	(下地)	(下地)
	・	化粧せっこうボード 12.5mm	NM-0127		・	シージングせっこうボード 9.5mm	NM-9826		(下地)	(下地)	(下地)
	・	強化せっこうボード 12.5,15,25mm	NM-8615		・	木片セメント板	NM-****		(下地)	(下地)	(下地)
	・	ロックウール化粧吸音板	NM-8599		・	木毛セメント板	NM-****		(下地)	(下地)	(下地)
	・	吹付けロックウール 10mm以上	NM-8601		・	紙製壁紙	NM-****		(下地)	(下地)	(下地)
不燃材料	・	グラスウール保温板	NM-8605	準不燃材料	・	繊維壁紙	NM-****	現場事務室	床	床	壁
	・	グラスウール化粧保温板	NM-8606		・	プラスチック製(塗化ビニル)壁紙	NM-9210		高さ	高さ	高さ
	・	ALCパネル	NM-****		・	無機質壁紙	NM-9410		(軸体)	(軸体)	(軸体)
	・	押出成形セメント板	NM-9252		・	(下地・法定不燃材料、金属 せっこうボードを除く。直張り)			(軸体)	(軸体)	(軸体)
	・	塗料塗装/不燃材料	NM-8585		・	*無機質壁紙は金属下地を含む			(軸体)	(軸体)	(軸体)
	・	仕上塗材/不燃材料	NM-8572		・	化粧せっこうボード 9.5mm	NM-9824		(軸体)	(軸体)	(軸体)
	・	(下地・法定不燃材)							(軸体)	(軸体)	(軸体)
	・	(下地・法定不燃材)							(軸体)	(軸体)	(軸体)
	・	(下地・法定不燃材)							(軸体)	(軸体)	(軸体)
	・	(下地・法定不燃材)							(軸体)	(軸体)	(軸体)
	・	(下地・法定不燃材)							(軸体)	(軸体)	(軸体)
	・	(下地・法定不燃材)							(軸体)	(軸体)	(軸体)
仕上材料表											
部位	名称(符号)	品種・規格・寸法など	参考品番(又は同等以上)	部位	名称(符号)	品種・規格・寸法など	参考品番(又は同等以上)	部位	名称(符号)	品種・規格・寸法など	参考品番(又は同等以上)
屋根	屋根	屋根仕上材(1)	塗装ガルバリウム鋼板t0.8折板ハゼH170 裏貼材:スーパーフェルトンII t5	床	ビニル床シート	複層ビニル床シートt2	東リ㈱:ノンワックスリリュームNW	天井	RC打放し	S GB-ST12.5見返し	塗ビ製
	屋根	屋根仕上材(2)	塗装ガルバリウム鋼板t0.8折板H150(吊工法)	木	ビニル木	H300	東リ㈱:防汚抗菌ワイド木	天井	LGS GB-Rt12.5	LGS GB-Rt12.5 ケイカル板t6底目張り EP	裏貼材:スーパーフェルトンII t5見返し
	庇		アルミ製	壁	クロス	無機質壁紙	㈱サンゲツ:フェイス程度	天井			天井高
樋	軒樋(1)	塗ビ製W273×H175 色付き	パナソニックハウジングシリューションズ㈱:エアロアイアン 前高200WIDE	化粧けい酸カルシウム板	紙製壁紙	繊維壁紙	NM-****	天井			天井高
	軒樋(2)	塗ビ製W212×H150 色付き	パナソニックハウジングシリューションズ㈱:エアロアイアン 前高165WIDE	化粧せっこうボード	セメント板	セメント板	NM-****	天井			天井高
	堅樋	塗ビ製t100 色付き	パナソニックハウジングシリューションズ㈱:タフカラーボード	木片セメント板	木毛セメント板	木毛セメント板	NM-****	天井			天井高
壁	養生管	SGP管t125A H1000 DP		壁	クロス	無機質壁紙	㈱サンゲツ:フェイス程度	天井			天井高
	外壁仕上材	塗装ガルバリウム鋼板t0.4角波成型	㈱淀川鉄鋼所:ヨド角波サイディング720	化粧けい酸カルシウム板	紙製壁紙	繊維壁紙	NM-****	天井			天井高
	通気シート	壁用遮熱・透湿・防水シート	フクビ化学工業㈱:遮熱エアテックスRST	化粧せっこうボード	セメント板	セメント板	NM-****	天井			天井高
腰壁	コンクリート保護剂	造膜・浸透型疊水剤	大日技研工業㈱:ランデックスコートWS疊水剤B工法	壁	クロス	無機質壁紙	㈱サンゲツ:フェイス程度	天井			天井高
				化粧けい酸カルボン酸	紙製壁紙	繊維壁紙	NM-****	天井			天井高
				化粧けい酸カルボン酸	セメント板	セメント板	NM-****	天井			天井高
その他	パリカーハン型	スチール製 Φ76.3×t3.2 H800 黄色焼付塗装	帝金㈱:パリカーハン型 スタンダードスチールコーナータイプ Y83R-A3	壁	クロス	無機質壁紙	㈱サンゲツ:フェイス程度	天井			天井高
	パリカービューラー型	スチール製 Φ114.3×t4.5 H850 黄色焼付塗装	帝金㈱:パリカーハン型 スタンダード スチールタイプ 55-4 フックナシ	化粧けい酸カルボン酸	紙製壁紙	繊維壁紙	NM-****	天井			天井高
	ルーフファン	省エネ形	㈱鎌倉製作所:RF-24E	化粧けい酸カルボン酸	セメント板	セメント板	NM-****	天井			天井高
外部	庇	吊ボール式 アルミ製庇	アルフィン㈱:AP60 サポートボール仕様	壁	クロス	無機質壁紙	㈱サンゲツ:フェイス程度	天井			天井高
				化粧けい酸カルボン酸	紙製壁紙	繊維壁紙	NM-****	天井			天井高
				化粧けい酸カルボン酸	セメント板						





<input type="checkbox"/>	柱:コラム		排煙用オペレーターを示す
<input type="checkbox"/>	柱:H形鋼		
<input type="checkbox"/>	壁:鉄骨胴縁		
<input type="checkbox"/>	壁:軽量鉄骨壁下地W100・50		

着工		

竣工

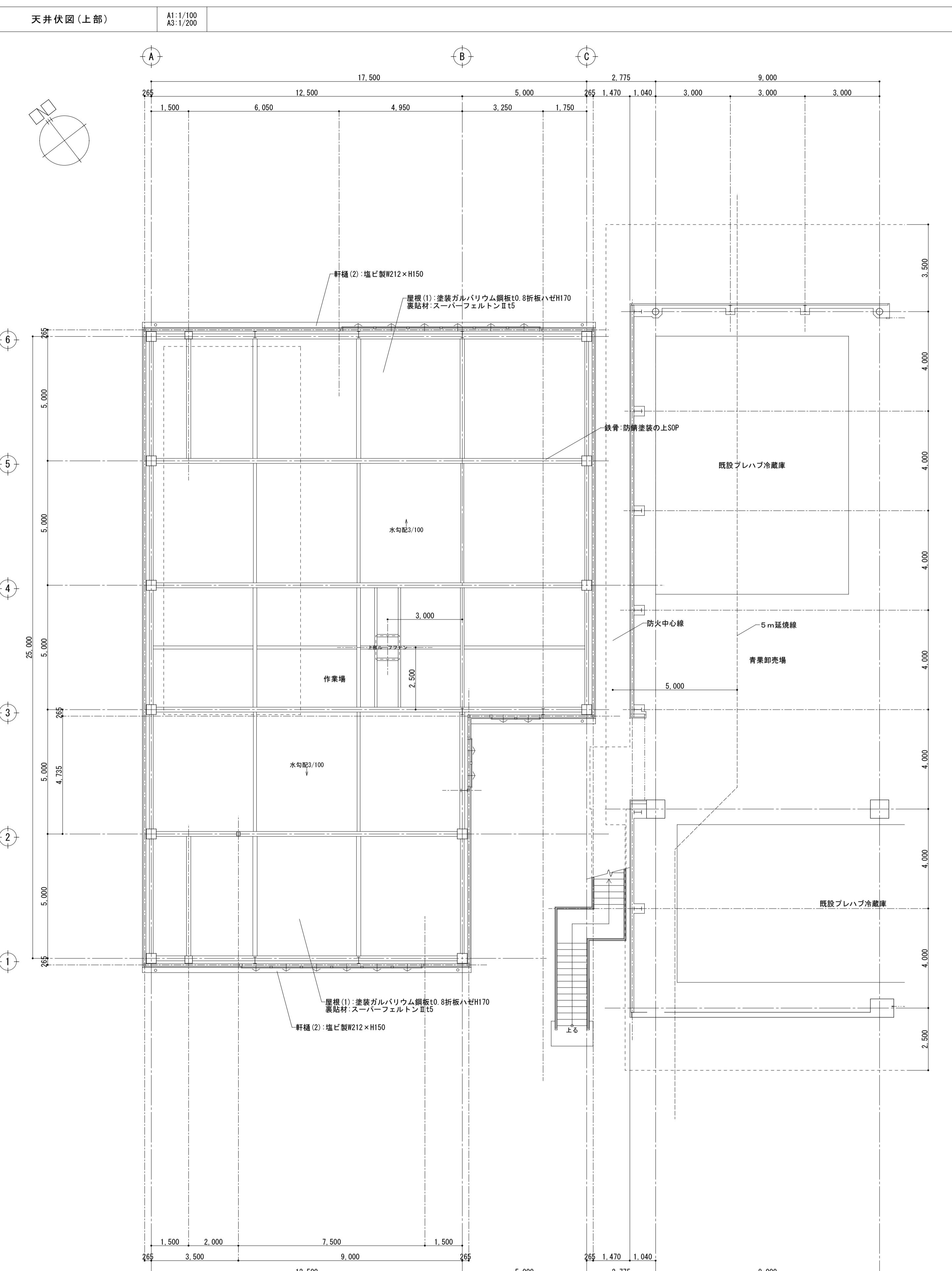
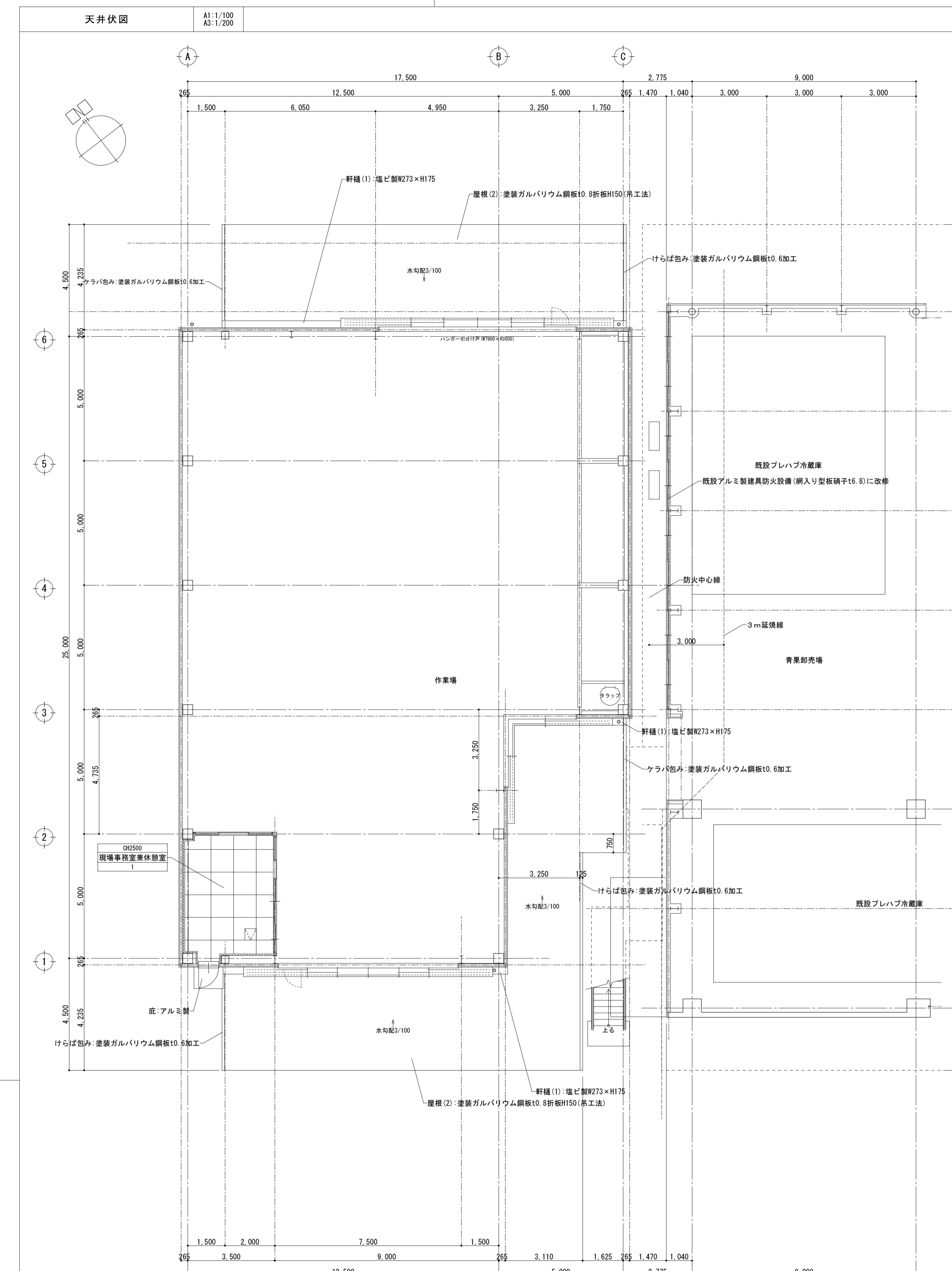
施工		

File 2025/12/09 Output 2025/12/ 9

株式会社 創作舎	作成 2025.10.10	名称 東近江市農業振興施設整備工事(建築)
1級建築士登録 第248195号 小杉光史	証印	図名 平面図(中2階), 屋根伏図

For more information, contact the Office of the Vice President for Research and Economic Development at 319-273-2500 or [research@uiowa.edu](mailto:research@uiowa.edu).

図 番  
意 - 10



柱: コラム  
柱: H形鋼  
壁: 鉄骨鋼緑  
壁: 軽量鉄骨壁下地W100-50

排煙用オペレーターを示す

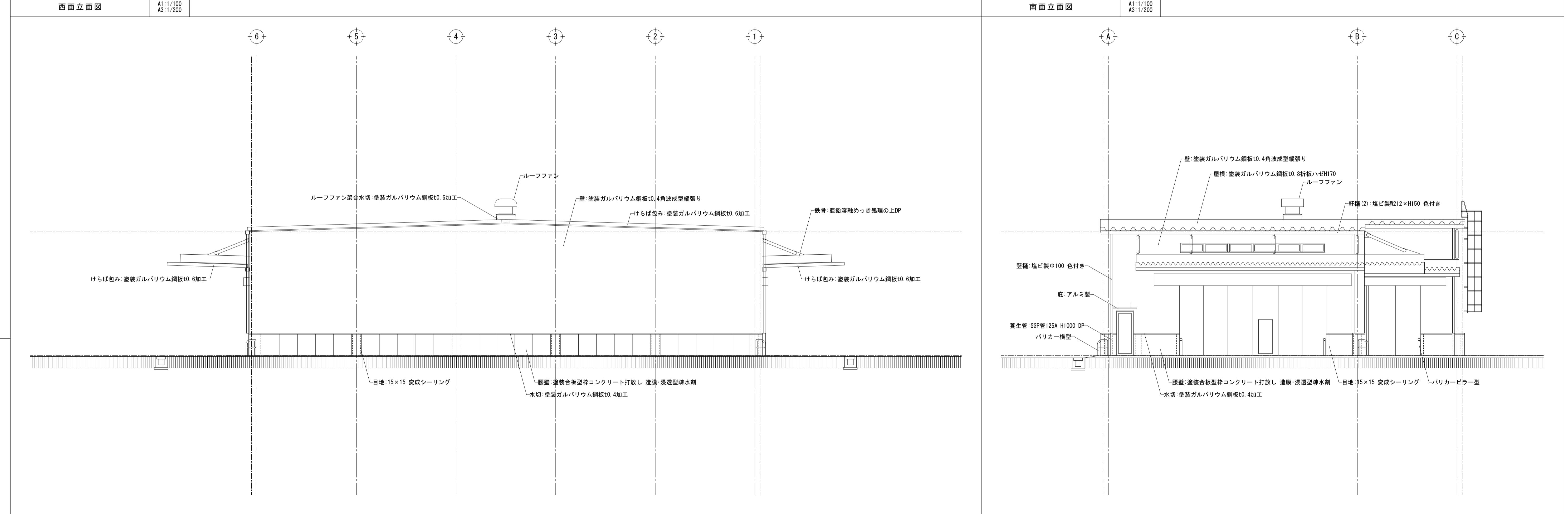
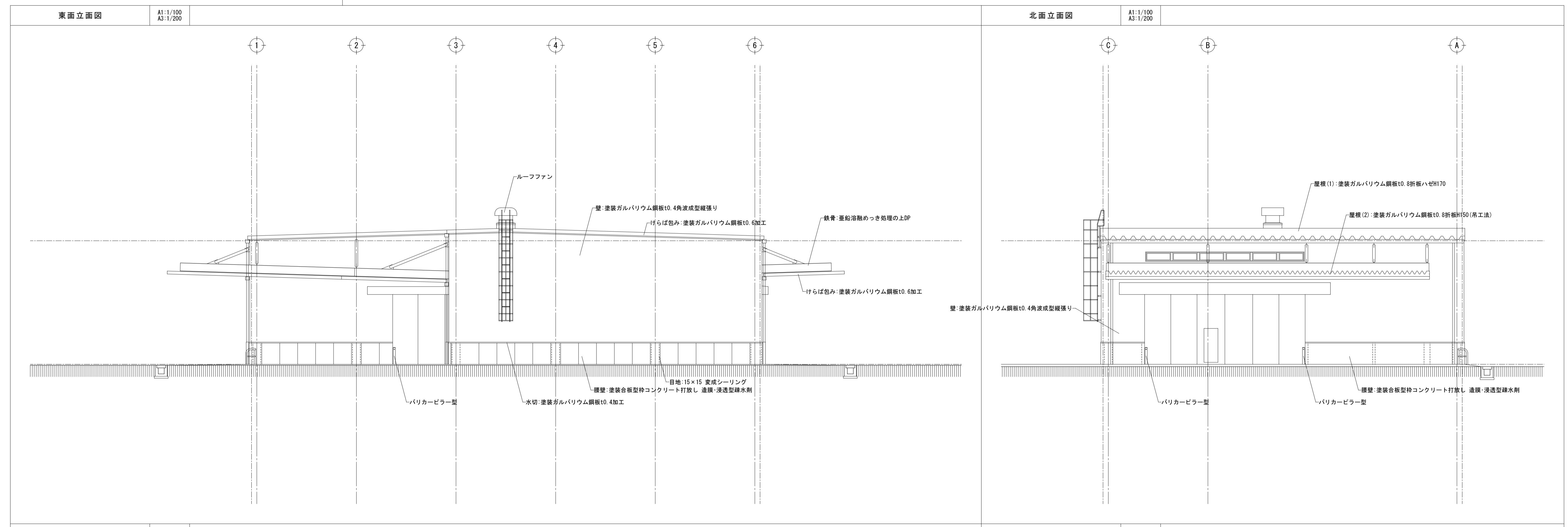
1 LGS GB-Nct9.5

△

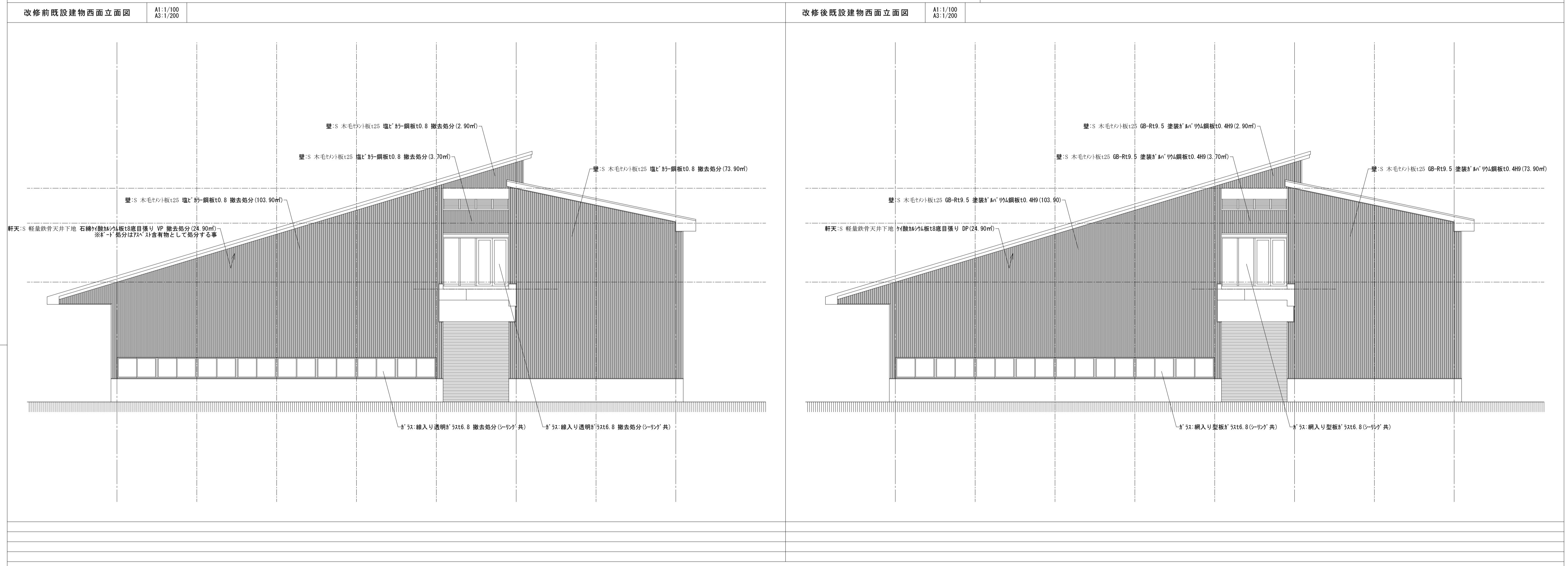
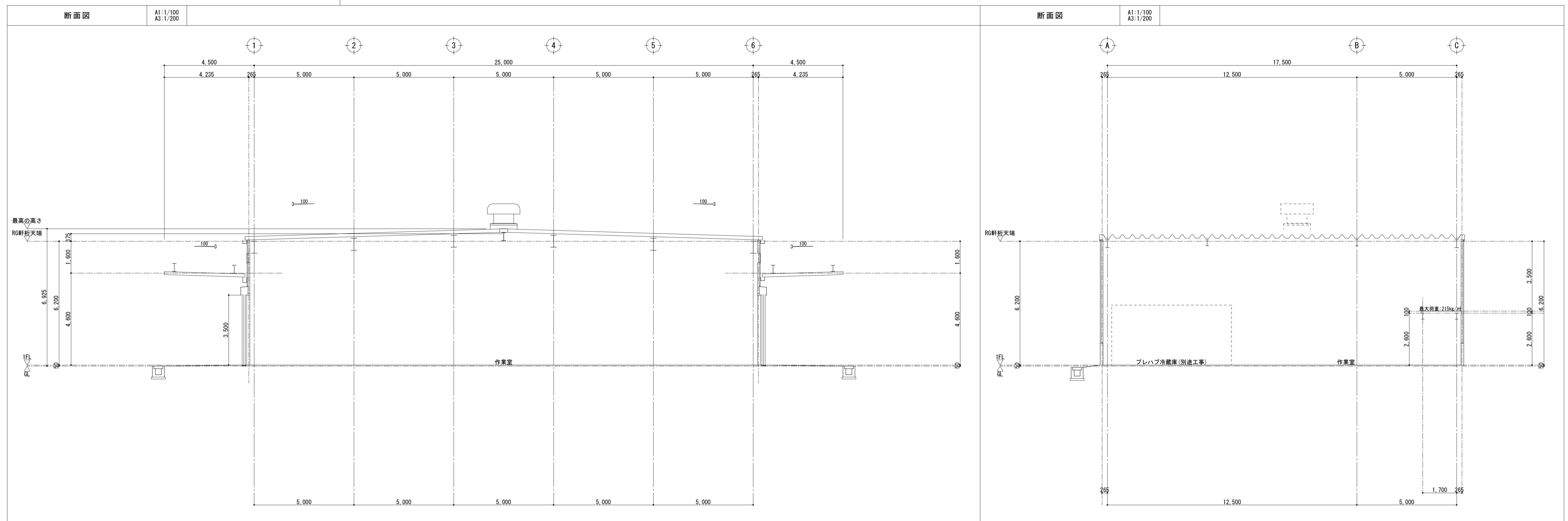
天井点検口: アルミ製450×450

着工	竣工	施工

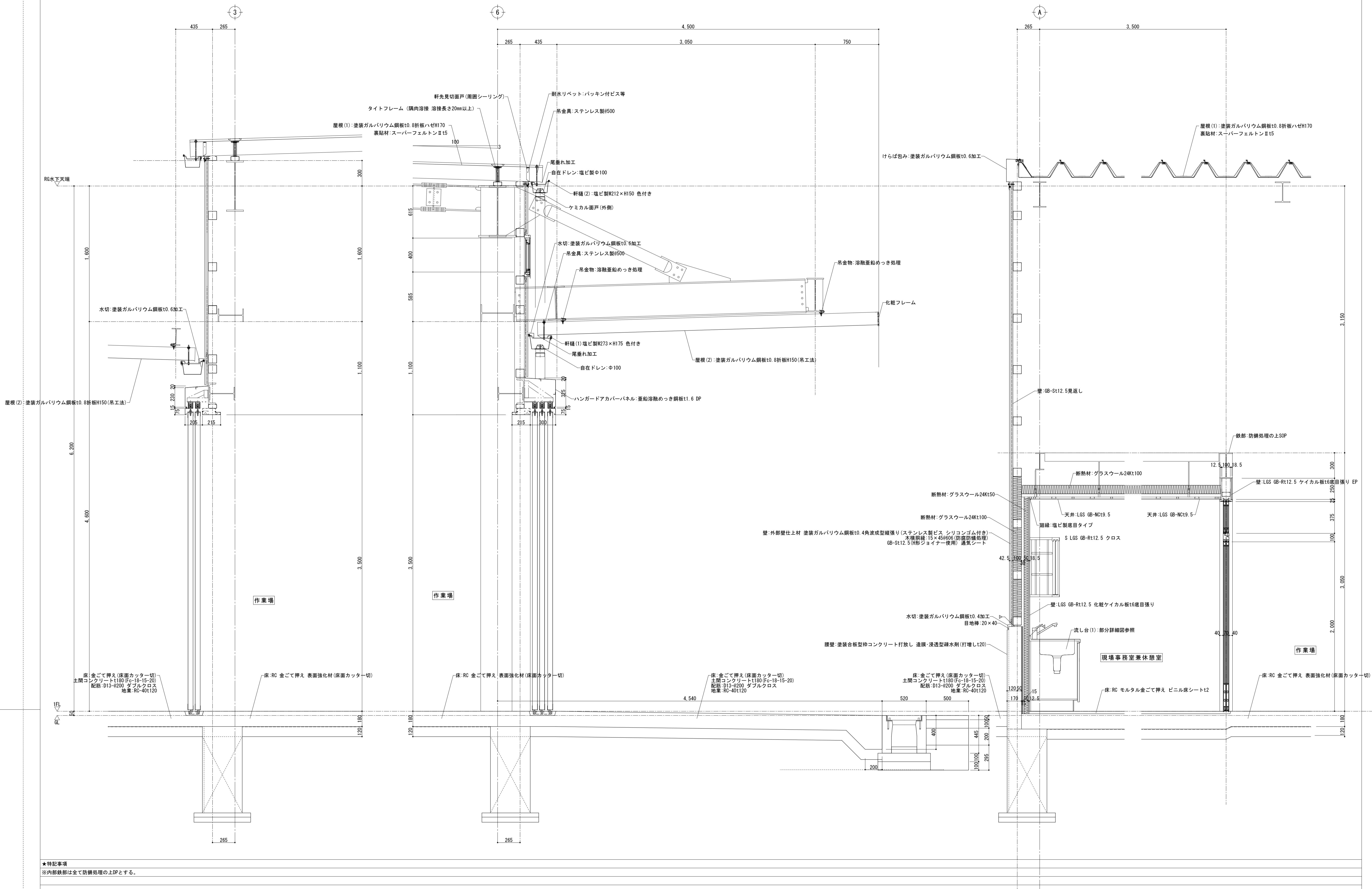
株式会社 創作舎	作成 2025.10.10	名 称 東近江市農業振興施設整備工事(建築工事)
1級建築士登録 第248195号 小杉光史	監印	図名 天井伏図



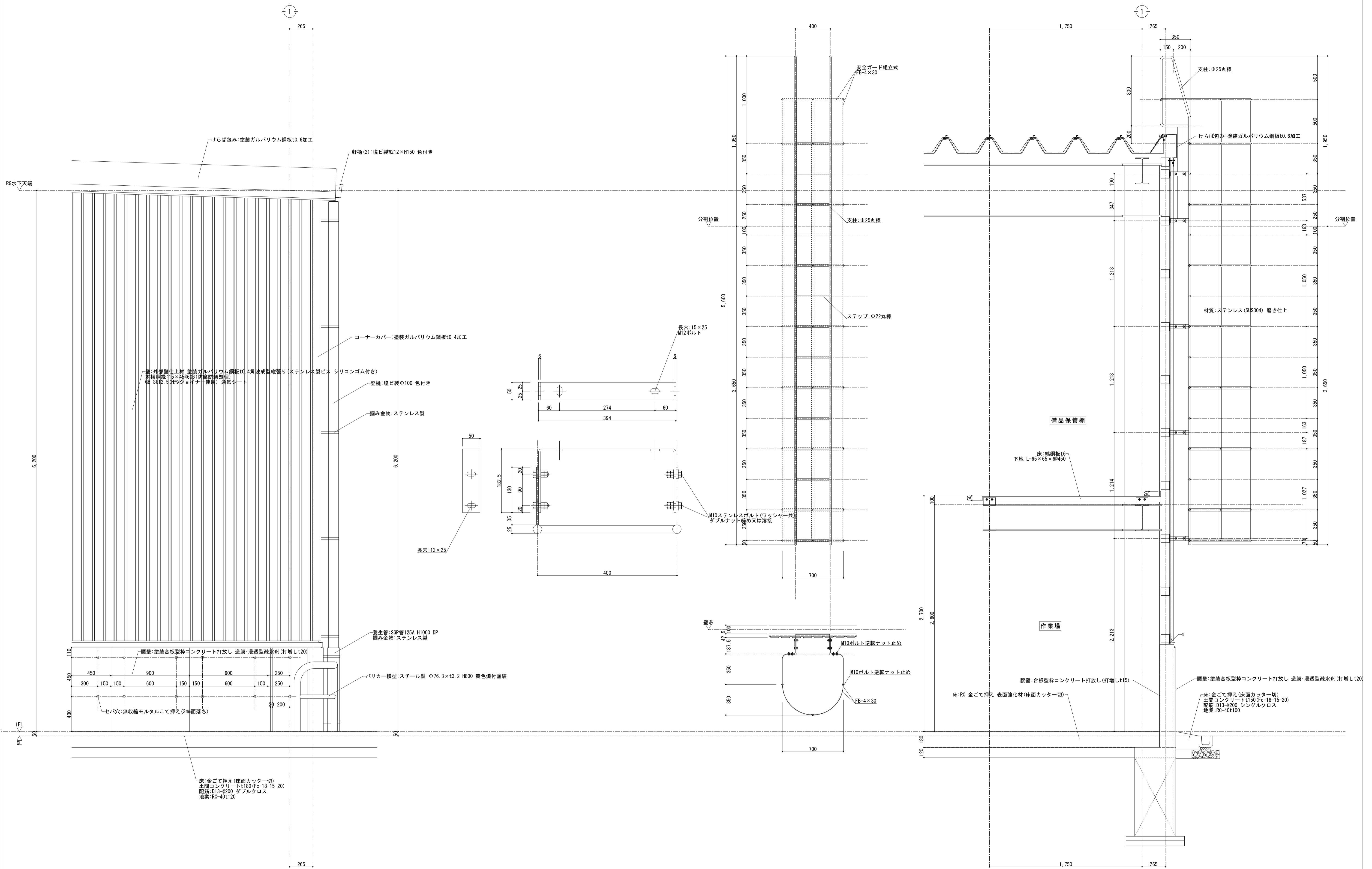
着工								株式会社 創作舎	作成	名 称
竣工									2025.10.10	東近江市農業振興施設整備工事(建築工事)
施工								1級建築士登録 第248195号 小杉光史	監印	図名 立面図

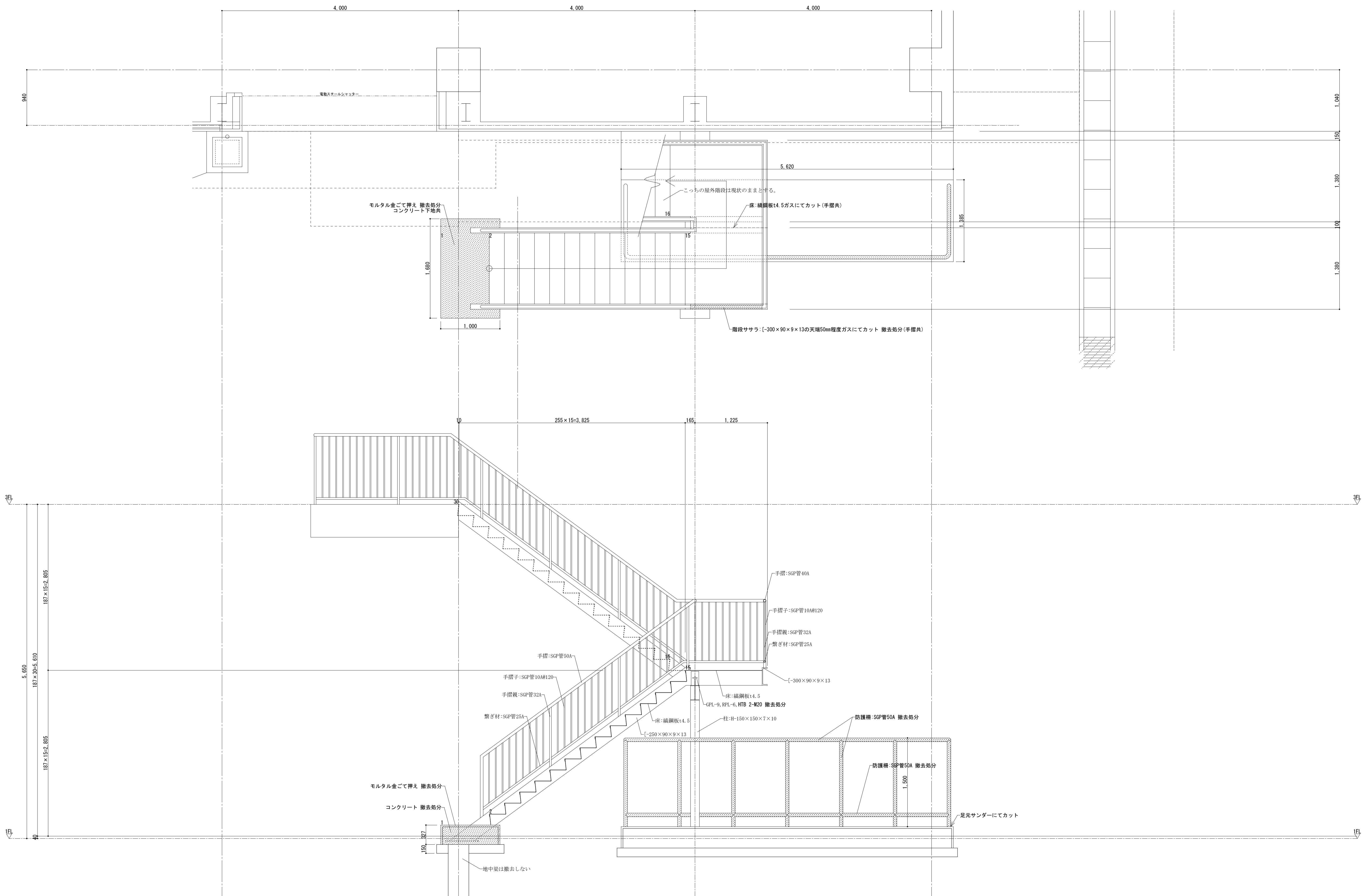


着工	特記無き限り現状のままする	株式会社 創作舎	作成 2025.10.10	名 称 東近江市農業振興施設整備工事(建築工事)	図番 意 - 13
竣工	明朝体の仕上は既設部分を示す				
施工	ゴシック体は新設・改修部分を示す				

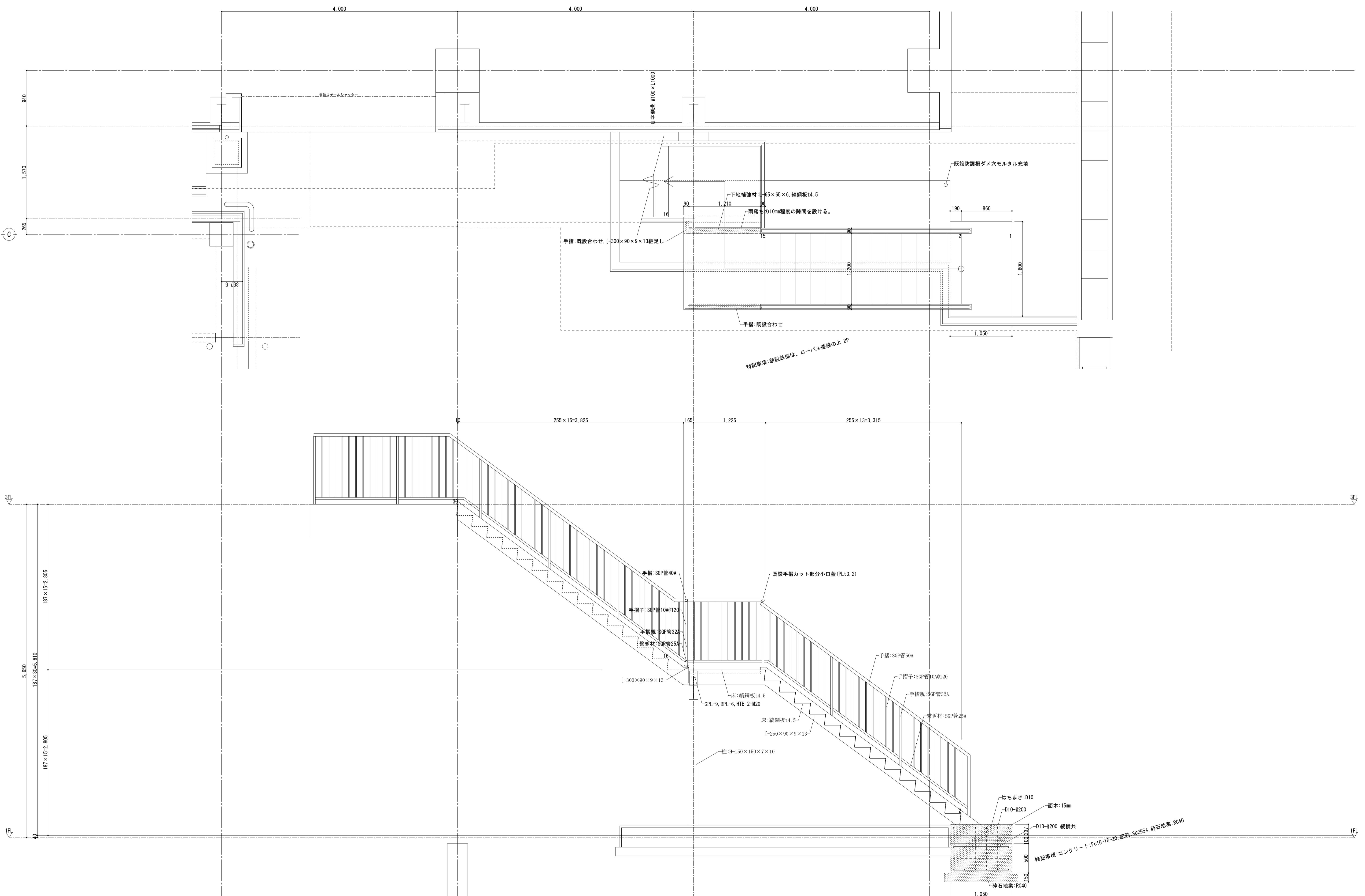


着工		株式会社 創作舎	作成	名 称	図番
竣工			2025.10.10	東近江市農業振興施設整備工事(建築工事)	
施工			監印	図名	意 - 14

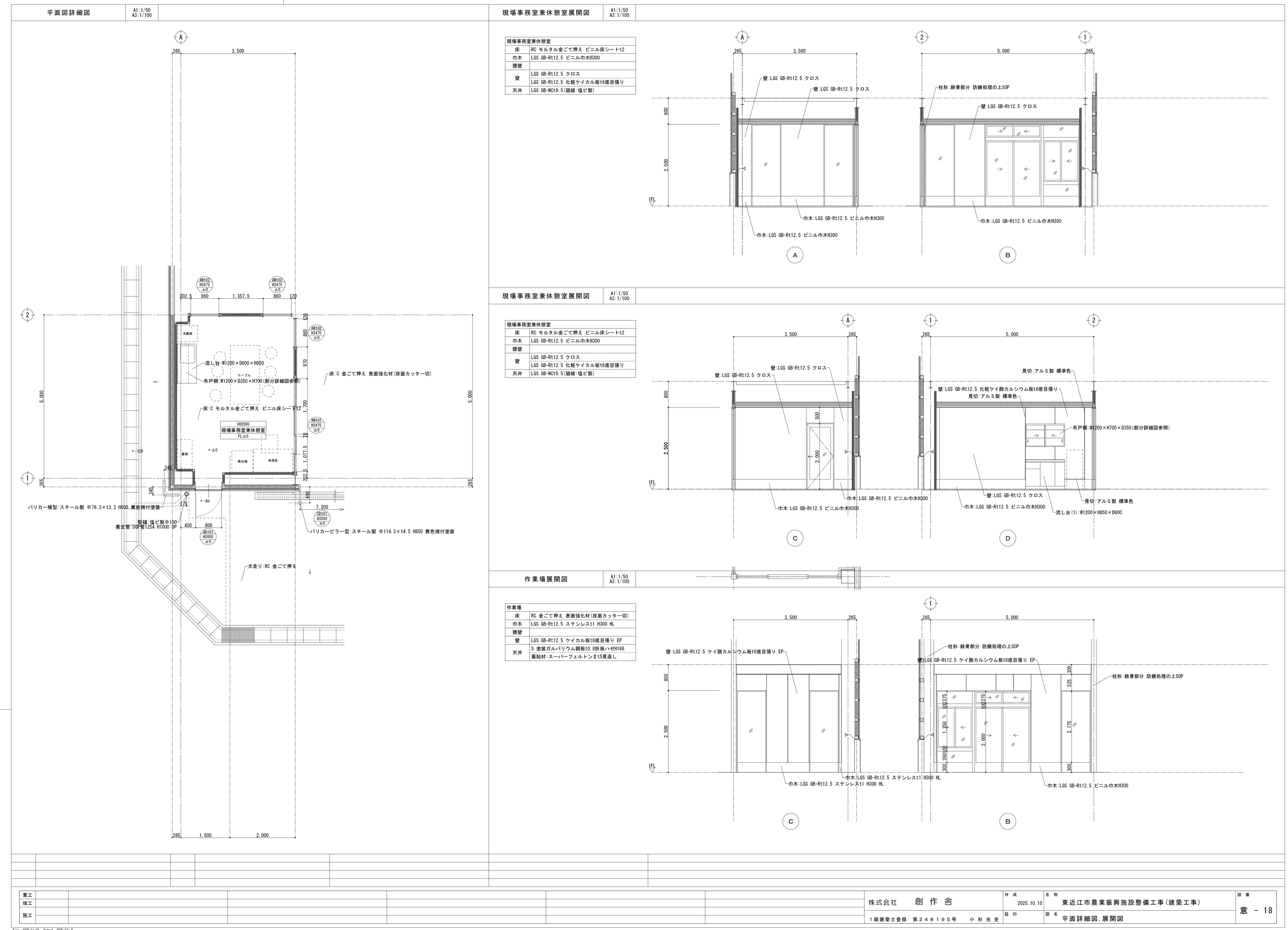




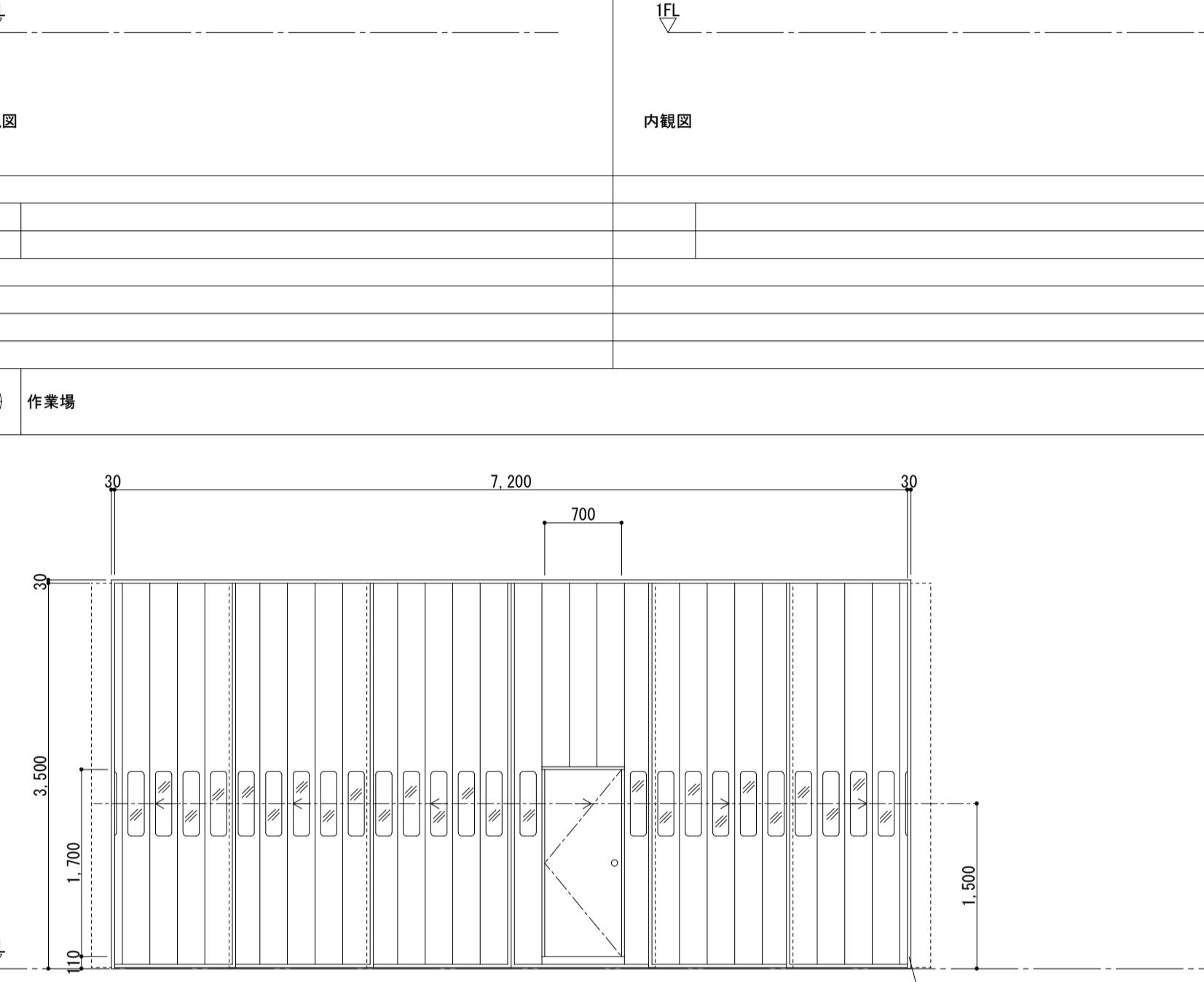
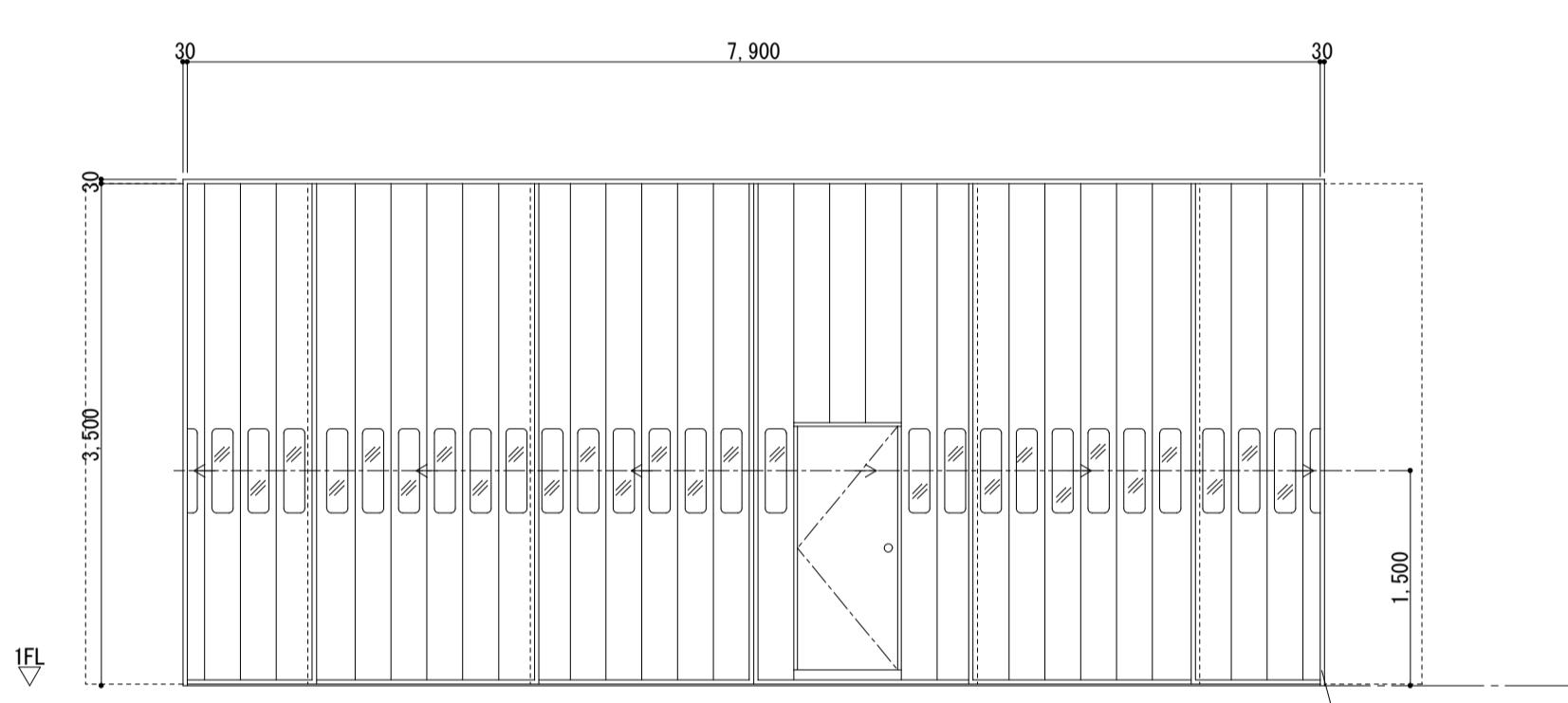
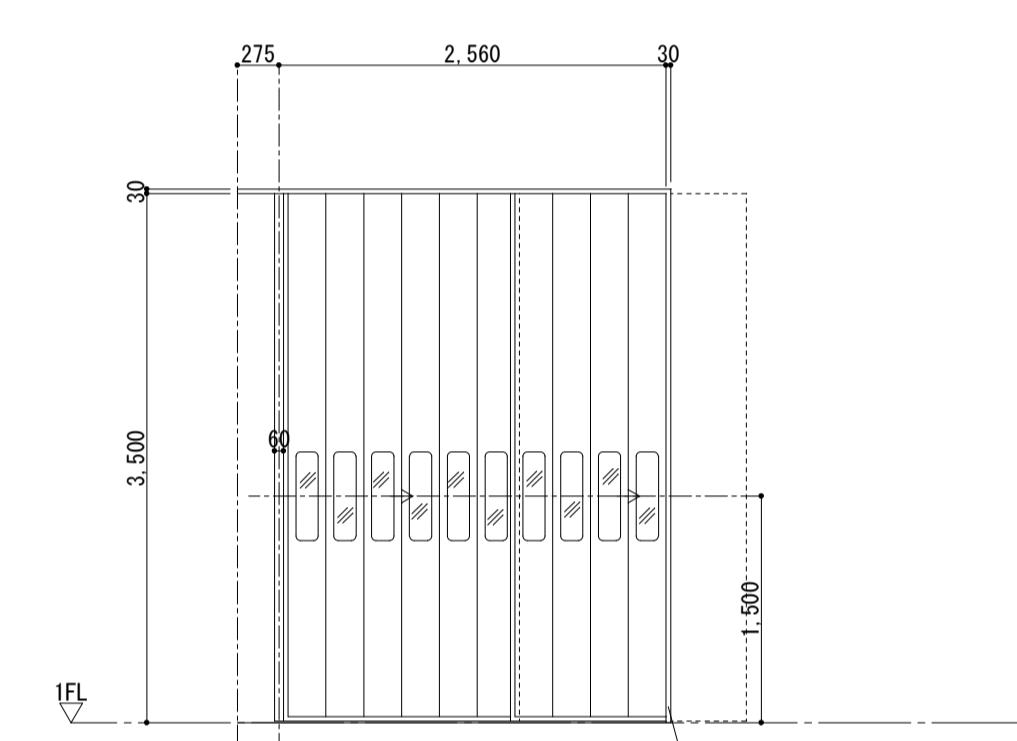
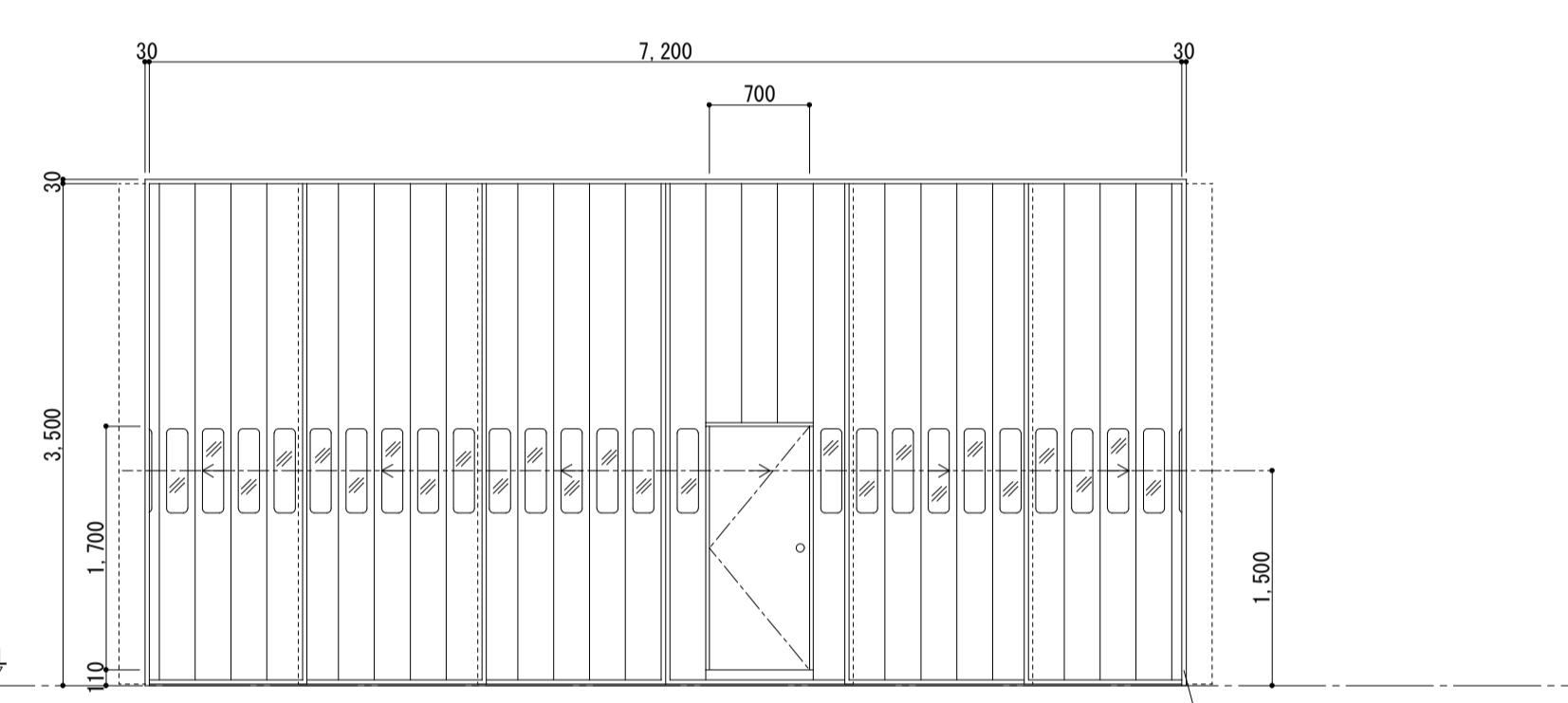
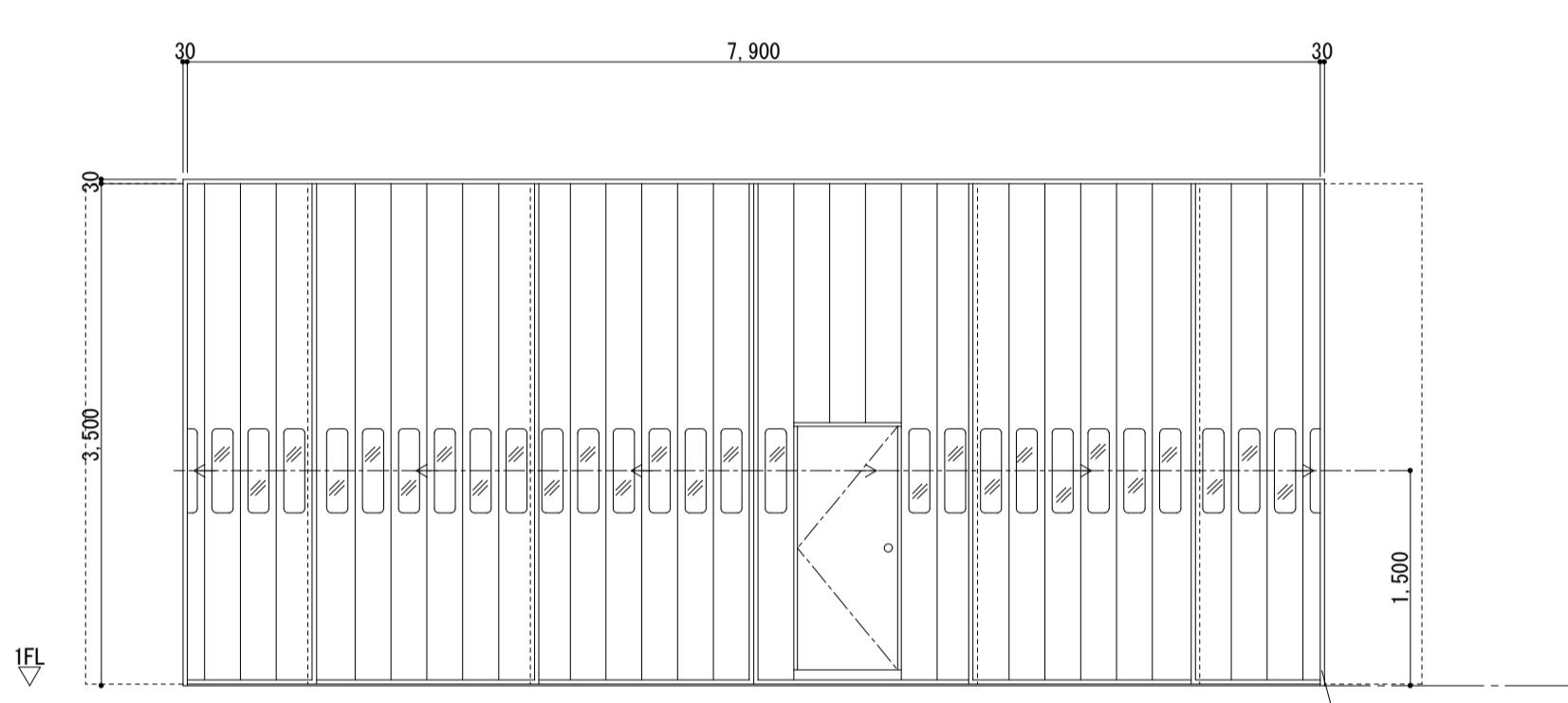
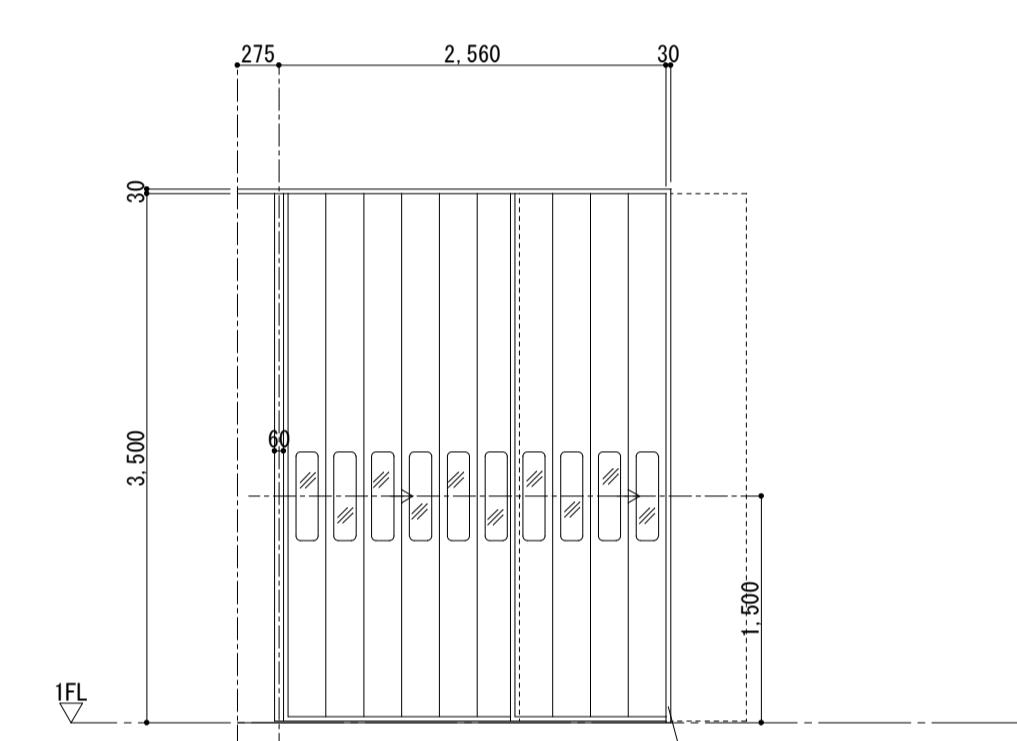
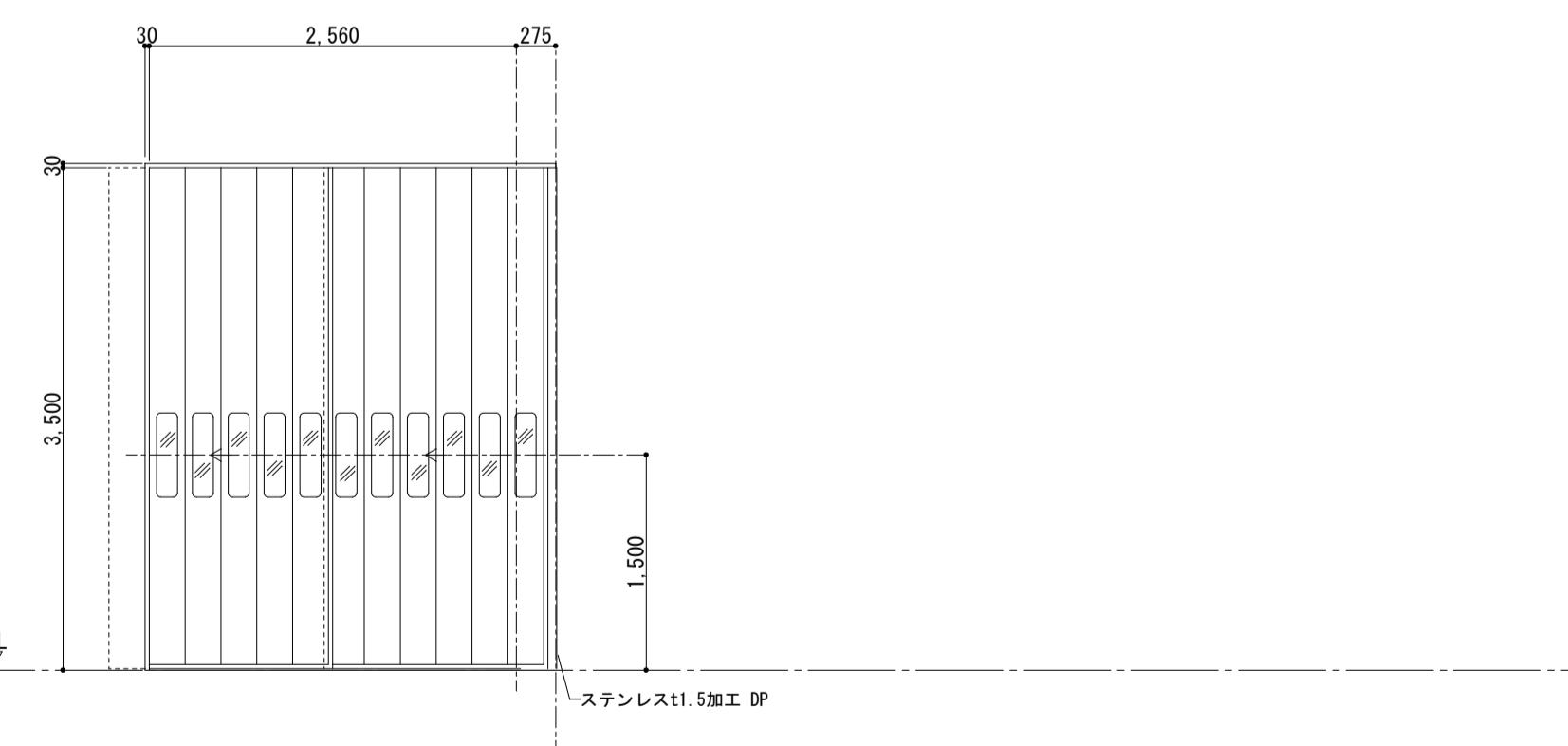
着工	<input checked="" type="checkbox"/>	部分撤去(躯体又は準躯体から)を示す。	明朝体の仕上は既設仕上材を示す、特記無き限り現状のまとする。								
竣工	<input checked="" type="checkbox"/>	部分撤去(下地から)を示す。	ゴシック体は部分撤去を示す。	株式会社 創作舎	2025.10.10	東近江市農業振興施設整備工事(建築工事)					
施工	<input checked="" type="checkbox"/>	部分撤去を示す。									
			1級建築士登録 第248195号 小林光史	記印	図名	改修専既設屋外階段詳細図					

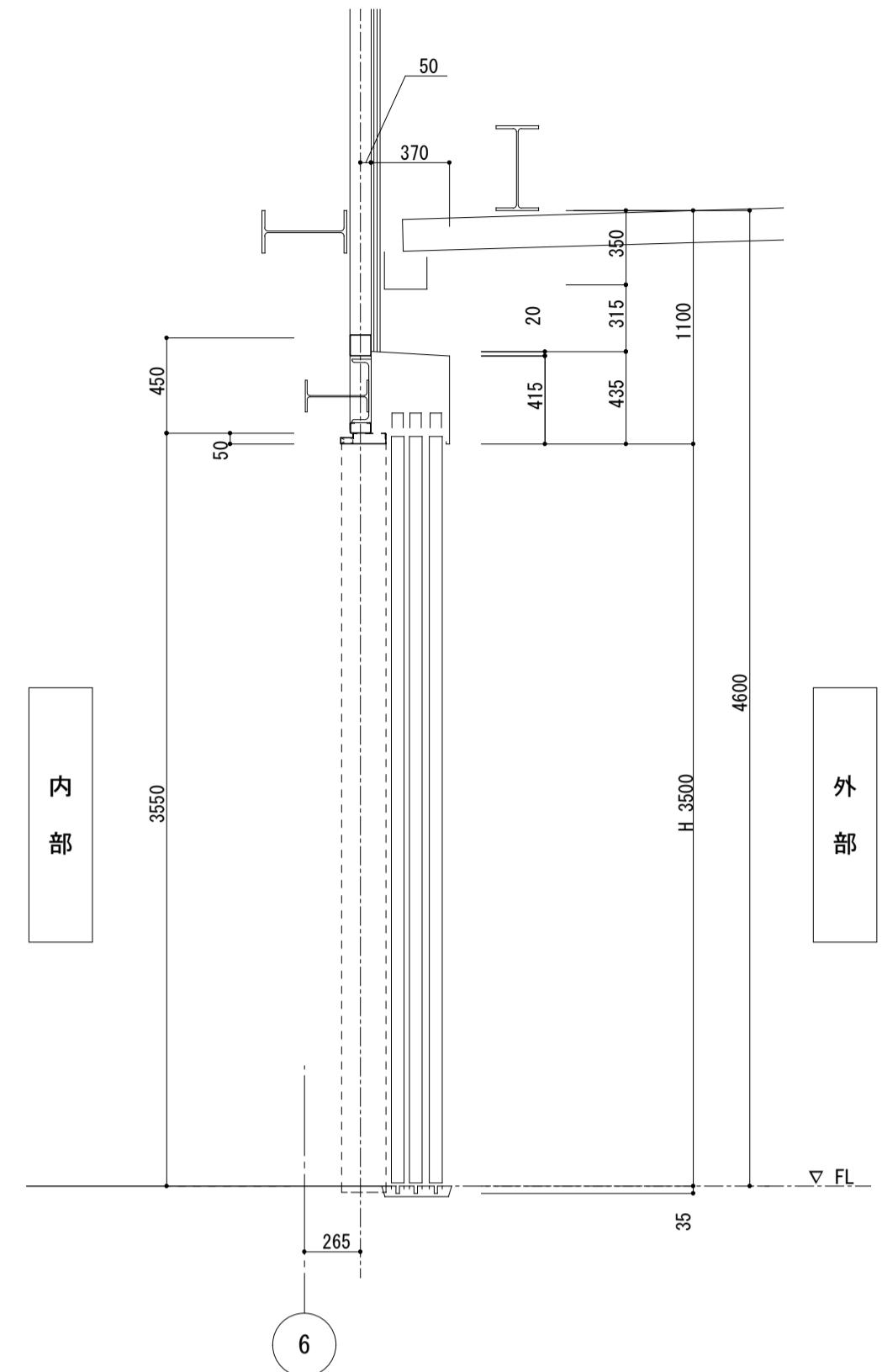
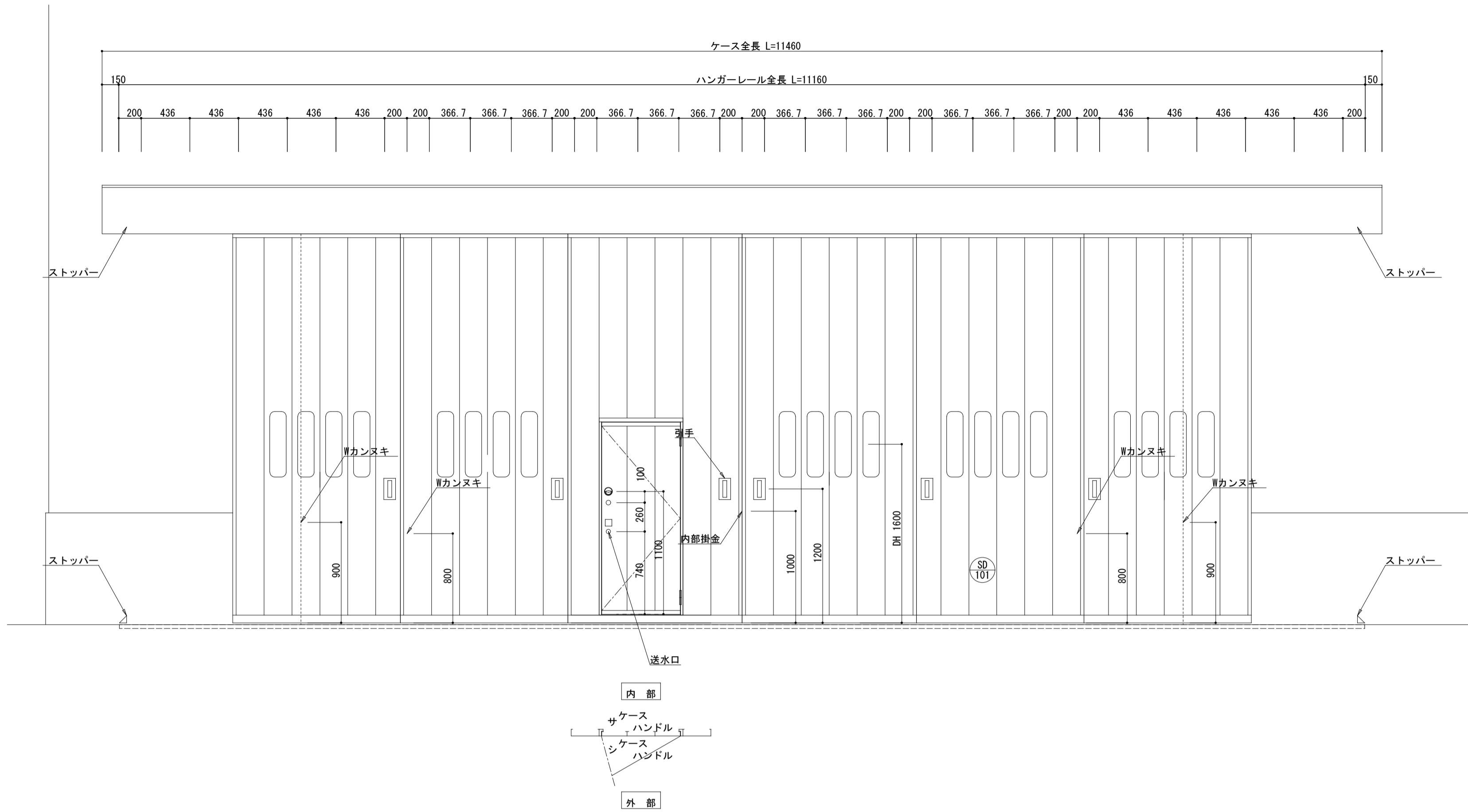


着工	<input checked="" type="checkbox"/>	新設・改修部分(躯体又は準躯体から)を示す。	明朝体の仕上は既設仕上材を示す、特記無き限り現状のまとする。	株式会社 創作舎	作成	名 称
竣工	<input checked="" type="checkbox"/>	新設・改修部分(下地から)を示す。	ゴシック体は新設・改修部分を示す。		2025.10.10	東近江市農業振興施設整備工事(建築工事)
施工	<input checked="" type="checkbox"/>	新設・改修部分を示す。			監 球	図名 改修後既設屋外階段詳細図

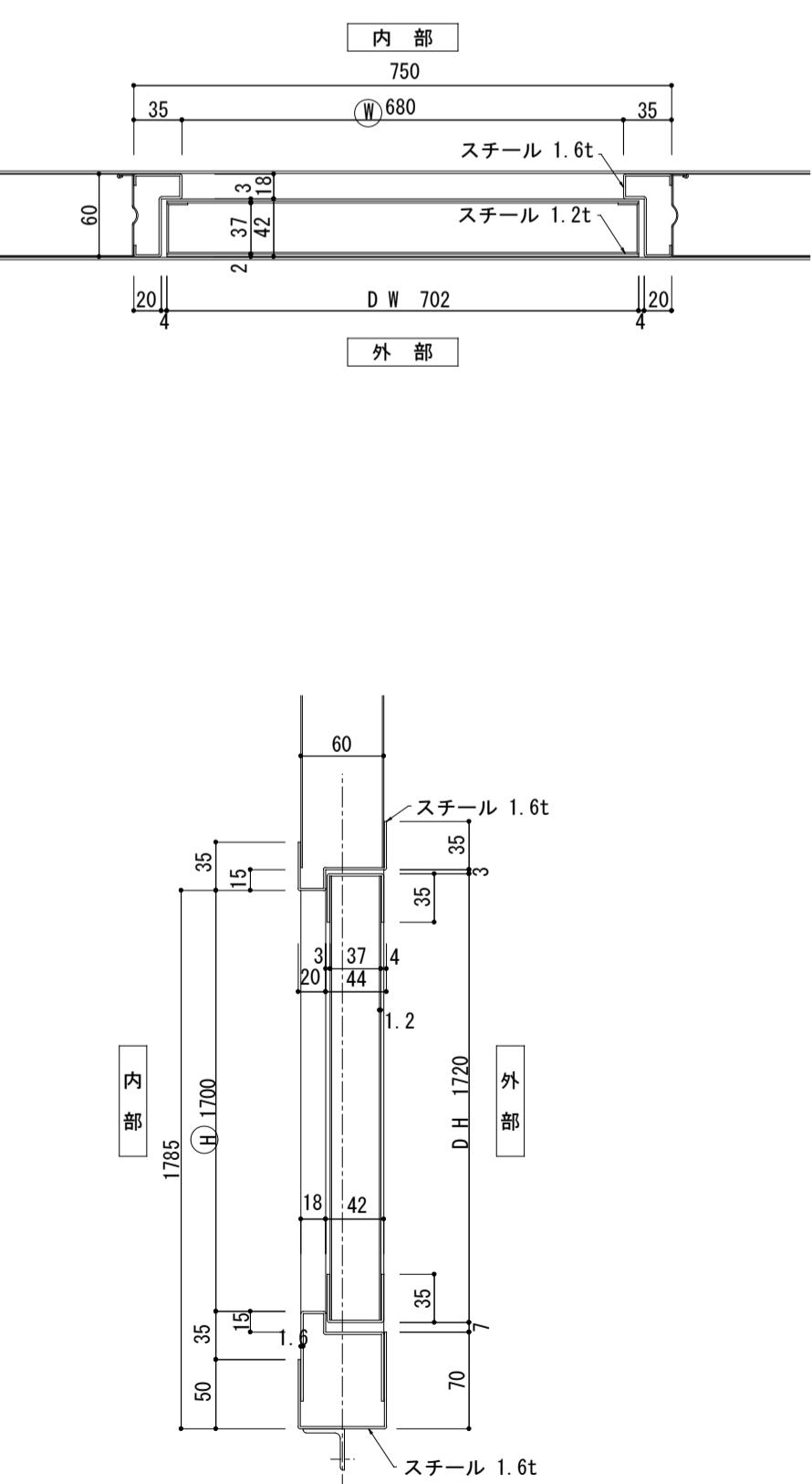
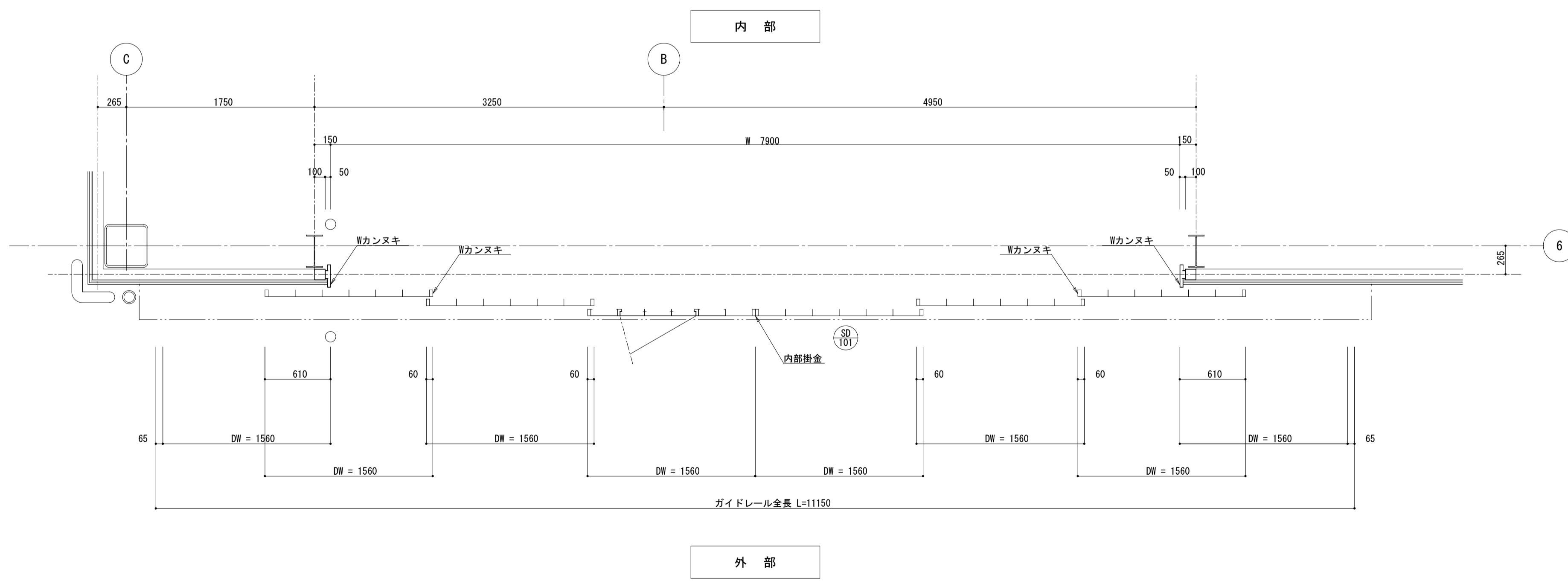




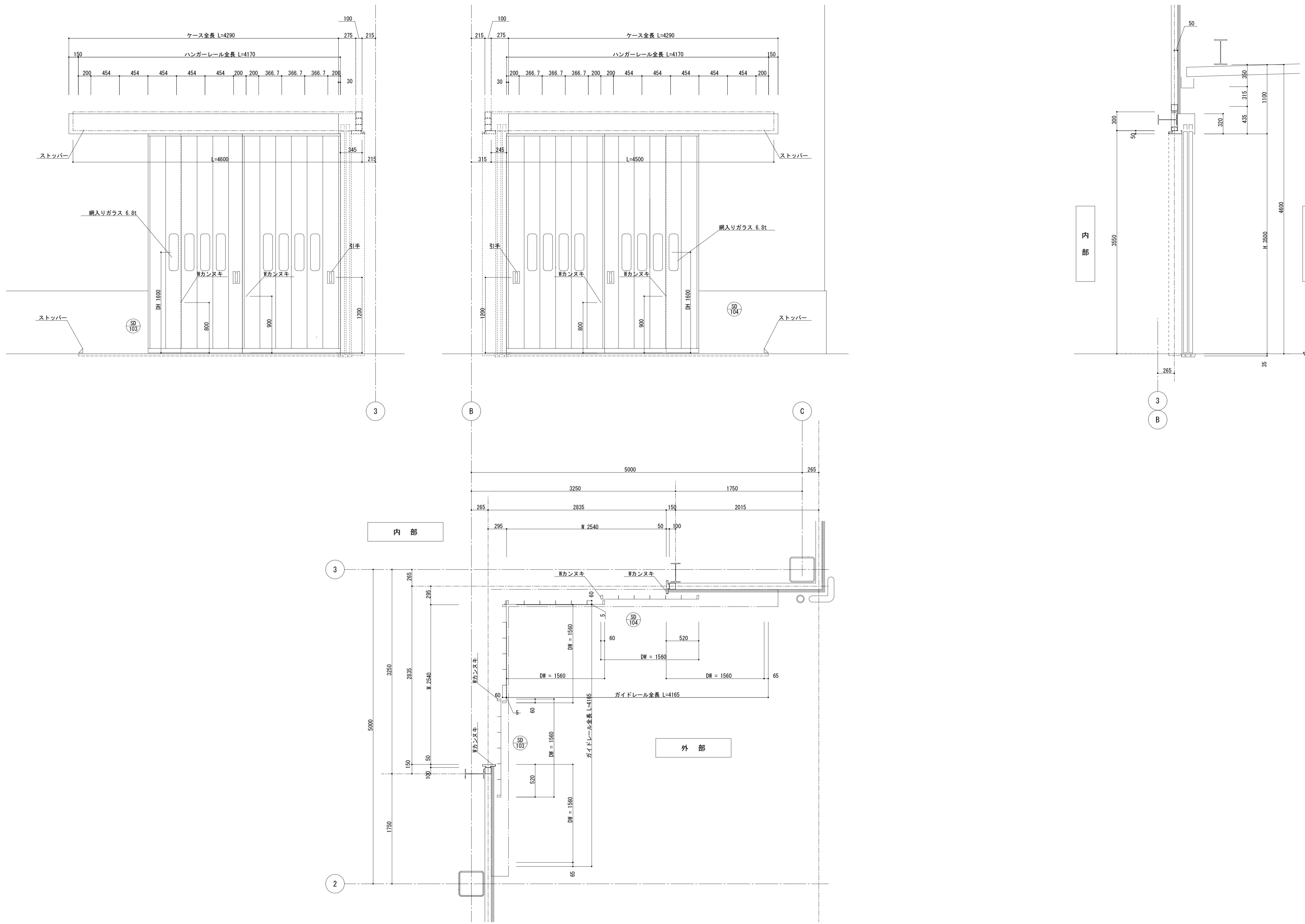
建具表 (2)																																					
符号	位置	数量	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																								
建具姿図																																					
																																					
																																					
																																					
内観図																																					
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="3">形式</th> </tr> <tr> <th>枠</th> <th>見込</th> <th>材料・仕上</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>建具</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>付属金物</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ガラス</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>備考</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>														形式			枠	見込	材料・仕上	建具			付属金物			ガラス			備考								
形式																																					
枠	見込	材料・仕上																																			
建具																																					
付属金物																																					
ガラス																																					
備考																																					
符号	位置	数量	SD 101	作業場	1箇所	SD 102	作業場	1箇所	SD 103	作業場	1箇所	SD 104	作業場	1箇所																							
建具姿図																																					
																																					
																																					
																																					
内観図																																					
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="3">形式</th> </tr> <tr> <th>枠</th> <th>見込</th> <th>材料・仕上</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>建具</td> <td>215</td> <td>ステンレス t1.5加工 HL</td> </tr> <tr> <td></td> <td>60</td> <td>塗装溶融垂鉛めっき鋼板 t1.0 DP. ※使用部材全て溶融垂鉛めっき処理の上DPとする</td> </tr> <tr> <td>付属金物</td> <td colspan="3">メーカー標準金物一式、引手(全ての建具に取付)、内鍵、ガイドレール・ステンレス t2加工、ハンガーレール、ブラケット、潜り戸・ケースハンドル(シリンドラー+サムターン錠)、H※緑枠・ドアとドアの隙間に風よけ防止の処置を施す、外部ハンガーレールカバー:溶融垂鉛めっき鋼板 t1.6加工 DP、水圧開放装置</td> </tr> <tr> <td>ガラス</td> <td colspan="3">明り窓: PWGt6.8</td> </tr> <tr> <td>備考</td> <td colspan="3">※取付金物は全て溶融垂鉛めっき処理の上DPとする</td> </tr> </tbody> </table>														形式			枠	見込	材料・仕上	建具	215	ステンレス t1.5加工 HL		60	塗装溶融垂鉛めっき鋼板 t1.0 DP. ※使用部材全て溶融垂鉛めっき処理の上DPとする	付属金物	メーカー標準金物一式、引手(全ての建具に取付)、内鍵、ガイドレール・ステンレス t2加工、ハンガーレール、ブラケット、潜り戸・ケースハンドル(シリンドラー+サムターン錠)、H※緑枠・ドアとドアの隙間に風よけ防止の処置を施す、外部ハンガーレールカバー:溶融垂鉛めっき鋼板 t1.6加工 DP、水圧開放装置			ガラス	明り窓: PWGt6.8			備考	※取付金物は全て溶融垂鉛めっき処理の上DPとする		
形式																																					
枠	見込	材料・仕上																																			
建具	215	ステンレス t1.5加工 HL																																			
	60	塗装溶融垂鉛めっき鋼板 t1.0 DP. ※使用部材全て溶融垂鉛めっき処理の上DPとする																																			
付属金物	メーカー標準金物一式、引手(全ての建具に取付)、内鍵、ガイドレール・ステンレス t2加工、ハンガーレール、ブラケット、潜り戸・ケースハンドル(シリンドラー+サムターン錠)、H※緑枠・ドアとドアの隙間に風よけ防止の処置を施す、外部ハンガーレールカバー:溶融垂鉛めっき鋼板 t1.6加工 DP、水圧開放装置																																				
ガラス	明り窓: PWGt6.8																																				
備考	※取付金物は全て溶融垂鉛めっき処理の上DPとする																																				
符号	位置	数量	SD 104	作業場	1箇所	○	○	○	○	○	○	○	○	○																							
建具姿図																																					
																																					
																																					
																																					
内観図																																					
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="3">形式</th> </tr> <tr> <th>枠</th> <th>見込</th> <th>材料・仕上</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>建具</td> <td>215</td> <td>ステンレス t1.5加工 HL</td> </tr> <tr> <td></td> <td>60</td> <td>塗装溶融垂鉛めっき鋼板 t1.0 DP. ※使用部材全て溶融垂鉛めっき処理の上DPとする</td> </tr> <tr> <td>付属金物</td> <td colspan="3">メーカー標準金物一式、引手(全ての建具に取付)、内鍵、ガイドレール・ステンレス t2加工、ハンガーレール、ブラケット、潜り戸・ケースハンドル(シリンドラー+サムターン錠)、H※緑枠・ドアとドアの隙間に風よけ防止の処置を施す、外部ハンガーレールカバー:溶融垂鉛めっき鋼板 t1.6加工 DP</td> </tr> <tr> <td>ガラス</td> <td colspan="3">明り窓: PWGt6.8</td> </tr> <tr> <td>備考</td> <td colspan="3">※取付金物は全て溶融垂鉛めっき処理の上DPとする</td> </tr> </tbody> </table>														形式			枠	見込	材料・仕上	建具	215	ステンレス t1.5加工 HL		60	塗装溶融垂鉛めっき鋼板 t1.0 DP. ※使用部材全て溶融垂鉛めっき処理の上DPとする	付属金物	メーカー標準金物一式、引手(全ての建具に取付)、内鍵、ガイドレール・ステンレス t2加工、ハンガーレール、ブラケット、潜り戸・ケースハンドル(シリンドラー+サムターン錠)、H※緑枠・ドアとドアの隙間に風よけ防止の処置を施す、外部ハンガーレールカバー:溶融垂鉛めっき鋼板 t1.6加工 DP			ガラス	明り窓: PWGt6.8			備考	※取付金物は全て溶融垂鉛めっき処理の上DPとする		
形式																																					
枠	見込	材料・仕上																																			
建具	215	ステンレス t1.5加工 HL																																			
	60	塗装溶融垂鉛めっき鋼板 t1.0 DP. ※使用部材全て溶融垂鉛めっき処理の上DPとする																																			
付属金物	メーカー標準金物一式、引手(全ての建具に取付)、内鍵、ガイドレール・ステンレス t2加工、ハンガーレール、ブラケット、潜り戸・ケースハンドル(シリンドラー+サムターン錠)、H※緑枠・ドアとドアの隙間に風よけ防止の処置を施す、外部ハンガーレールカバー:溶融垂鉛めっき鋼板 t1.6加工 DP																																				
ガラス	明り窓: PWGt6.8																																				
備考	※取付金物は全て溶融垂鉛めっき処理の上DPとする																																				
着工																																					
竣工																																					
施工																																					
株式会社	創作舎	作成	2025.10.10	名 称	東近江市農業振興施設整備工事(建築工事)	図番																															
1級建築士登録	第248195号	小杉光史	証印	図名	建具表 (2)	意 - 20																															

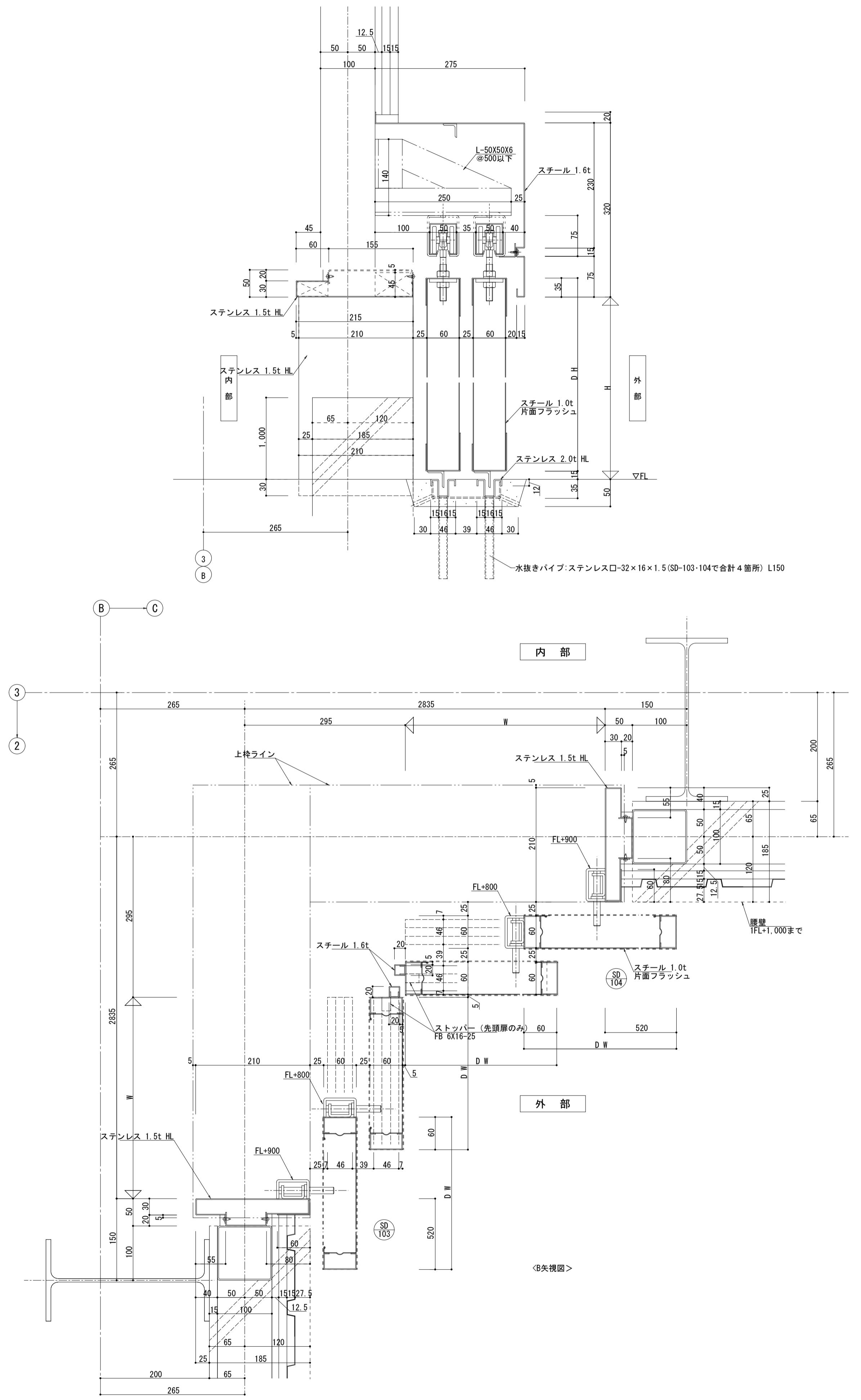
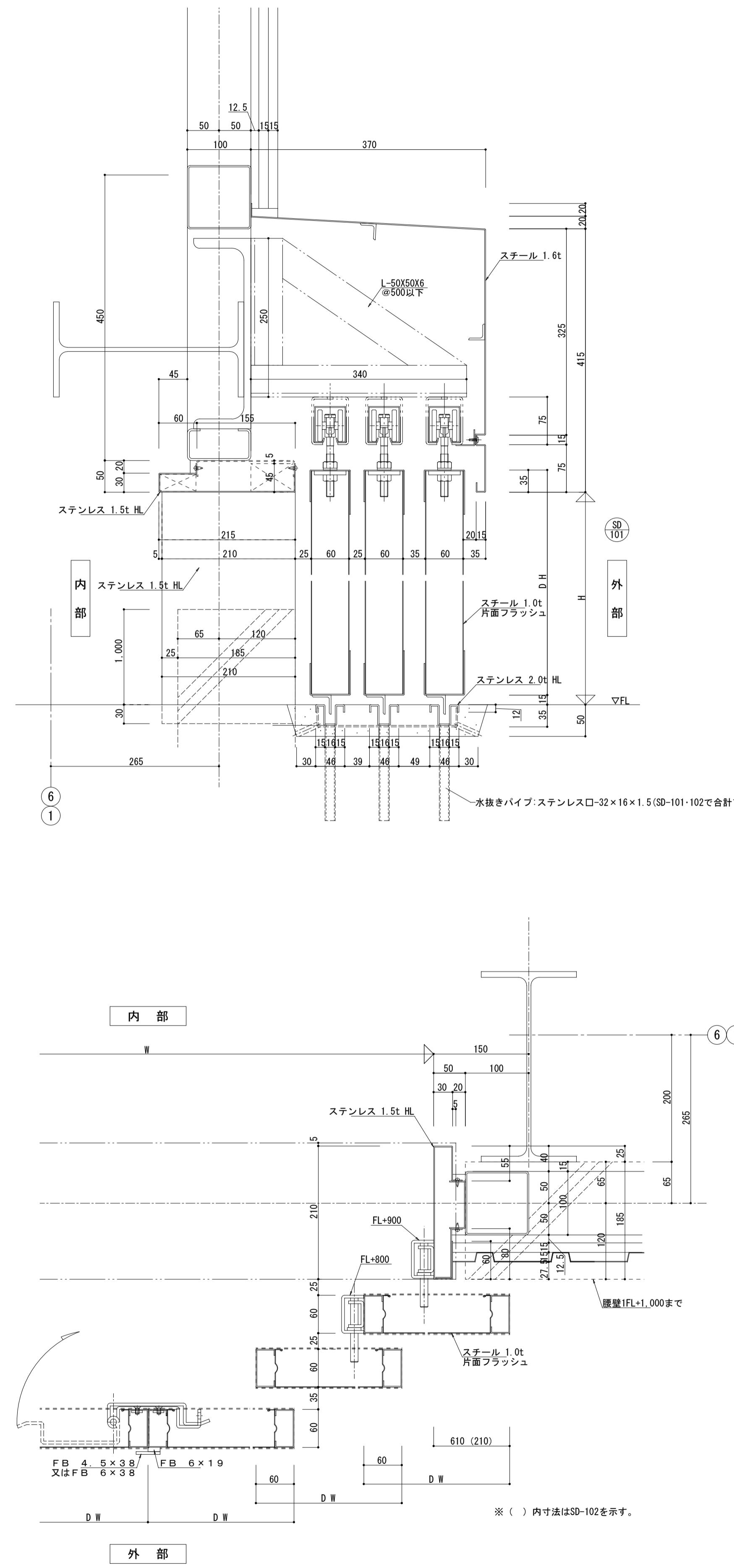


## 潜り戸詳細図



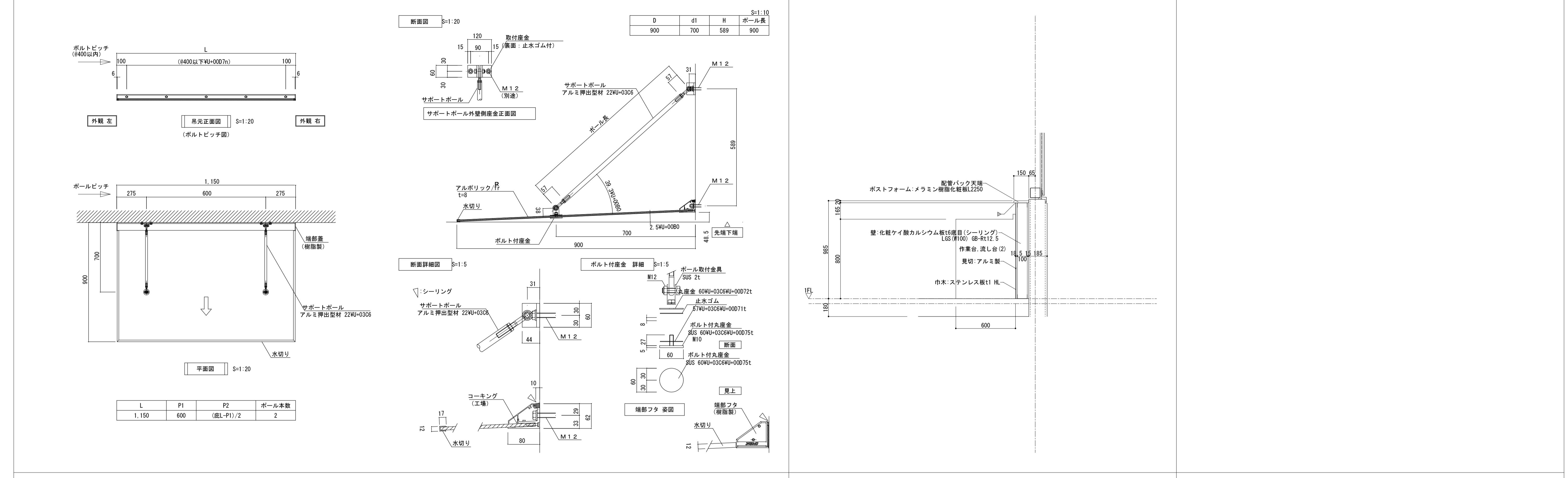
株式会社 創 作 舎	2025.10.10	東近江市農業振興施設整備工事(建築工事)	SD-101・102詳細図(1)	圖 番
				意 - 21
1級建築士登録 第248195号	小 杉 光 史	証 印	圖 名	



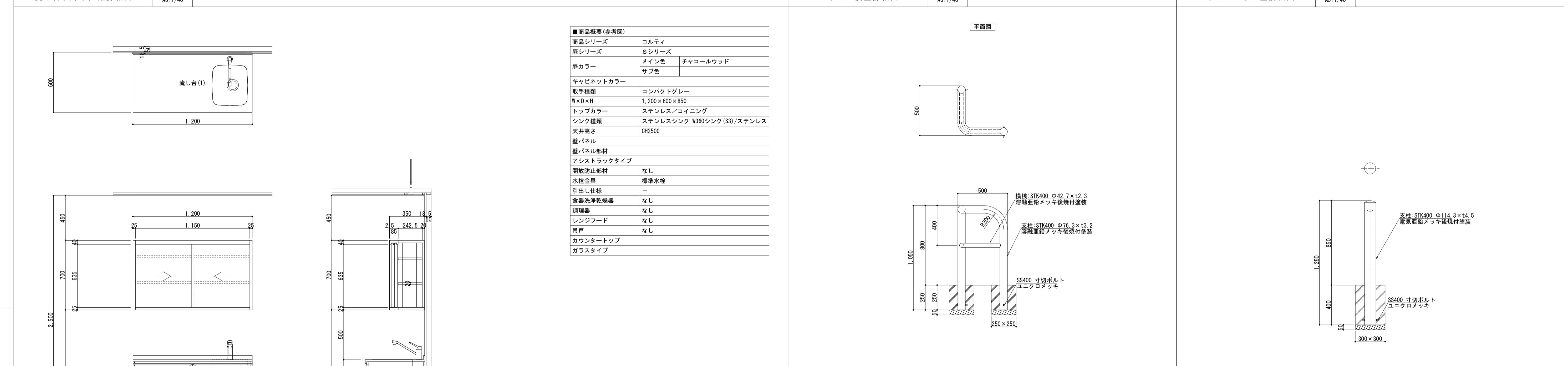


			株式会社 創 作 舎	作 成 2025.10.10	名 称 東近江市農業振興施設整備工事(建築工事)	図 番 意 - 23
			1級建築士登録 第248195号 小杉光史	証 印	図 名 SD-101・102詳細図(2), SD-103・104詳細図(2)	

底詳細図	A1:1/20-10-5 A3:1/40-20-10	
------	-------------------------------	--



流し台(1), 吊戸棚詳細図	A1:1/20 A3:1/40	
----------------	--------------------	--

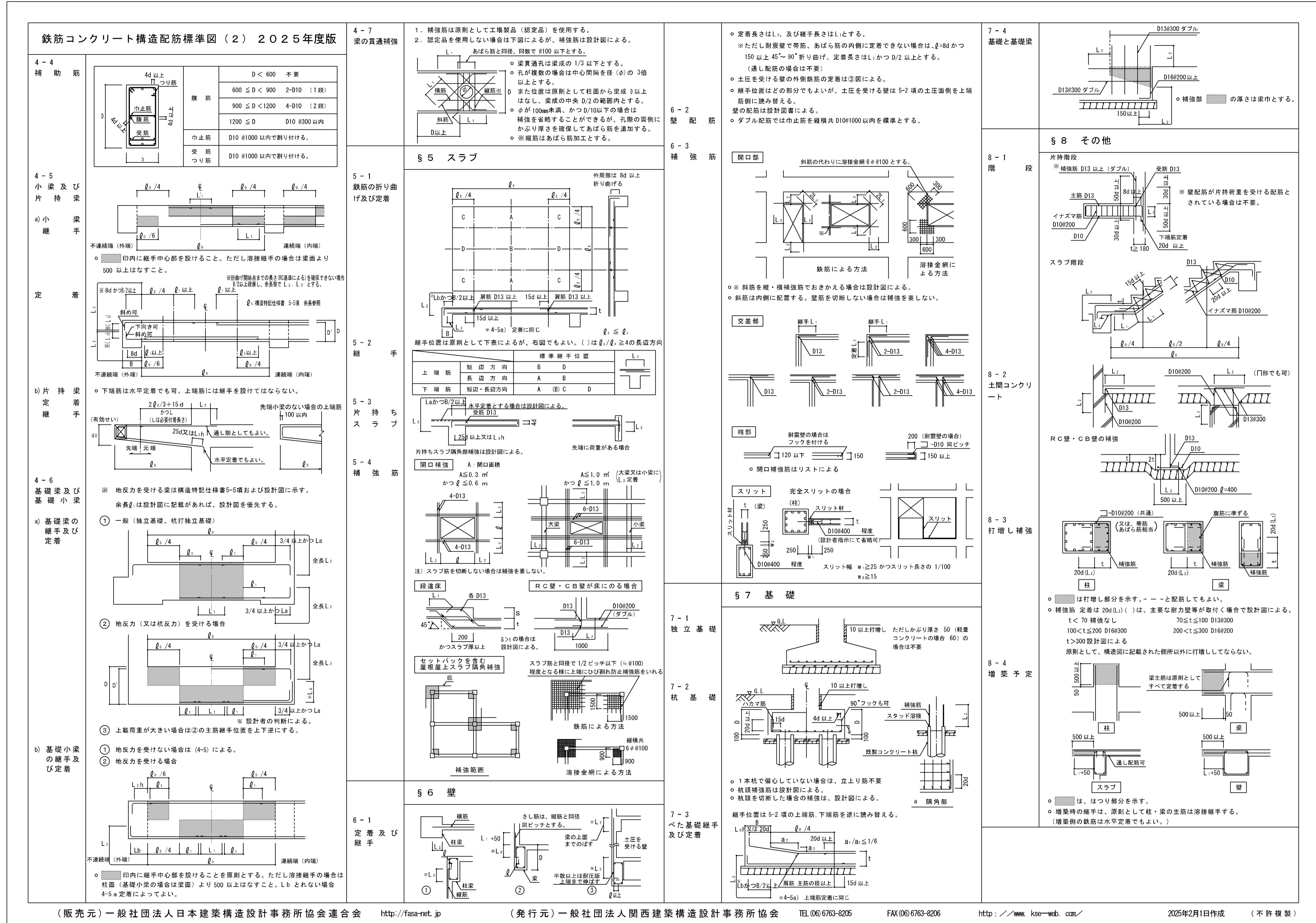


吊戸棚	棚板 ポリ合板フラッシュt20	色 白塗工: No D17-70X 近似色(黄)	色 白塗工: No D17-70X 近似色(黄)
引違い戸	ポリ合板フラッシュt30		
Yレール, 戸車, 引違い戸綫	棚受け金物: ステンレス製		
本体	仕切り板 ポリ合板フラッシュt25		
着工		株式会社 創作舎	作成 2025.10.10
竣工			名稱 東近江市農業振興施設整備工事(建築工事)
施工			監印
		1級建築士登録 第248195号 小杉光史	図名 部分詳細図(1)









着工			
竣工			
施工			

株式会社 創作舎	作成	名 称
	2025.09.12	東近江市農業振興施設整備工事
	印	図名 鉄筋コンクリート構造配筋標準図－2

**鉄骨工作標準図 (1) 2025年度版**

**§ 1 一般事項**

**1-1 基本事項**

1) 使用材料、工法等は構造特仕様書による。  
2) 設計図書に記載なき場合は本標準図に従うものとする。また本標準図に明記なき場合は、構造特仕様書1-2-4、5に指定した共通仕様書および標準仕様書による。  
3) 製作精度等に關しては、JASS6の付則6「鉄骨精度検査基準」による。  
4) 本標準図に示す単位は特記なき限りすべてmmとする。

**1-2 その他**

別図構造特仕様書による

**§ 2 共通事項**

**2-1 路号**

○ A B	アンカーボルト	○ B H	組立てH形鋼
○ B PL	ベースプレート	○ C HPL	チェックプレート
○ D FPL	ダイアフラム	○ F B	フラットバー
○ F PL	フランジプレート	○ G PL	ガセットプレート
○ H T B	高力ボルト	○ R PL	リブプレート
○ S PL	スパイラスプレート	○ T B	ターンバックル
○ W PL	ウェブプレート	○ W-1	溶接記号 (§ 4 参照)

**3-1 高力ボルト**

ボルトの長さ

ねじの呼び	締付け長さに加える長さ	
F8T, F10T	S10T	
M16	30	25
M20	35	30
M22	40	35
M24	45	40

1. 特記以外はすべてS10T (トルクシグナルボルト、上図) 又はF10Tとする。  
2. 本統めに使用するボルトと、仮締めボルトの兼用はしてはならない。  
3. ボルトの接合面の処理は、締付け摩擦面を平ガラウンド掛け等を行い、黒皮を除去して一様に赤さびを自然発生させる。ただし、ショットブロスト等を行った場合はこの限りでない。締付けは1次締付け後、マークインを入れてから本締めをする。  
4. 亜鉛メッキボルトの場合は、すべてF8Tとする。

**3-2 高力ボルトのピッチ**

呼び	径	M 16	M 20	M 22	M 24	
孔径		18	22	24	26	
ピッチ	標準	P	60	60	60	70
最小	P	40	50	55	60	
はしき	e	40	40(50)	40(55)	45(60)	
最小締端距離	せん断線、手動力スリット線	28	34	38	44	
庄延線、自動ガス切断線等	22	26	28	32		

(i) 内はボルトが応力方向に3本以上並ぶ場合を示す。

**3-3 形鋼のゲージ**

A or B	g <sup>1</sup>	g <sup>2</sup>	最大軸径	B	g <sup>1</sup>	g <sup>2</sup>	最大軸径	B	g <sup>3</sup>	最大軸径
**50	30		16	**100	60		16	**50	30	16
60	35		16	125	75		16	65	35	20
65	35		20	150	90		22	70	40	20
70	40		20	175	105		22	75	40	22
75	40		22	200	120		24	80	45	22
80	45		22	250	150		24	90	50	24
90	50		24	*300	150		40	24	100	55
100	55		24	350	140		70	24		24
125	50	35	24	400	140	90	24			
130	50	40	24							
150	55	55	24							
175	60	70	24							
200	60	90	24							

\* B = 300は千鳥打ちとする。  
\*\*印の欄のe及び最大軸径の値は強度上支障がないとき最小締端距離の規定にかかわらず用いることができる。

**§ 4 溶接接合**

**4-1 隅肉溶接**

**4-2 完全溶込み溶接 (突合せ溶接)**

**4-3 部分溶込み溶接**

**4-4 フレア溶接**

**4-5 その他**

加工工程中及び現場建方後においてもアースライク、ショートビードをしてはならない。

**§ 5 継手**

**5-1 継手リスト**

**5-2 小梁仕口**

**5-3 剛接合**

1. GPL, RPLは材種、版厚とも小梁のWPLと同等以上とする。  
2. 継手プレート及び高力ボルトはリストによる。

着工				
竣工				
施工				

株式会社 創作舎	作成	名 称
	2025.09.12	東近江市農業振興施設整備工事
1級建築士登録 第248195号 小杉光史	監印	図名 鉄骨工作標準図 - 1

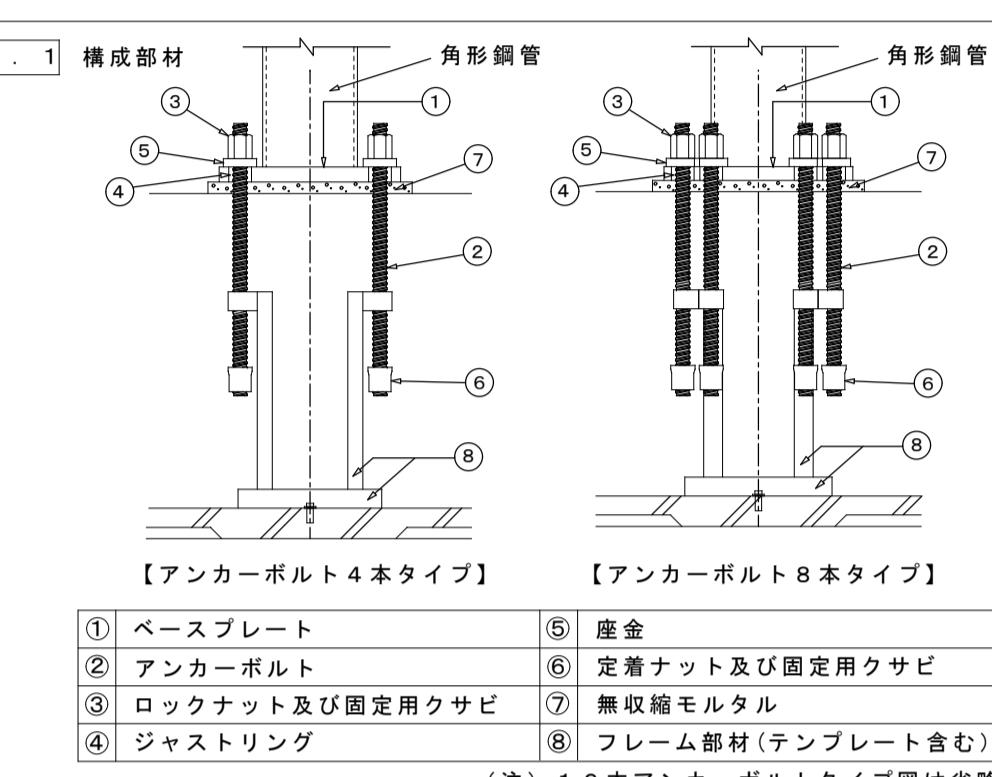


## ジャストベース (JE II型) 柱脚工法設計施工標準図

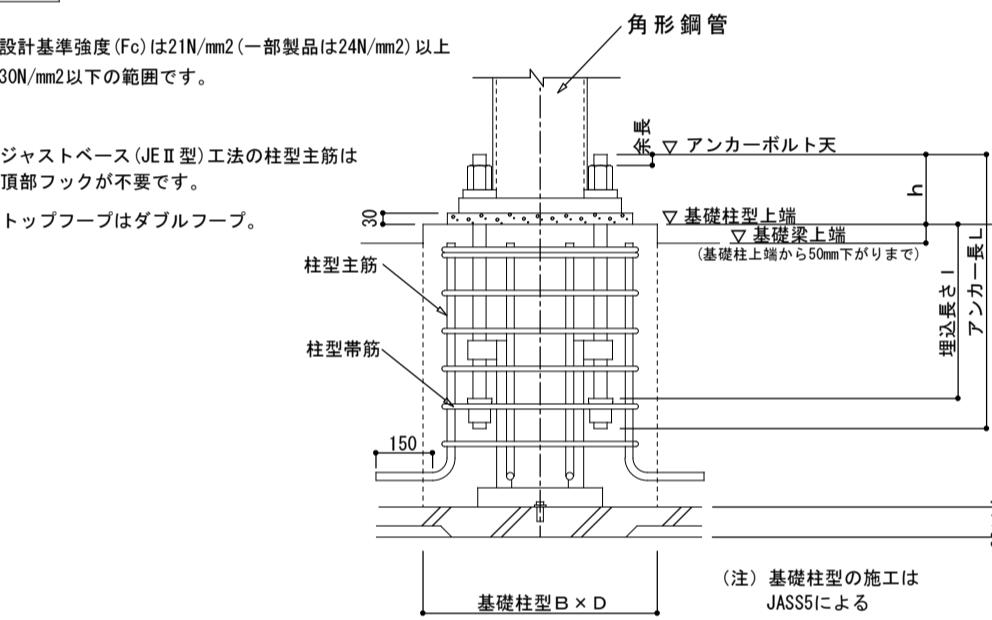
(財)日本建築センターBCJ評定-ST0153-08(令和4年10月21日付)

(角形鋼管仕様)

## 1. 柱脚構成部材及び基礎縦り標準図

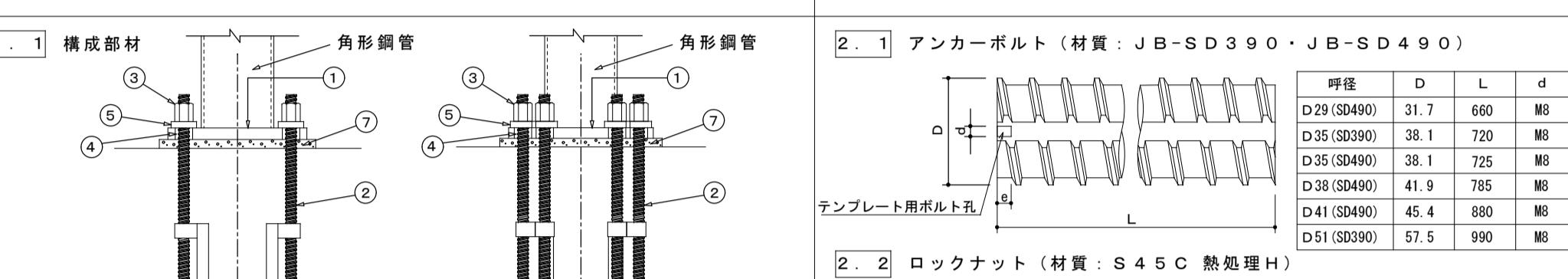


## 1.2 基礎縦りの標準図



適用 製品名	ジャストベース サイズ	通用角形鋼管 (該当するF値 O印)		F=2.5N/mm <sup>2</sup>	F=2.9N/mm <sup>2</sup>	F=3.25N/mm <sup>2</sup>
		(O印)	(O印)			
J150-12N	150×150	6・9・12	6・9・12	6・9	6・9	6・9
J175-12N	175×175	6・9・12	6・9・12	6・9	6・9	6・9
J200-16N	200×100	6・8・9	6・8・9	6・8	6・8	6・8
J200-12N	200×120	6・8・9・12	6・8・9・12	6・8・9	6・8・9	6・8・9
J200-16N	200×160	6・8・9	6・8・9	6・8	6・8	6・8
J250-12N	250×250	6・8・9・12	6・8・9・12	6・8・9	6・8・9	6・8・9
J250-16N	250×250	6・8・9・12・16・19	6・8・9・12・16・19	6・8・9・12	6・8・9・12	6・8・9・12
J300-16N	300×300	6・8・9・12	6・8・9・12	6・9	6・9	6・9
J300-12N	300×300	6・8・9・12・(16)	6・8・9・12・(16)	6・8・9・12	6・8・9・12	6・8・9・12
J300-16N	300×300	6・8・9・12・16・19	6・8・9・12・16・19	6・8・9・12	6・8・9・12	6・8・9・12
J300-16N	350×350	6・8・9・12・16・19・(22)	6・8・9・12・16・19・(22)	6・8・9・12	6・8・9・12	6・8・9・12
J350-16N	400×400	9・12・16・19・(22)	9・12・16・19・(22)	9・12・16・19	9・12・16・19	9・12・16・19
J400-12N	400×400	9・12・16・19・(22)	9・12・16・19・(22)	9・12・16・19	9・12・16・19	9・12・16・19
J400-16N	400×400	9・12・16・19・(22)	9・12・16・19・(22)	9・12・16・19	9・12・16・19	9・12・16・19
J400-19N	450×450	9・12・16・19・(22)	9・12・16・19・(22)	9・12・16・19	9・12・16・19	9・12・16・19
J400-22N	450×450	9・12・16・19・(22)	9・12・16・19・(22)	9・12・16・19	9・12・16・19	9・12・16・19
J400-25N	450×450	9・12・16・19・(22)	9・12・16・19・(22)	9・12・16・19	9・12・16・19	9・12・16・19
J450-16N	450×450	9・12・16・19	9・12・16・19	9・12・16	9・12・16	9・12・16
J450-19N	450×450	9・12・16・19・(22)	9・12・16・19・(22)	9・12・16・19	9・12・16・19	9・12・16・19
J450-22N	450×450	9・12・16・19・(22)	9・12・16・19・(22)	9・12・16・19	9・12・16・19	9・12・16・19
J450-25N	450×450	9・12・16・19・(22)	9・12・16・19・(22)	9・12・16・19	9・12・16・19	9・12・16・19
J500-16N	500×500	9・12・16・19・(22)	9・12・16・19・(22)	9・12・16・19	9・12・16・19	9・12・16・19
J500-22N	550×550	9・12・16・19・(22)	9・12・16・19・(22)	9・12・16・19	9・12・16・19	9・12・16・19
J500-25N	550×550	9・12・16・19・(22)	9・12・16・19・(22)	9・12・16・19	9・12・16・19	9・12・16・19

## 2. アンカーボルト・ロックナット・定着ナット・座金・ジャストリング



呼径	D	L	d	e
D29 (SD490)	31.7	660	M8	20
D35 (SD490)	38.1	720	M8	20
D35 (SD490)	38.1	725	M8	20
D38 (SD490)	41.9	785	M8	20
D41 (SD490)	45.4	880	M8	20
D51 (SD390)	57.5	990	M8	20

## 2.2 ロックナット (材質: S45C 熱処理 H)

呼径	B	C	H
D2.9	48	53	56
D3.5	55	63	64
D3.8	60	63	64
D4.1	65	70	64
D5.1	80	92	76

## 2.3 定着ナット (材質: S45C 熱処理 H)

呼径	φA1	φA2	H	φd	h	e
D2.9	54	47	56	28.3	2.95	10
D3.5	64	58	64	34.3	3.30	10
D3.8	69	63	64	37.5	3.55	10
D4.1	74	69	64	40.3	3.65	10
D5.1	95	90	76	50.0	4.50	10

## 2.4 座金 (材質: SS400)

呼径	φD	φd	t
D2.9	74	34	19
D3.5	88	41	22
D3.8	94	45	25
D4.1	100	48	25
D5.1	119	59	28

## 2.5 ジャストリング (材質: S25C 又は FCD450-10)

呼径	外リング	内リング	φD1	H	θ
D2.9	51.0	42.8	42.3	33.5	26
D3.5	59.0	49.8	49.2	40.0	32.40
D3.8	65.0	54.9	54.2	44.0	40
D4.1	69.0	58.8	58.0	47.5	56
D5.1	84.5	72.4	71.6	59.5	64.5

## (注)基礎柱型の施工はJASS5による

## 3. ベースプレート

孔径φ	(3.5C)	(5C)	(2.5C)	(2.5C)
φ30	φ30	φ30	φ30	φ30
φ35	φ35	φ35	φ35	φ35
φ40	φ40	φ40	φ40	φ40
φ45	φ45	φ45	φ45	φ45

## 3.1 ベースプレート (材質: SN490B 又は TMCP325B)

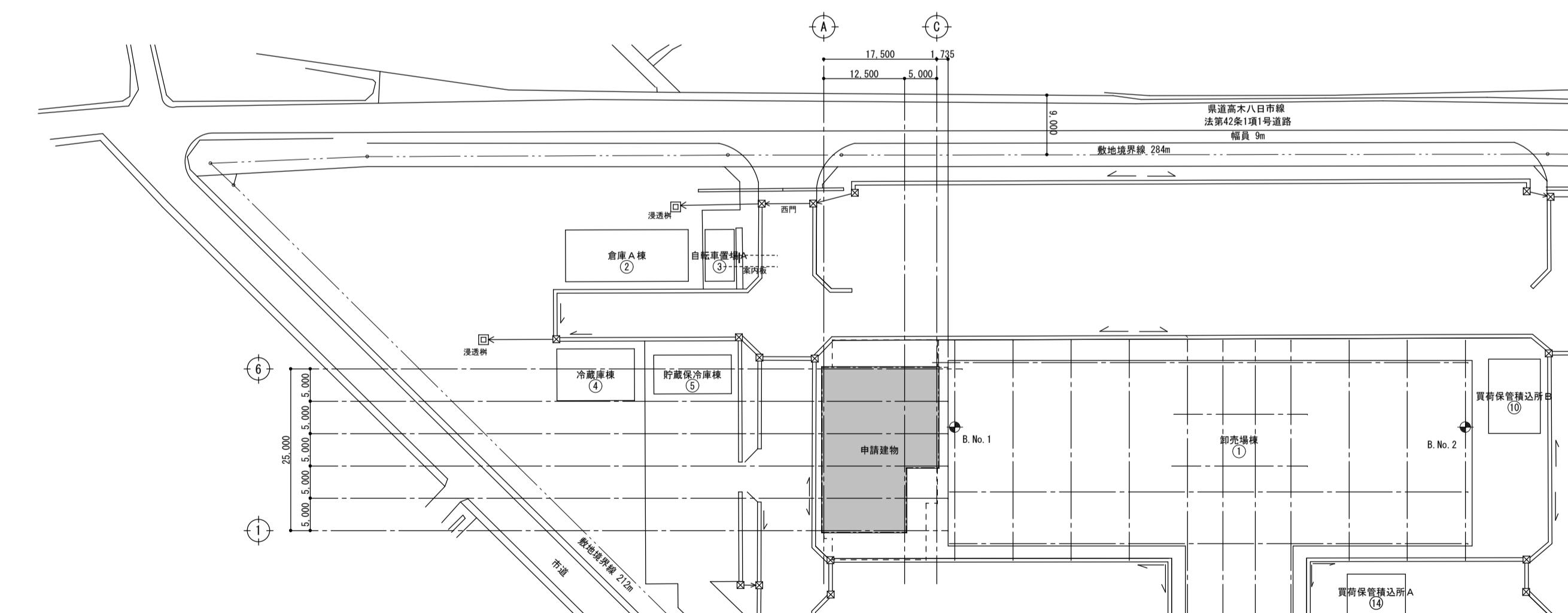
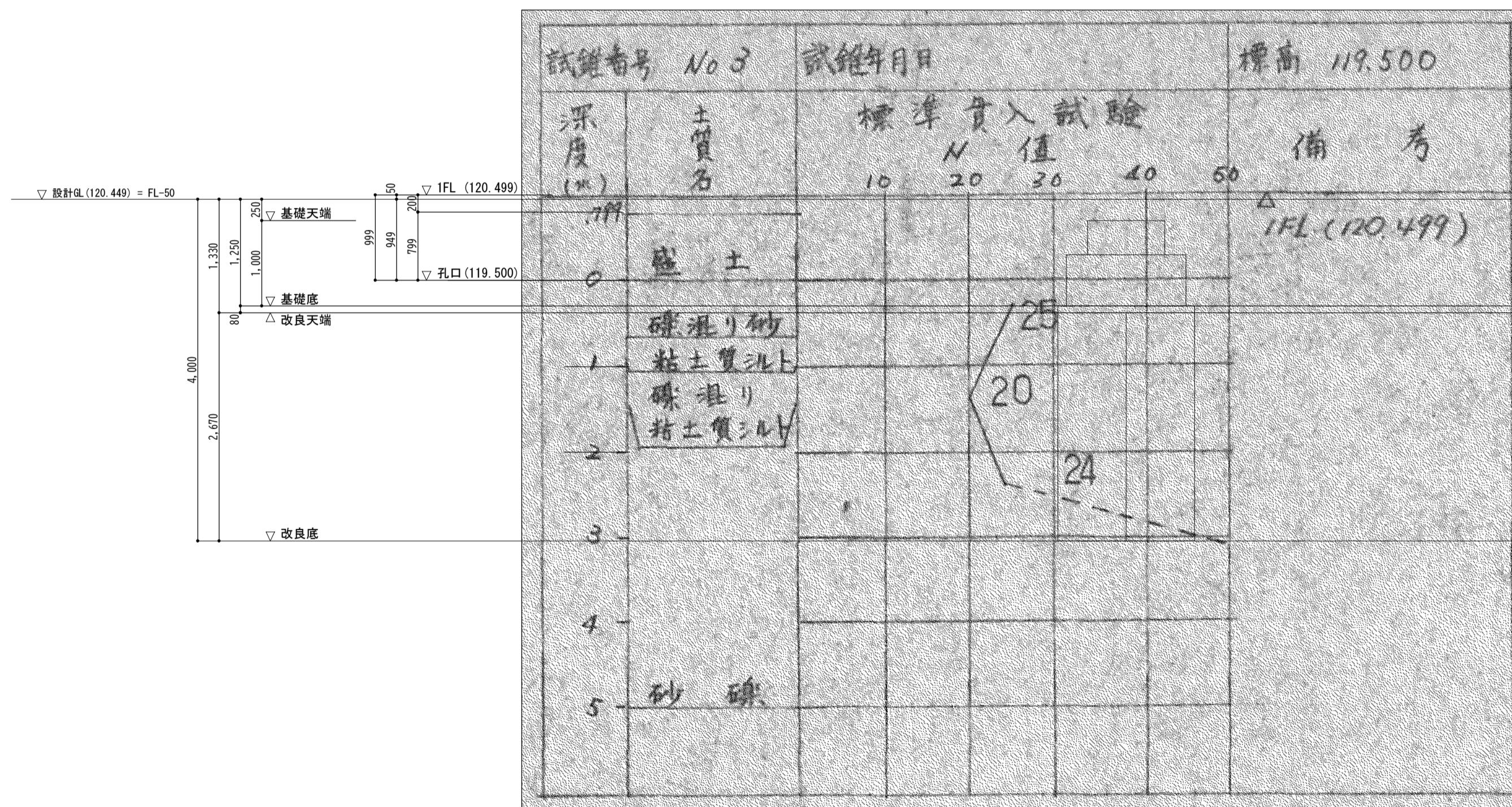
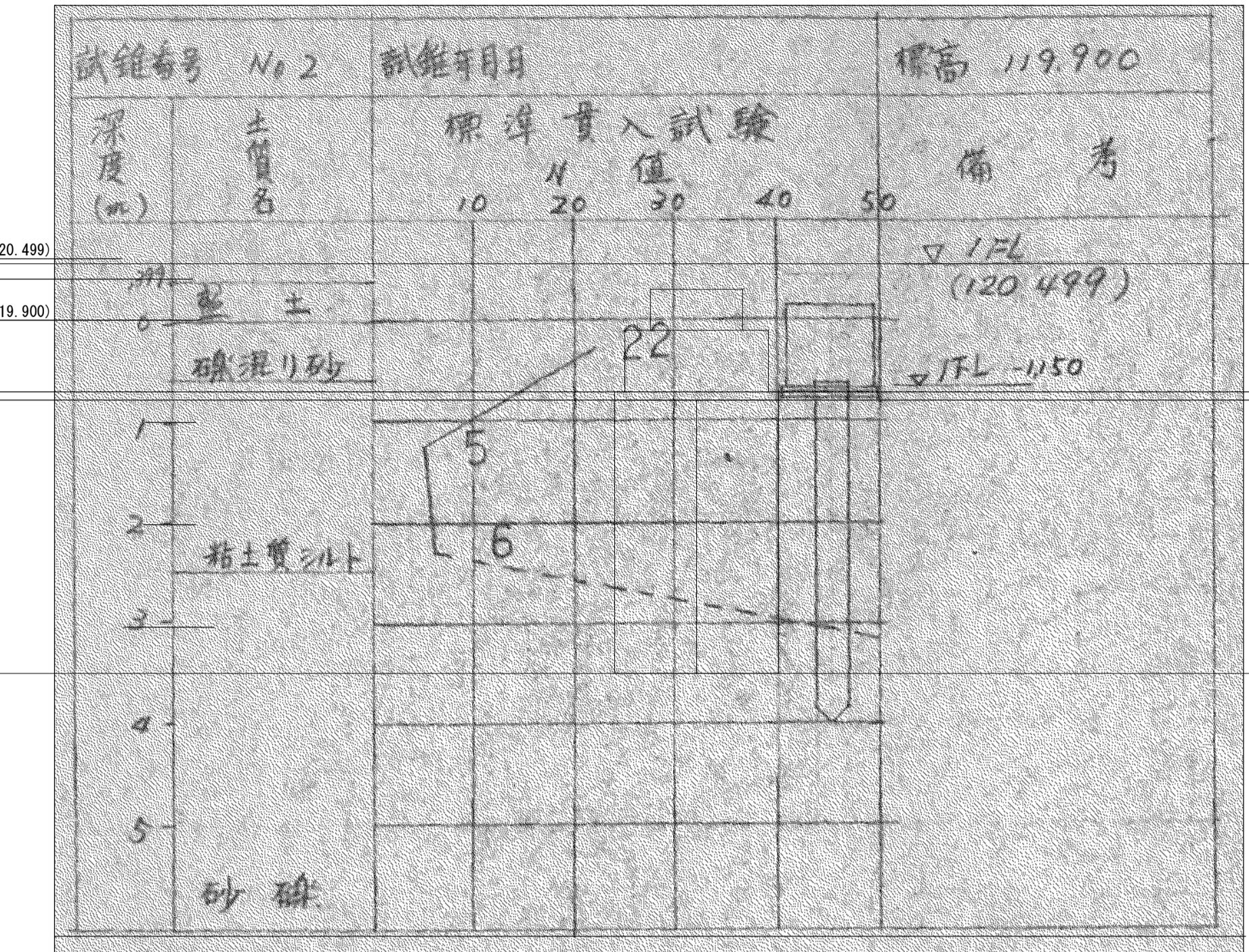
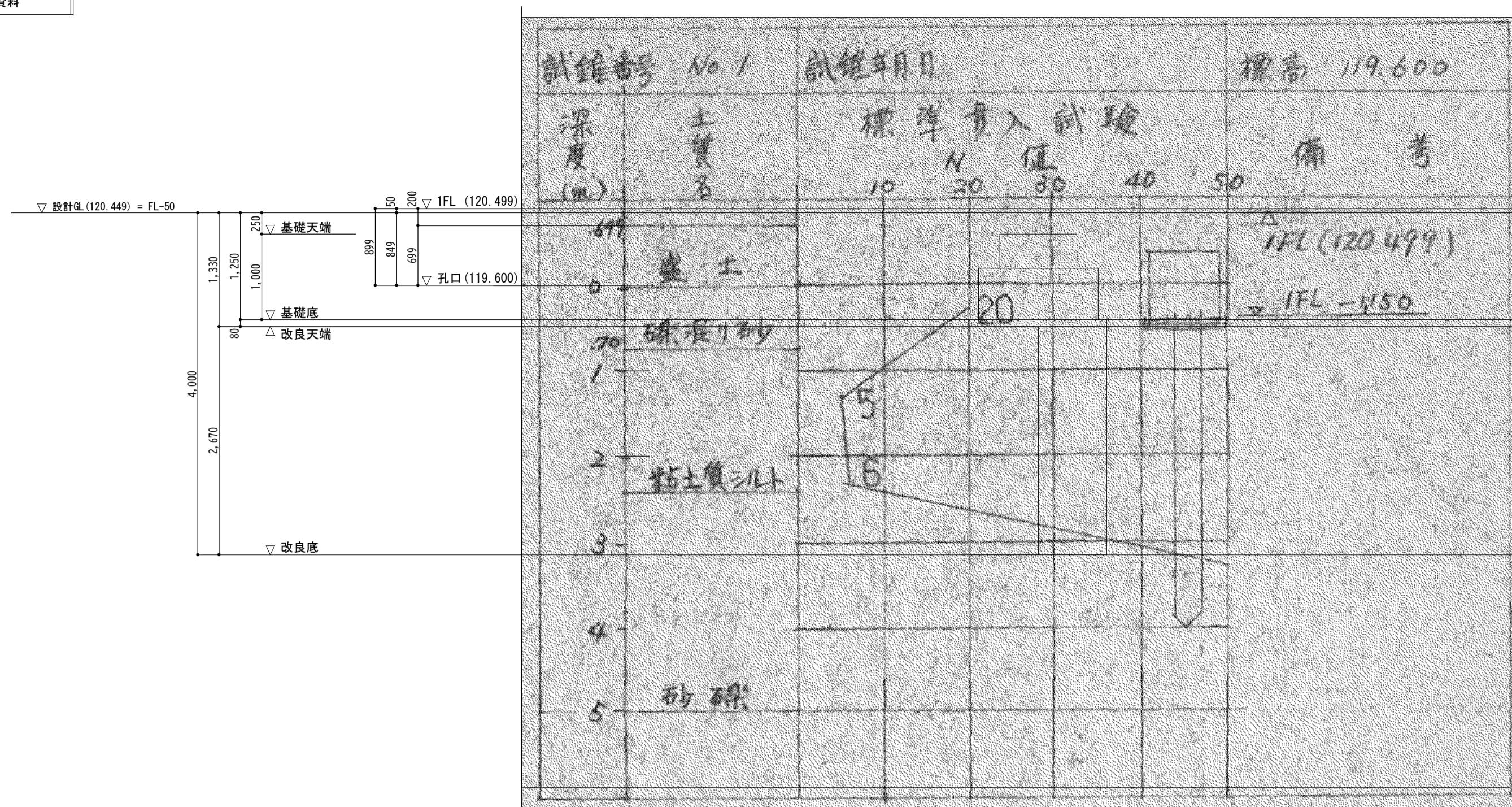
孔径φ	(3.5C)	(5C)	(2.5C)	(2.5C)
φ30	φ30	φ30	φ30	φ30
φ35	φ35	φ35	φ35	φ35
φ40	φ40	φ40	φ40	φ40
φ45	φ45	φ45	φ45	φ45

## 3.2 ベースプレート (材質: SN490B 又は TMCP325B)

| 孔径φ | (3.5C) | (5C) | (2.5C) |
<th
| --- | --- | --- | --- |



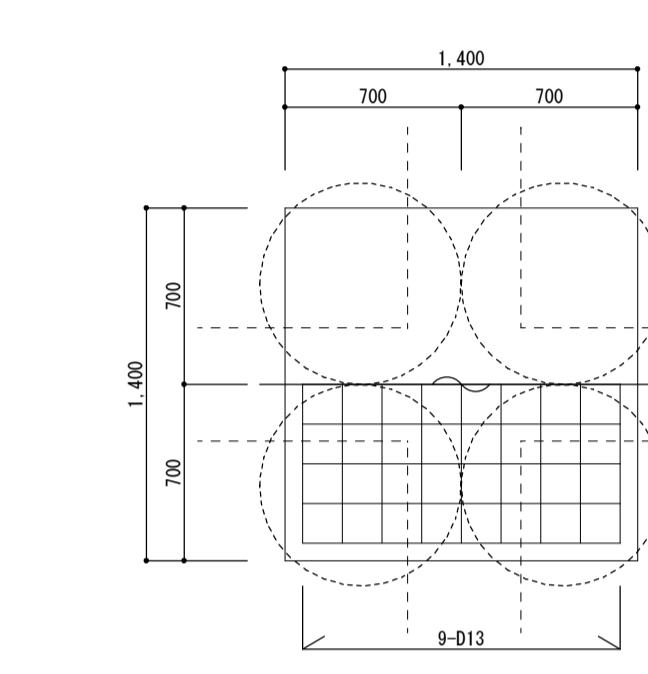
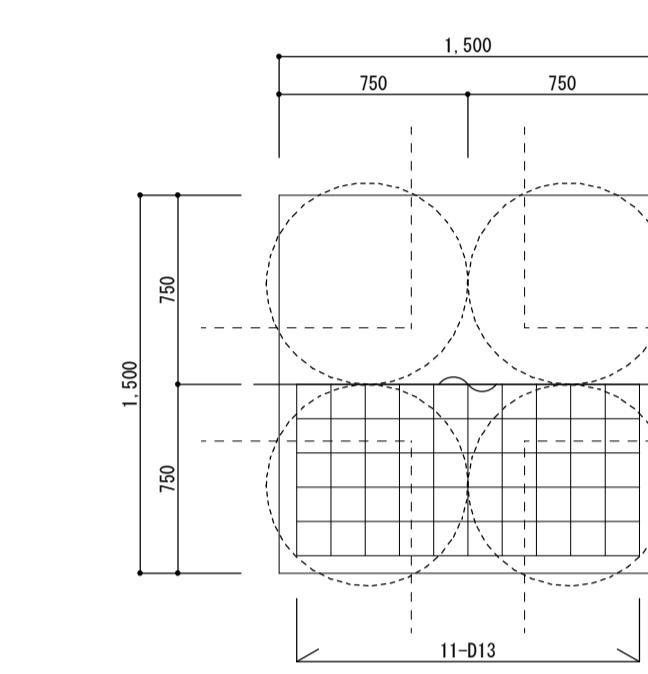
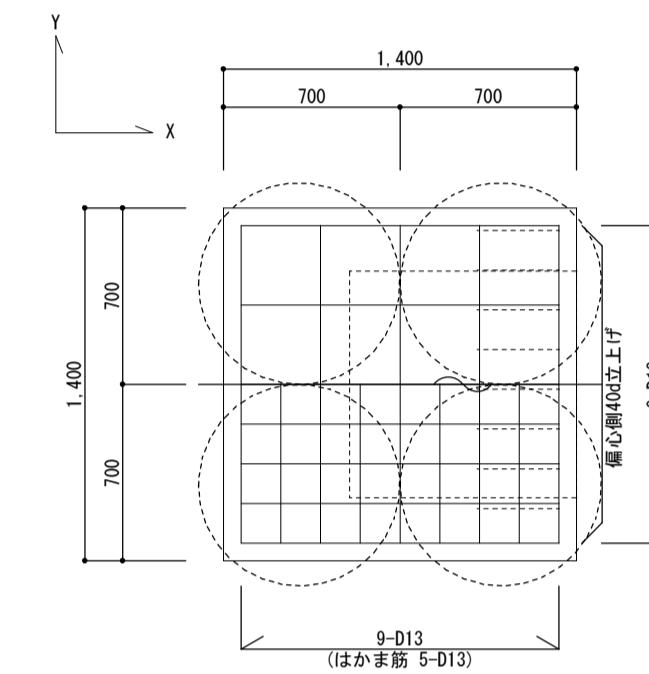
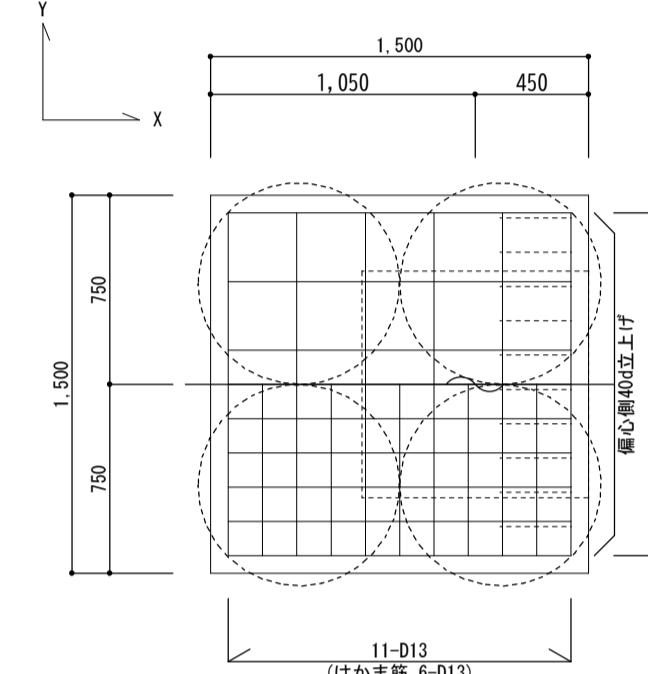
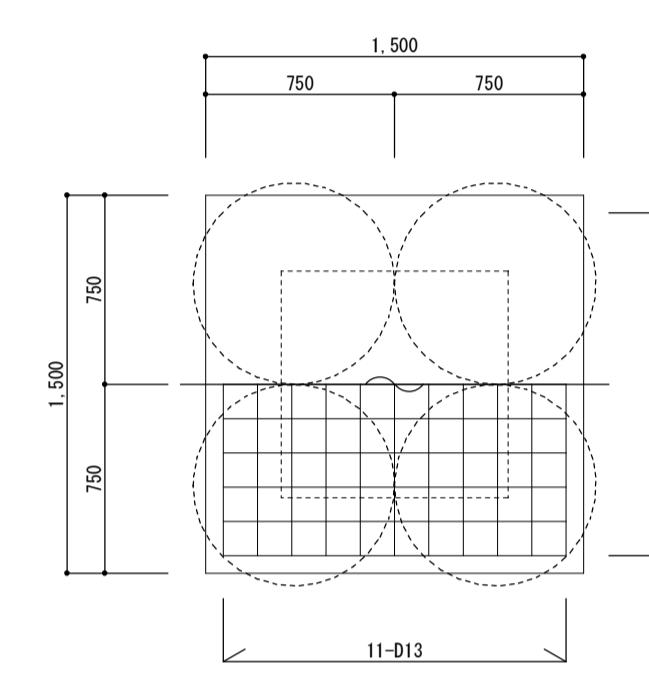
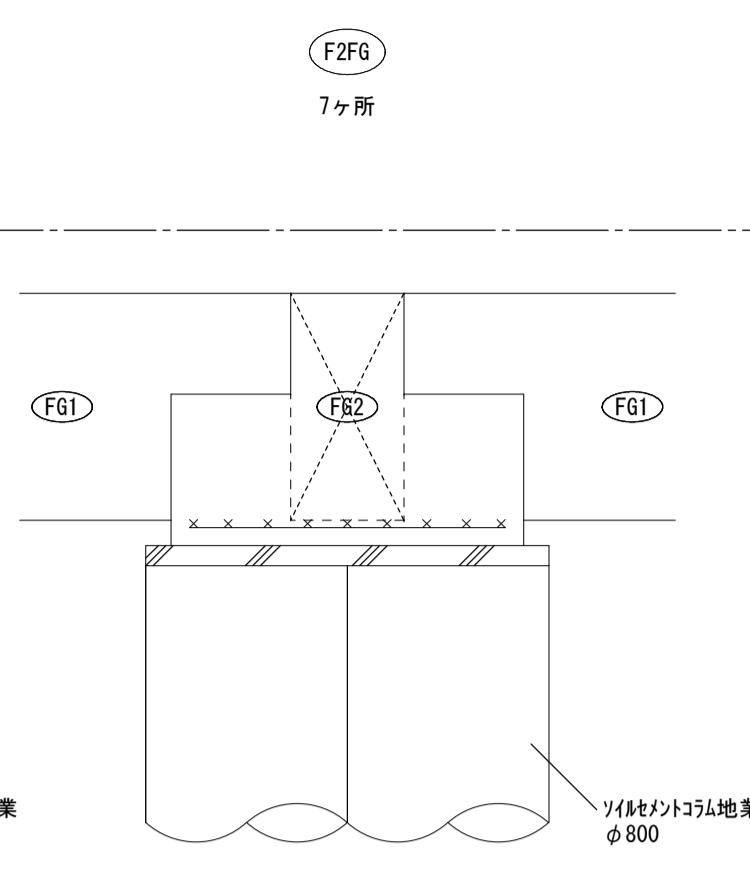
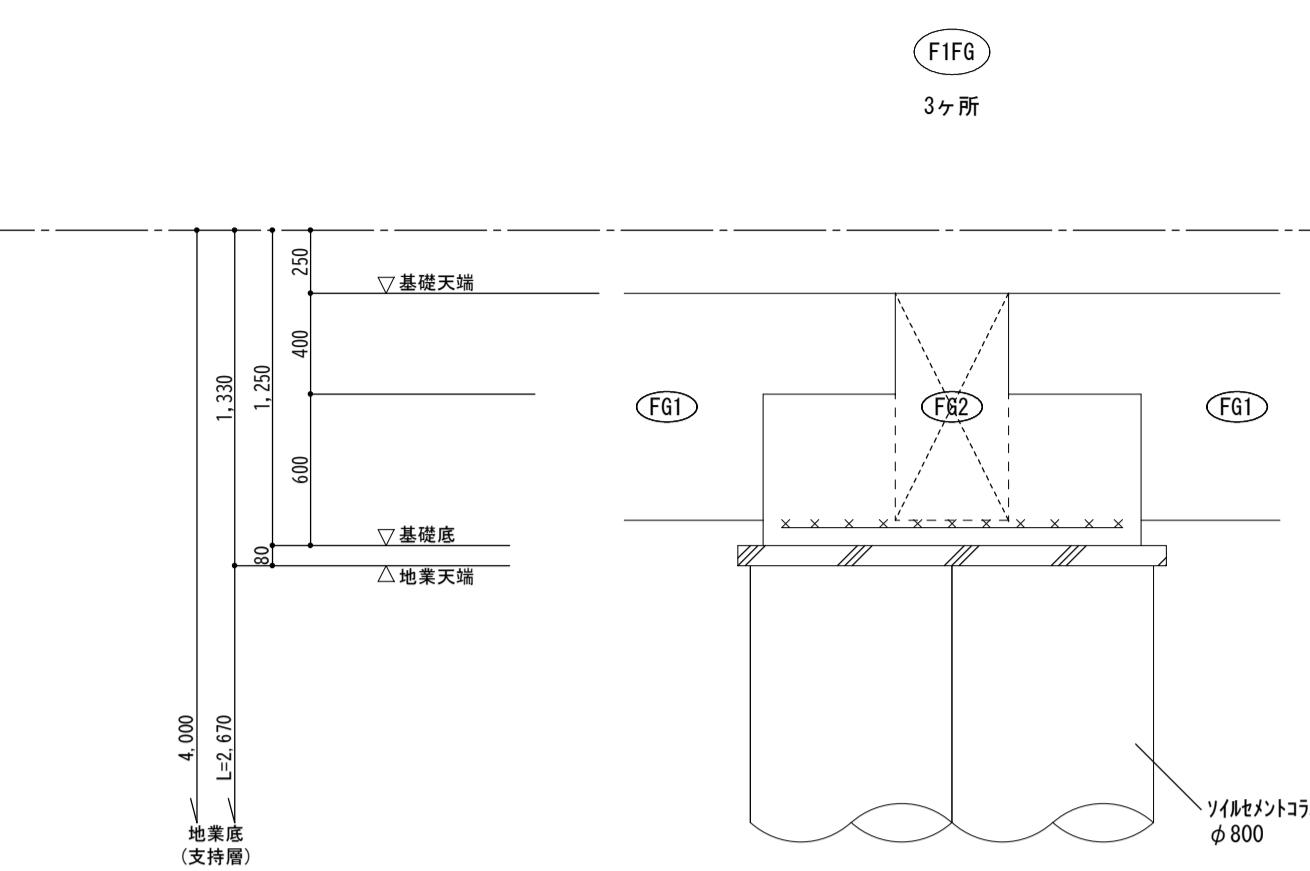
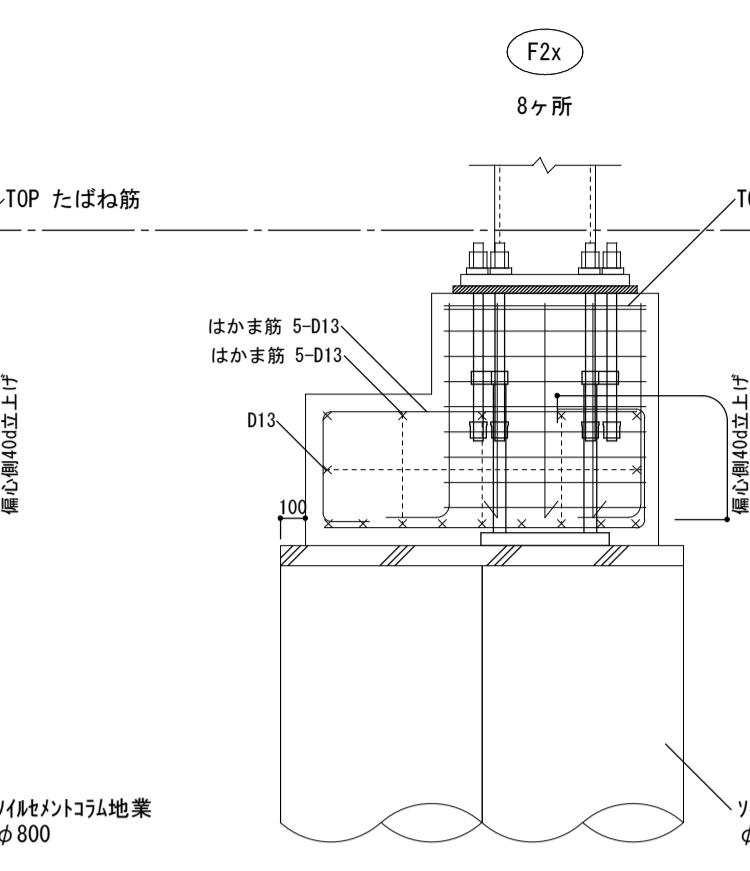
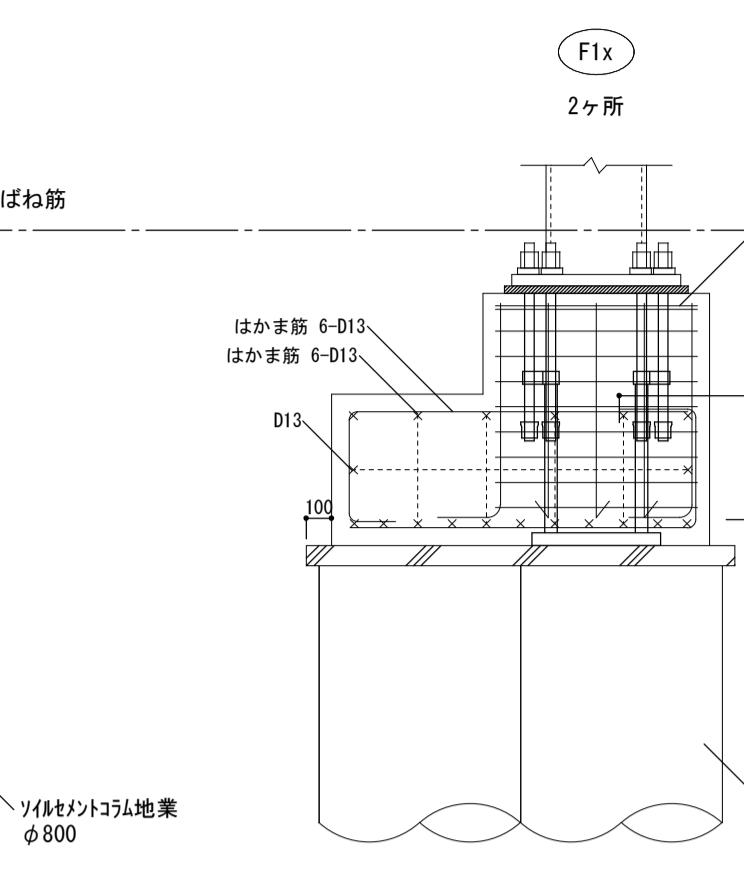
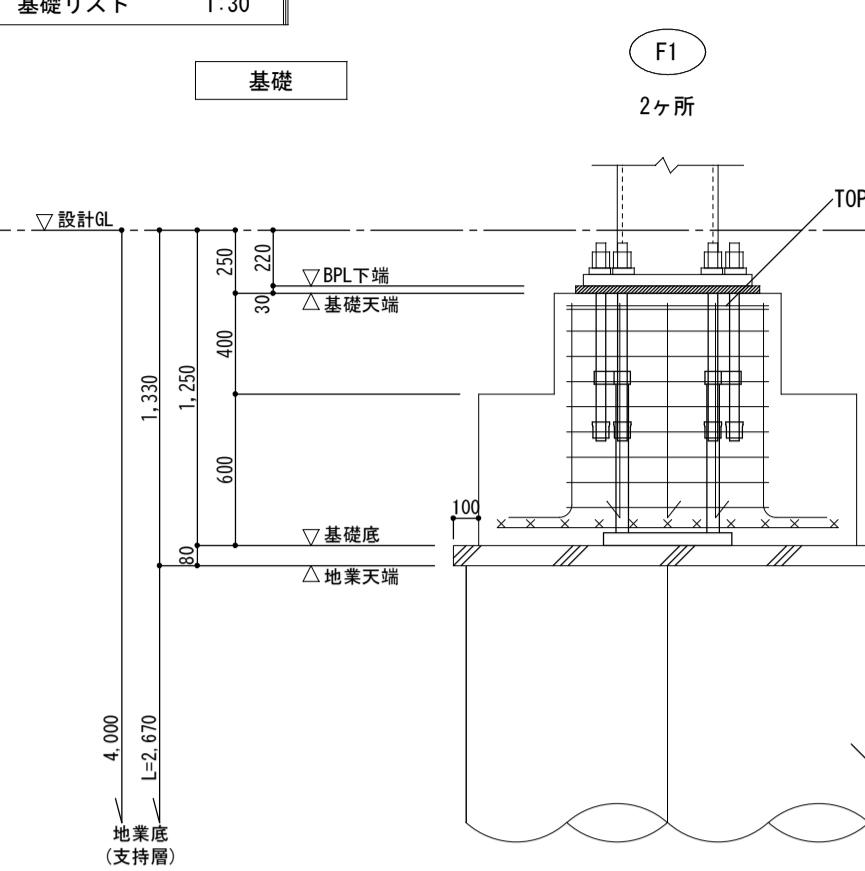
地質調査資料





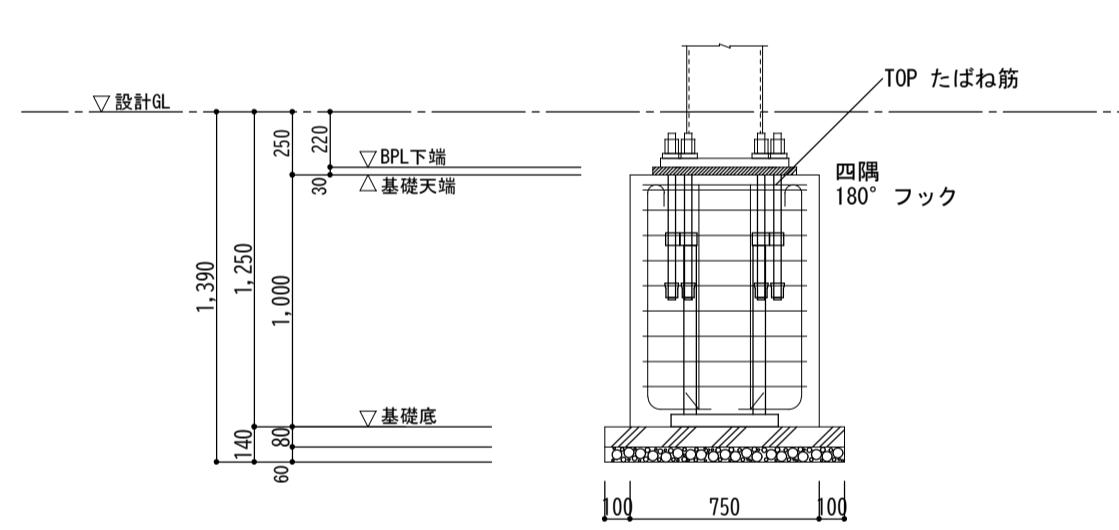
## 基礎リスト 1:30

## 基礎



## C3

## 2ヶ所



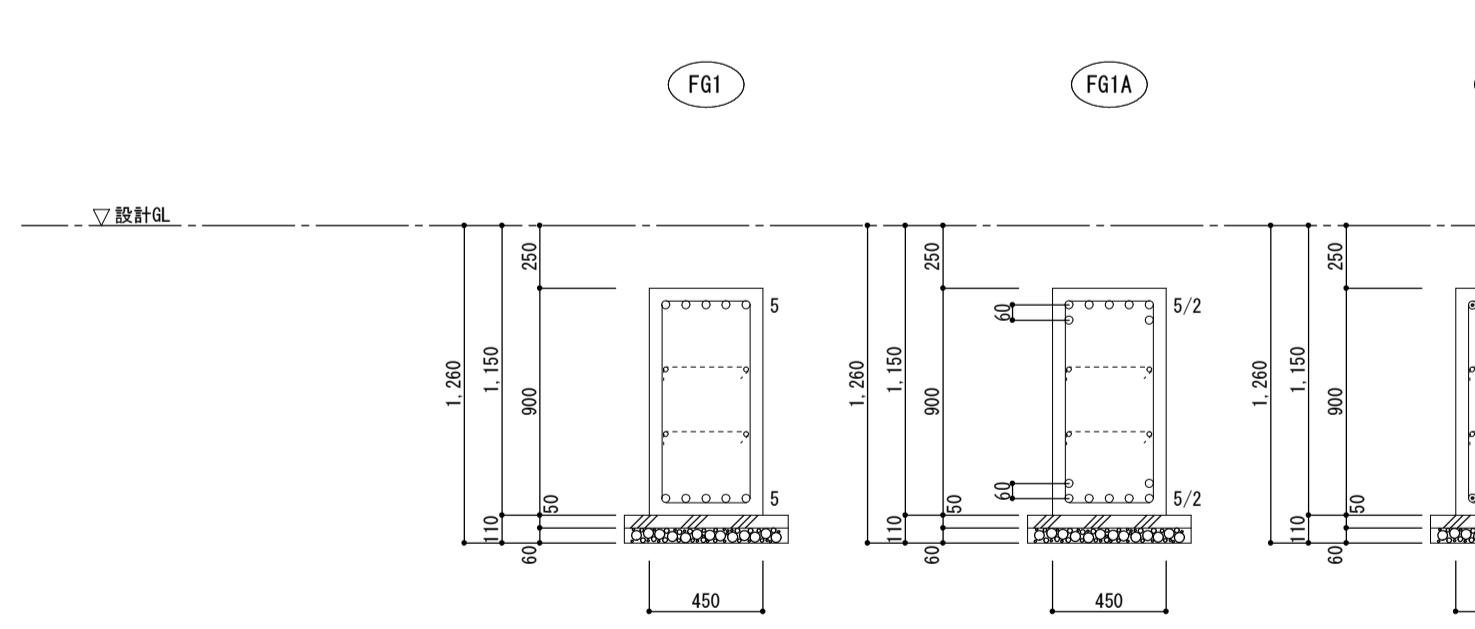
## 基礎梁

あばら筋は片隅フック・フック先曲げとする

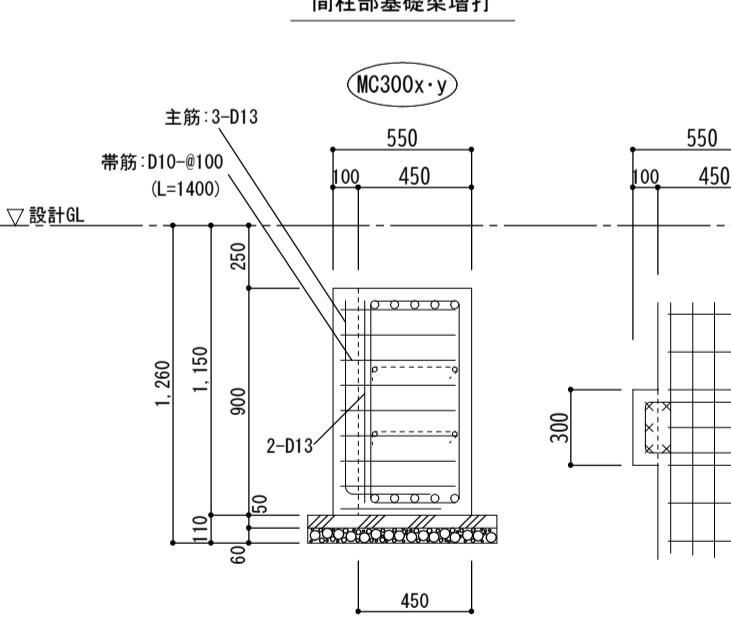
## F61

## F61A

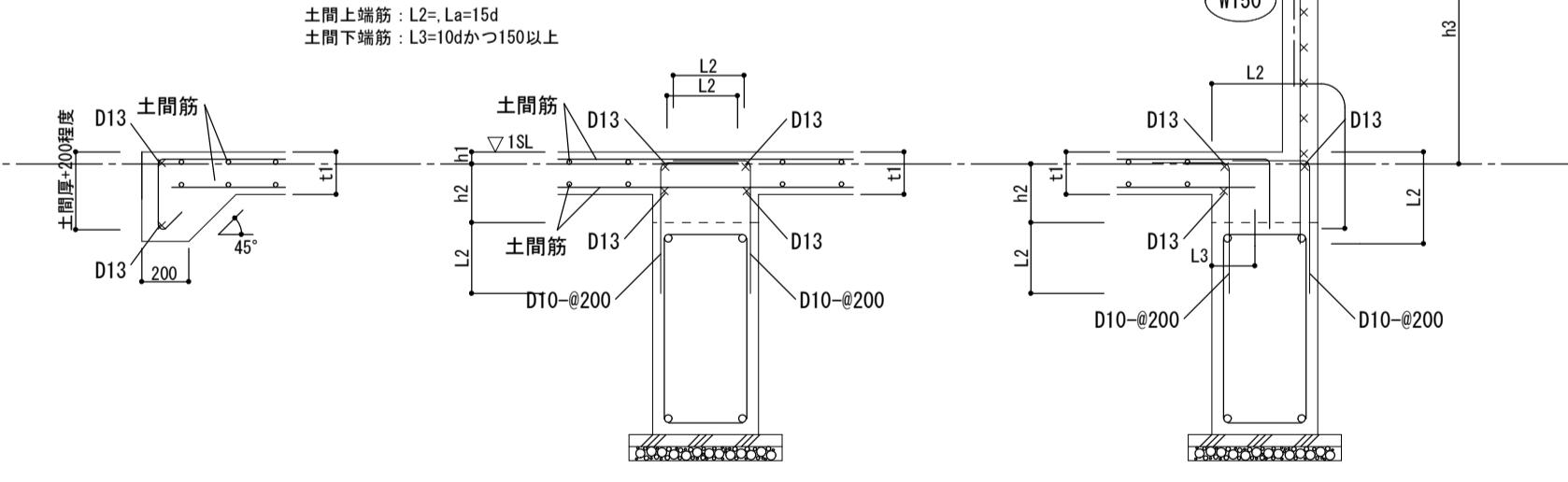
## F62



## 間柱部基礎梁増打

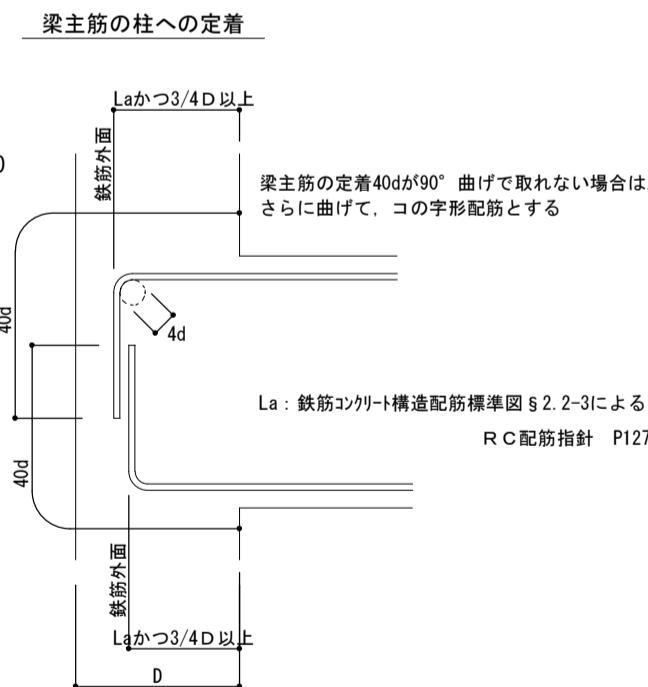


## 土間コンクリート補強・基礎巾木



各部寸法				
定着長 L2 *折曲げ位置は梁幅の1/2を超えること				
t1	180	L2	D10	D13
t2	150			
h1	50			
h2	250			
h3	1150			
		D16	採用	

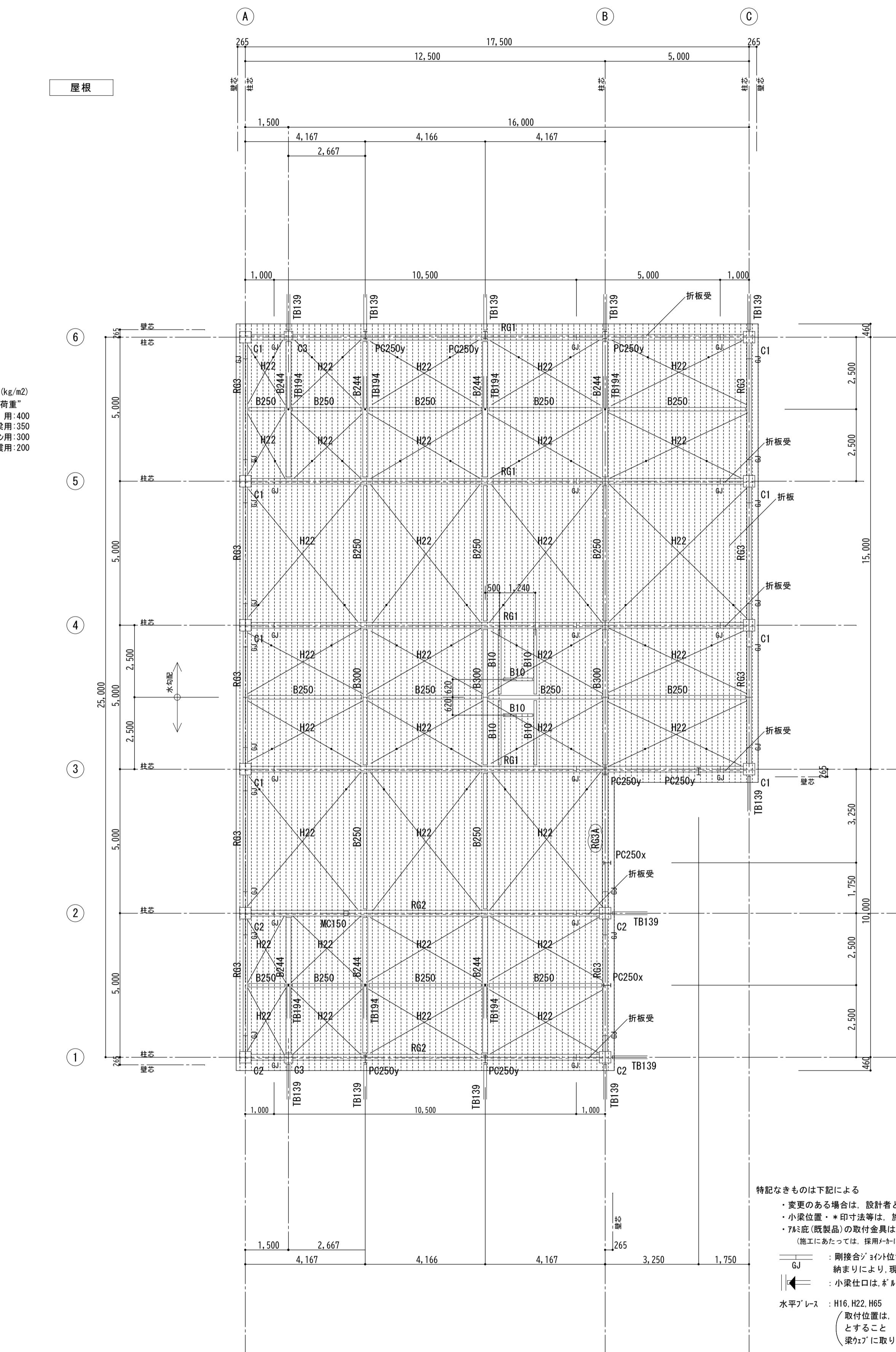
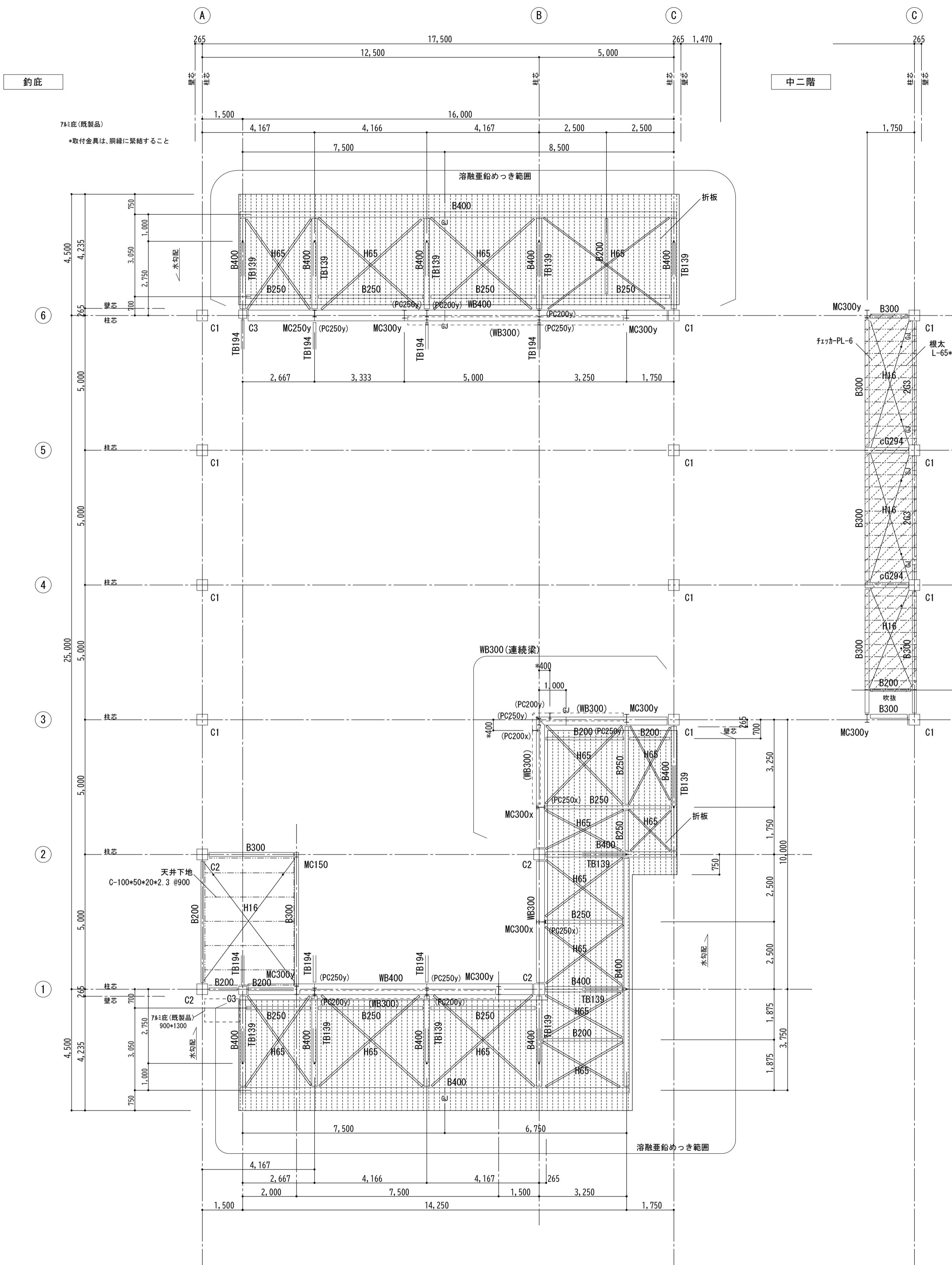
凡例	
ソイセントコム地業	捨てコンクリート
ソイセントコム地業	碎石地業
ソイセントコム地業	防錆根巻コンクリート(最小かぶり100)
ソイセントコム地業	無収縮モルタル



B * D	450*900	450*900	450*900
上端筋	5-D22	7-D22 (2段筋)	4-D25
下端筋	5-D22	7-D22 (2段筋)	4-D25
筋 筋	D13#150	D13#150	D13#150
腹 筋	4-D10	4-D10	4-D10
幅止筋	D10#1000	D10#1000	D10#1000

着工			
竣工			
施工			

株式会社 創 作 舎	作成	名 称
	2025.09.12	東近江市農業振興施設整備工事
1級建築士登録 第248195号 小杉光史	印	図名 基礎リスト



特記なきものは下記による

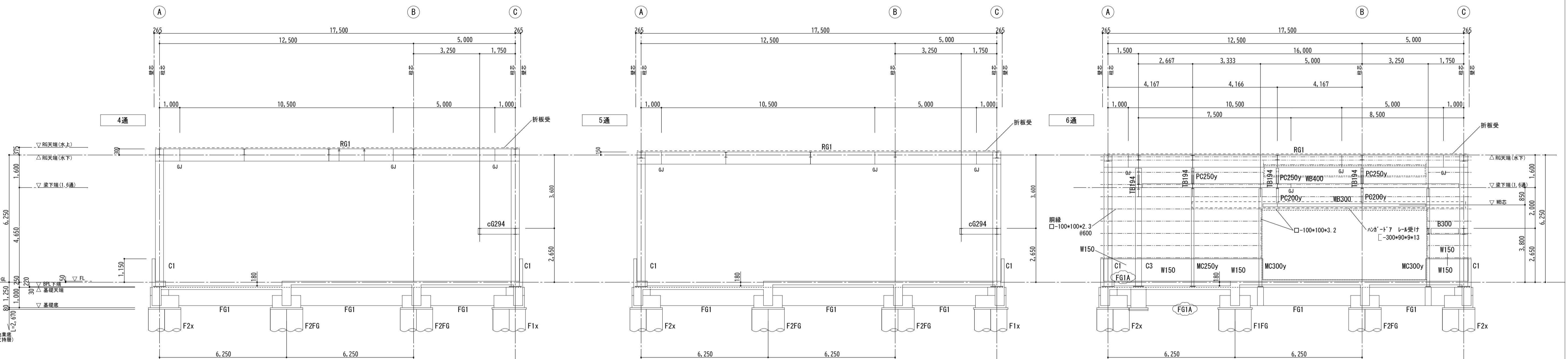
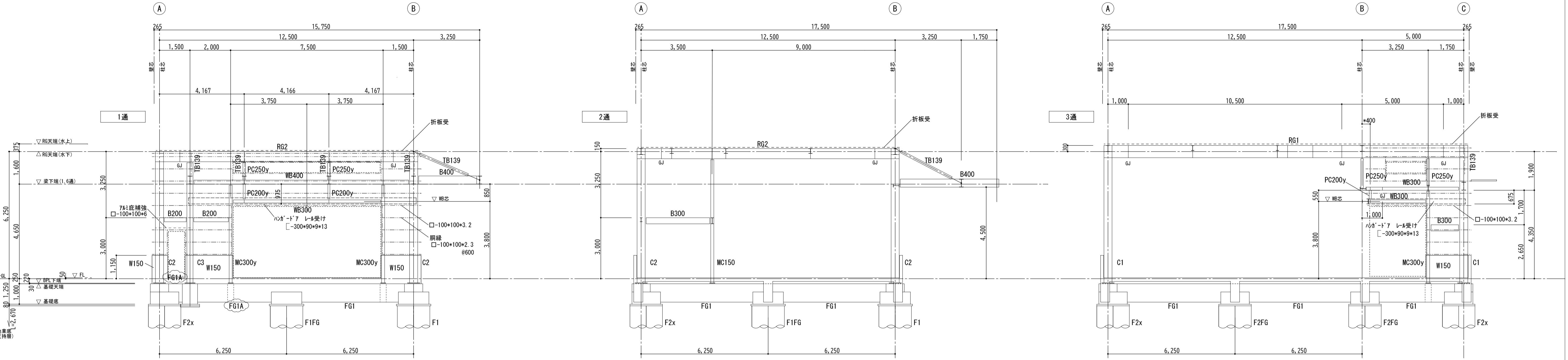
- ・変更のある場合は、設計者と事前協議のうえ承認を得ること
- ・小梁位置・\*印寸法等は、施工詳細図により再確認のこと
- ・アル庇(既製品)の取付金具は、鉄骨下地補強材に緊結すること  
(施工にあたっては、採用メカにより再計算を行い、安全の確認をおこなうものとする)

 : 剛接合ジョイント位置(柱芯から1,000)を示す  
GJ  
納まりにより、現場調整または設計者と協議のこと

 : 小梁仕口は、ポルト2列仕様とする

水平プレス : H16, H22, H65  
 取付位置は、大梁または上位小梁の上フランジ下面  
 + 100

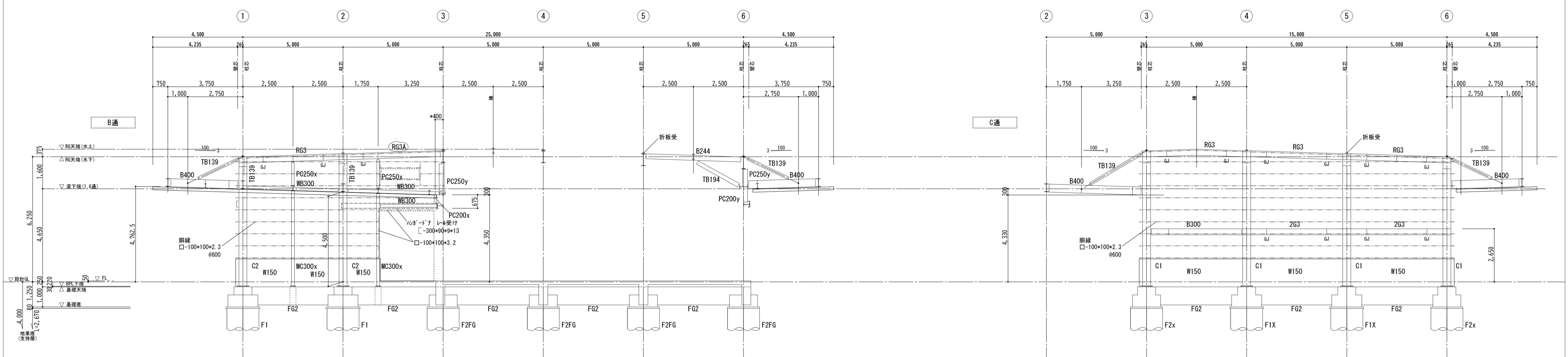
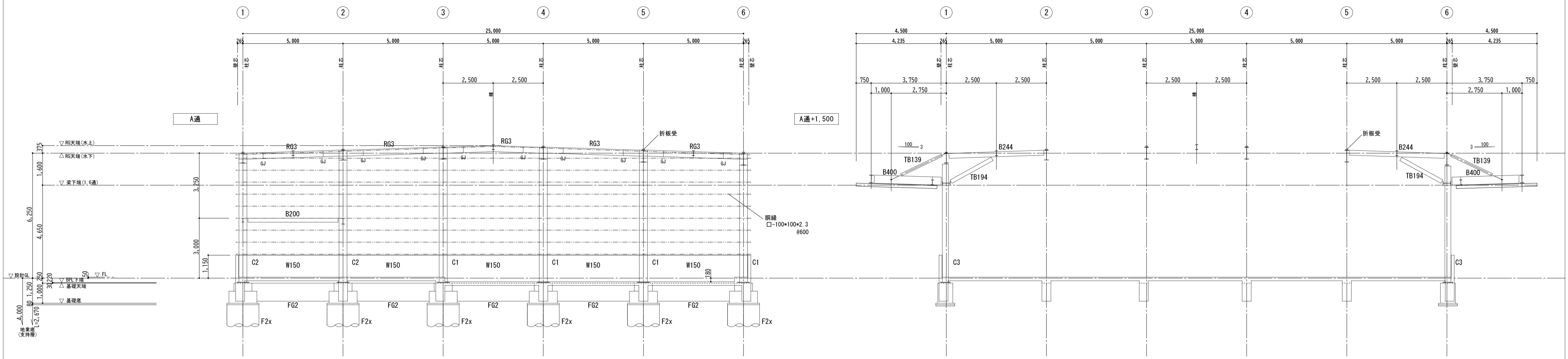
水平プレース : H16, H22, H65  
（取付位置は、大梁または上位小梁の上フランジ下面）  
（とすること）  
（梁ウェブに取りつく場合はスチナを設けること）



特記なきものは下記による  
 ・変更のある場合は、設計者と事前協議のうえ承認を得ること  
 ・小梁位置・\*印寸法等は、施工詳細図により再確認のこと  
 GJ : 刃接合位置 (柱芯から1,000) を示す  
 納まりにより、現場調整または設計者と協議のこと

着工				
竣工				
施工				

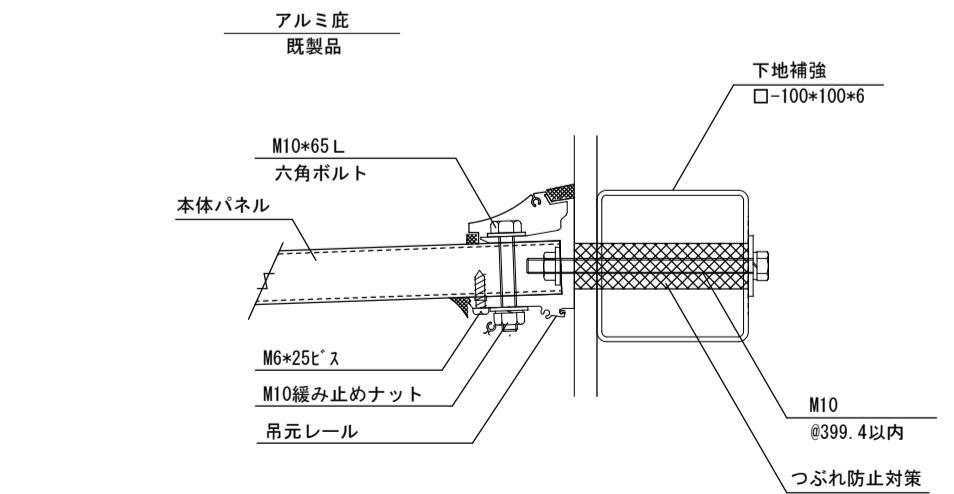
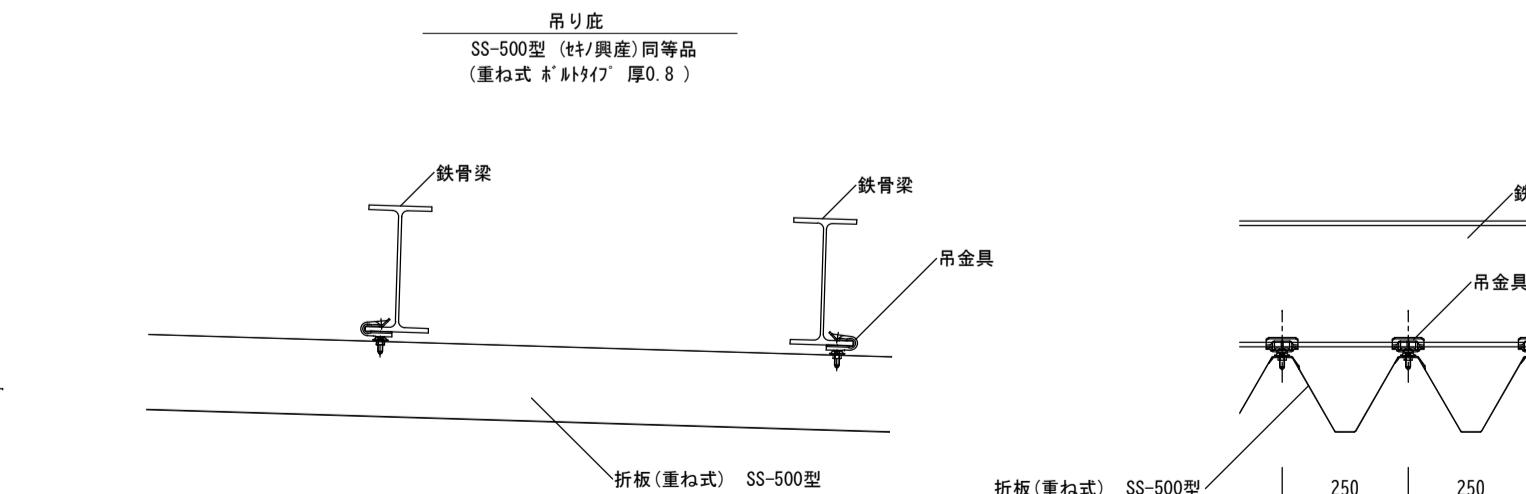
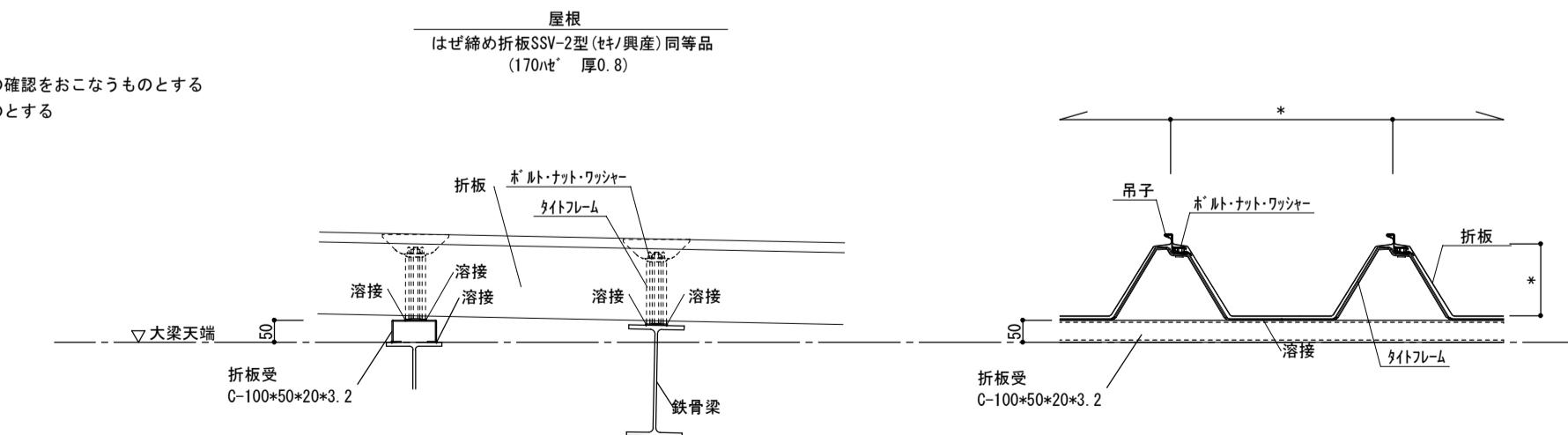
株式会社 創作舎	作成 2025.09.12	名 称 東近江市農業振興施設整備工事	図番
1級建築士登録 第248195号 小杉光史	監印	図名 軸組図 - 1	構 - 12



特記なきものは下記による  
 \* 変更のある場合は、設計者と事前協議のうえ承認を得ること  
 \* 小梁位置：\*印寸法等は、施工詳細図により再確認のこと  
 GJ : 剛接合ジョイント位置 (柱芯から1,000) を示す  
 納まりにより、現場調整または協議のこと

## 屋根葺き材の取付詳細図

\* 印寸法はJIS規格による  
 施工にあたっては、採用JIS規格により再計算を行い、安全の確認をおこなうものとする  
 \* 耐風性はJIS規格による耐風性能試験結果より算出したものとする  
 \* 取り付け下地については、社団法人 日本国屋根根協会  
 「折板根の下地についてのお願い」を参照のこと  
 \* GJは直接下地に直接取り付けること(外壁直止め禁止)



着工	竣工	施工

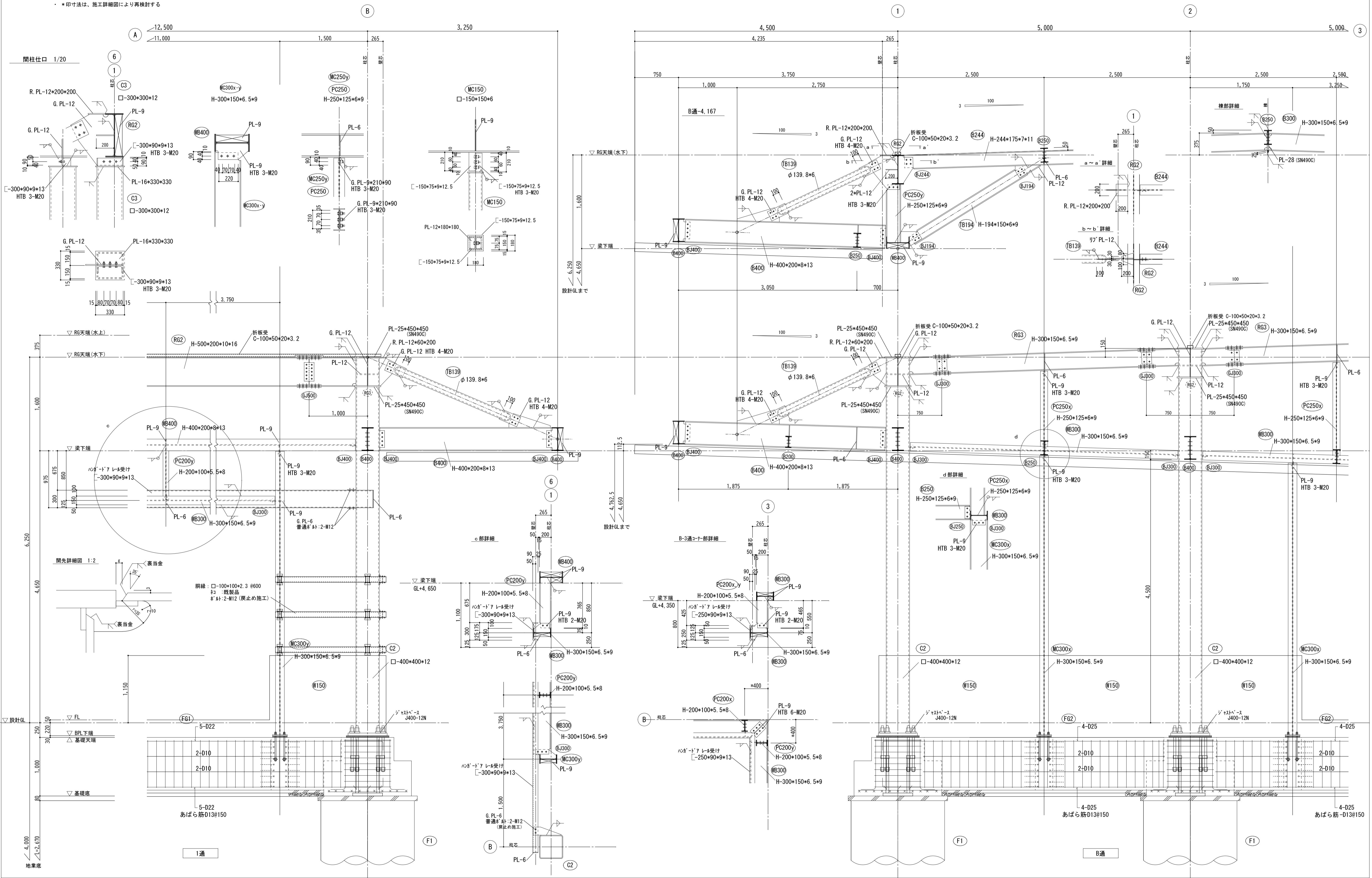
株式会社 創作舎	作成 2025.09.12	名 称 東近江市農業振興施設整備工事	図番
1級建築士登録 第248195号 小杉光史	監印	図名 軸組図-2	構 - 13





- ・ レ形完全融け込み溶接は裏当て金とする
- ・ \*印寸法は、施工詳細図により再検討する

・ \*印の方は、施工詳細図により再検討



着工				
竣工				
施工				

	株式会社 創 作 舎	作 成 2025.09.12	名 称 東近江市農業振興施設整備工事	図 番 構 - 16
	1級建築士登録 第248195号 小杉光史	証 印	図 名 架構詳細図	